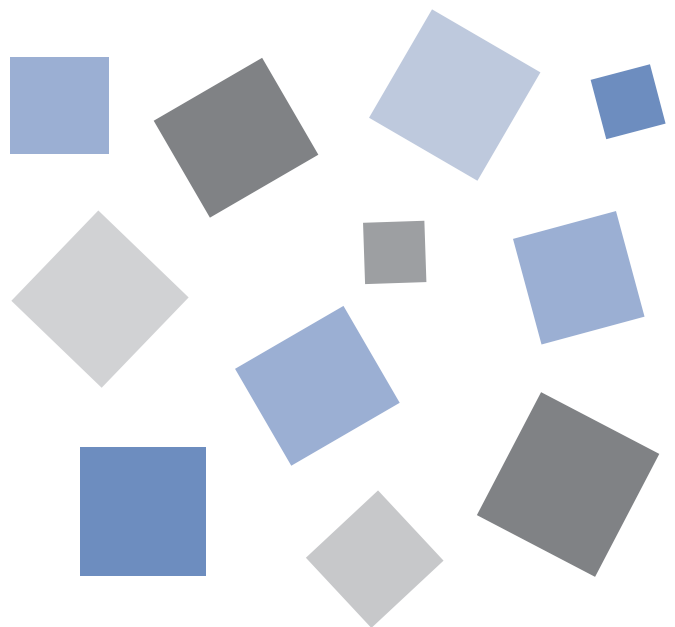


GL200A/ GL800

Application software

取扱説明書

MANUAL NO. APS(GL200_800)-UM-101



GRAPHTEC

目次

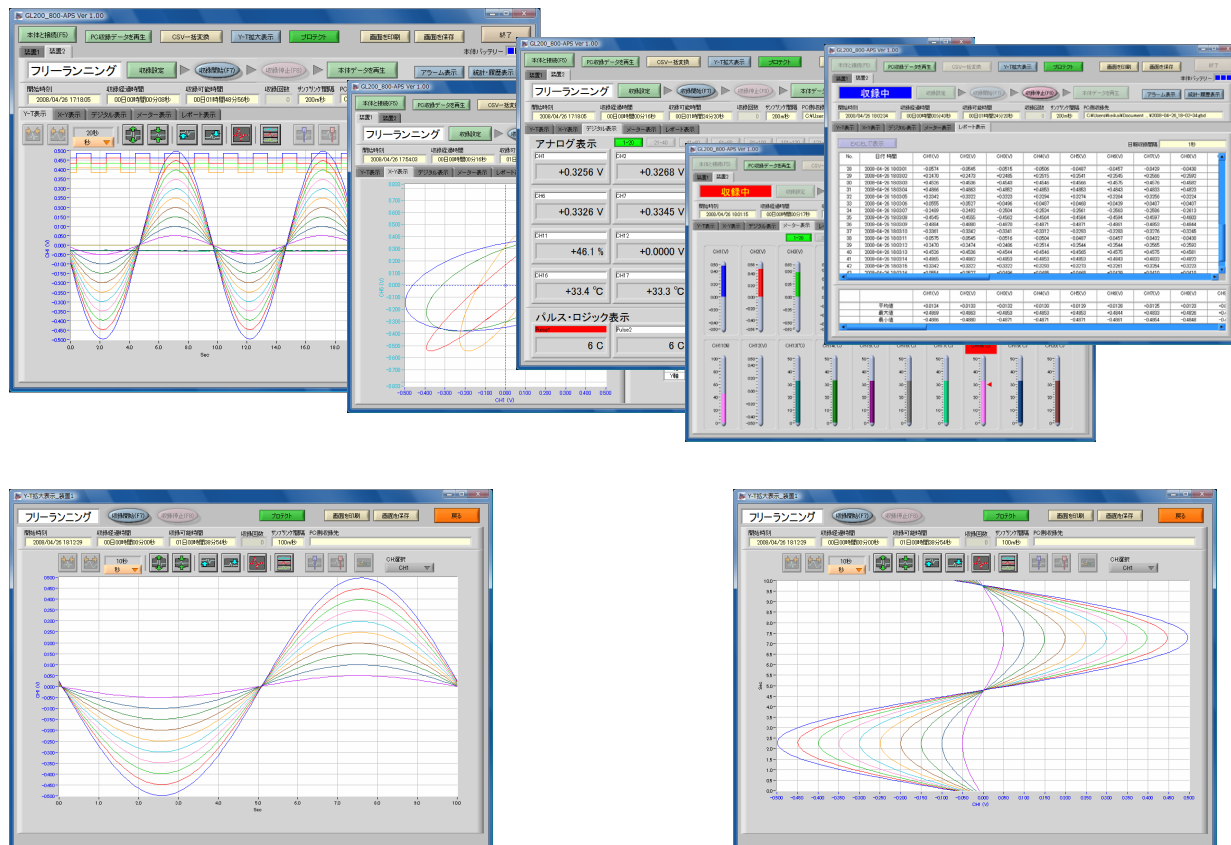
1	主な特徴	3
2	動作環境	5
3	USBドライバのインストール	6
4	パソコンとの接続方法	19
4-1	USBでの接続	19
4-2	LANでの接続	20
4-3	IPアドレスまたは、USB IDの設定	21
5	インストール	24
6	ソフトウェアの起動	25
7	接続	26
8	表示画面	28
8-1	Y-T表示（メイン画面）	28
8-2	Y-T拡大表示画面	30
8-3	X-Y表示	31
8-4	デジタル表示	32
8-5	メーター表示	33
8-6	レポート表示	34
9	収録設定画面	35
9-1	アンプ設定	35
9-1-1	スパン設定	38
9-1-2	スケーリング設定	38
9-2	収録設定	39
9-2-1	本体側保存先設定	41
9-2-2	PC側保存先設定	41
9-3	トリガ・アラーム設定	42
9-3-1	レベル時の条件	43
9-3-2	アラーム発生条件	46
9-3-3	アラーム発生でメールを送る	47
9-4	レポート表示	48
9-5	その他設定	49
10	アイコンの説明	51
10-1	Y軸拡大・縮小・ポジション移動	51
10-2	プロットマーク	52
10-3	Y軸操作	52
10-4	カーソル表示	55
10-5	コメント入力	55
11	データ再生	56
11-1	PC収録データを再生	56
11-2	本体データを再生	57
11-3	再生画面（波形表示）	58
11-3-1	重ね書き・連結	59
11-3-2	変換保存	59
11-3-3	EXCELで表示	60
11-3-4	アラーム表示	60
11-3-5	検索	60
11-3-6	カーソル間XY	61
11-3-7	スケール操作	62
11-4	再生画面（デジタル表示）	62
12	その他機能	63
12-1	CSV一括変換	63
12-2	統計・履歴表示	64
12-3	プロテクト	65
12-4	ソフトウェアの終了	65
12-5	便利な機能	66
13	操作手順	67

1. 主な特徴

1-1. 多彩なデータ表示

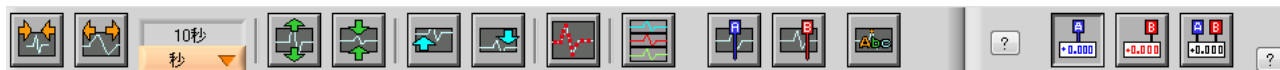
Y-T、X-Y、デジタル、メーター、レポート表示ができ、大きく見やすい画面が特徴です。

Y-T 表示画面では、拡大表示・縦スクロールの切り替えが出来ます。



1-2. 誰でも簡単操作

大きなアイコンなので分かり易く、波形操作もとても簡単です。時間軸の変更、スパンの拡大縮小、波形ポジションの変更を容易に行うことができます。



1-3. 多 CH 計測対応

複数台接続で最大10台(最大500CH)の計測が可能となりました。

表示波形のグループ分けが出来ますので、多くの波形の中から必要な波形を選択して、確認することができます。

(1台毎に4グループ設定可能)

ALL	G1	G2	G3	G4
CH	レベル	単位		
CH1(室温)	+24.4	°C		
CH2(外気)	+24.5	°C		

ALL	G1	G2	G3	G4
CH	レベル	単位		
CH3	+0.4836	V		
CH4	+0.4836	V		
CH5	+0.4836	V		

1-4. ダイレクト EXCEL 機能

収録データを直接 EXCEL に転送してグラフ表示することができます。

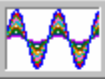
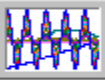
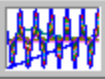
便利なテンプレートも標準で付属しているので、すぐにお使い頂けます。

(※Microsoft 社の EXCEL が必要です。)

1-5. サルネーム波形表示

再生表示する前に収録データの波形を小さな画像(サムネイル)で確認できるので、

開く前にどのようなデータなのか簡単に確認ができます。

	2008-04-26_18-07-11.gbd	サイズ(Byte) : 10874	更新日 : 2008/04/26	更新時間 : 18:07:33
	2008-04-26_18-02-34.gbd	サイズ(Byte) : 25152	更新日 : 2008/04/26	更新時間 : 18:03:21
	2008-04-26_18-01-15.gbd	サイズ(Byte) : 28800	更新日 : 2008/04/26	更新時間 : 18:02:14

1-6. 演算機能

収録中にいつでも全 CH の最大値、最小値を確認することができます。

収録中や再生中に、最大4つまでの演算を行う事ができます。演算結果は波形で確認できます。

1-7. E メール通知

アラームが発生したとき、E メールで通知する事ができるので、例えば携帯電話に送信すれば

アラームが発生した事をのがさず確認できます。

(※E メールを送信できる環境が必要です)

1-8. 画面印刷・保存機能

波形画面をプリンタに印刷したり、画面コピーをファイルにしたりできます。

(※印刷機能を利用するには、プリンタが必要です)

1-9. ヘルプ機能

設定項目にそれぞれヘルプボタンがありますので、どのような機能なのか簡単に調べる事ができます。

**Help!**

表示グループを切り替えます。
ALL:表示グループの設定は無効となり、
全CH表示します。
G1:グループ1に設定したCHのみ表示します。
G2:グループ2に設定したCHのみ表示します。
G3:グループ3に設定したCHのみ表示します。
G4:グループ4に設定したCHのみ表示します。
〈〈ウィンドウクリックで開じる〉〉

2. 動作環境

本ソフトウェアをインストールするパソコンは、下記の環境を満たしたものをご使用ください。

項目	必要環境
OS	Windows 2000、XP、Vista (32Bit、64Bit)
CPU	Pentium 4 : 1.7GHz 以上
メモリ	256MB 以上
HDD	ソフトウェアのインストールに 20MB の空きが別途必要
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 以上、65535 色以上(16Bit 以上)
その他	USB ポート、TCP-IP ポート、CD-ROM ドライブ(CD からのインストール時)が必要 Microsoft 社 EXCEL (ダイレクト EXCEL、EXCEL で表示機能時)

※ 測定データの収録は、使用環境を満たすパソコンをご使用になった場合でも、パソコンの状態(他のアプリケーションが起動している場合、収録媒体の空き容量がない場合)により正常に収録出来ない場合があります。
データ収録時には、他のアプリケーションをすべて終了し、内蔵のハードディスクにデータ収録を行ってください。

3. USBドライバのインストール

USB ドライバのインストール方法について説明します。

3-1. USBドライバのバージョン確認

USB ドライバがインストールされている場合の USB ドライバのバージョン確認方法について説明します。

① デバイスマネージャを開く

「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

または、「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」→「ハードウェア」タブを選択し、「システムのプロパティ」ウィンドウを開き、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

② 「デバイスマネージャ」ウィンドウで、「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」を展開したときに

「Graphtec GL/MT/DM/WR Series USB Driver 」が表示されていることを確認し、右クリックで「プロパティ」を選択します。

③ ドライバの更新

「ドライバ」タブで、「ドライバの詳細」ボタンをクリックします。

④ 「.....¥GTCUSBR.SYS 」を選択し、ファイルのバージョンを確認します。

3-2. USBドライバのインストール

USB ドライバのインストール方法について説明します。

① 付属のUsers Guide CD-ROM をパソコンのCDドライブに入れます。

② パソコンと本体の接続

パソコンと本体をUSB ケーブルで接続し、電源を入れてください。

③ USB ドライバをインストールします。

お使いのパソコンのOSと状態によって作業内容が違いますので、OSと状態に合った作業を行ってください。

Windows Vista : 始めてドライバソフトをインストールする場合

すでにドライバソフトがインストールされている場合

Windows XP : 始めてドライバソフトをインストールする場合

すでにドライバソフトがインストールされている場合

Windows 2000 : 始めてドライバソフトをインストールする場合

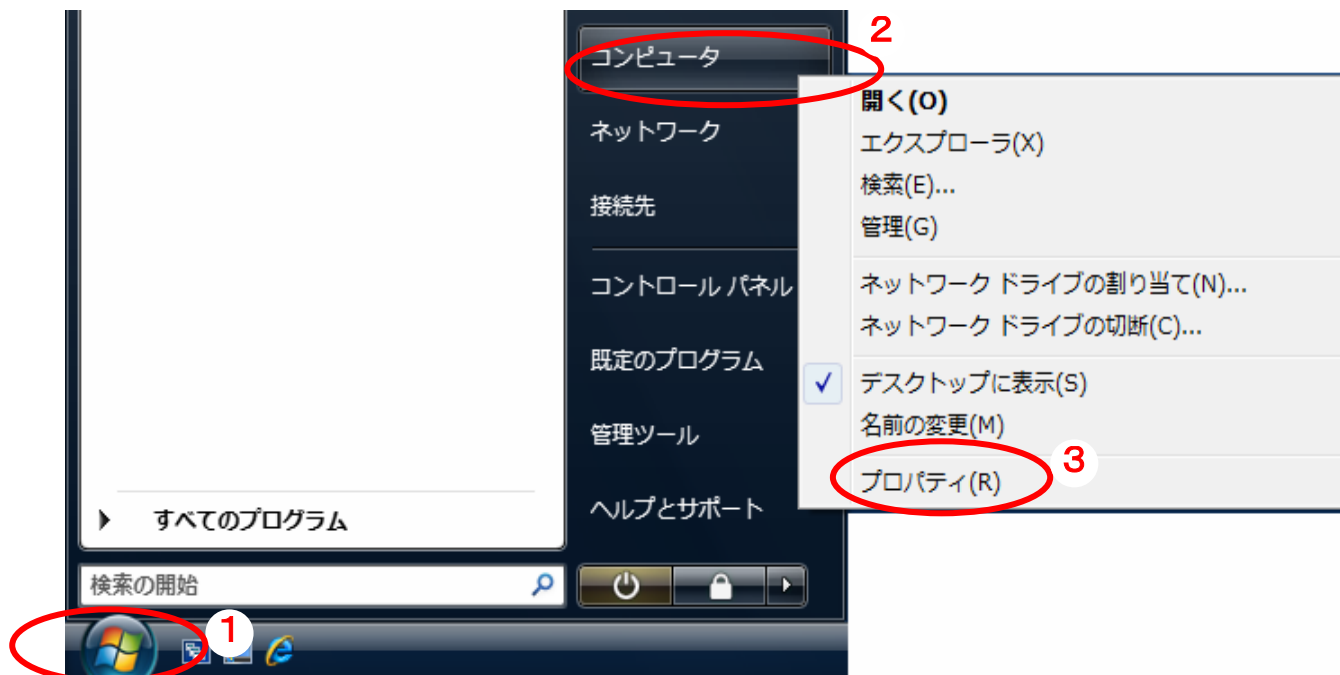
すでにドライバソフトがインストールされている場合

3-2-1. Windows Vista 32ビット/64ビットの確認方法

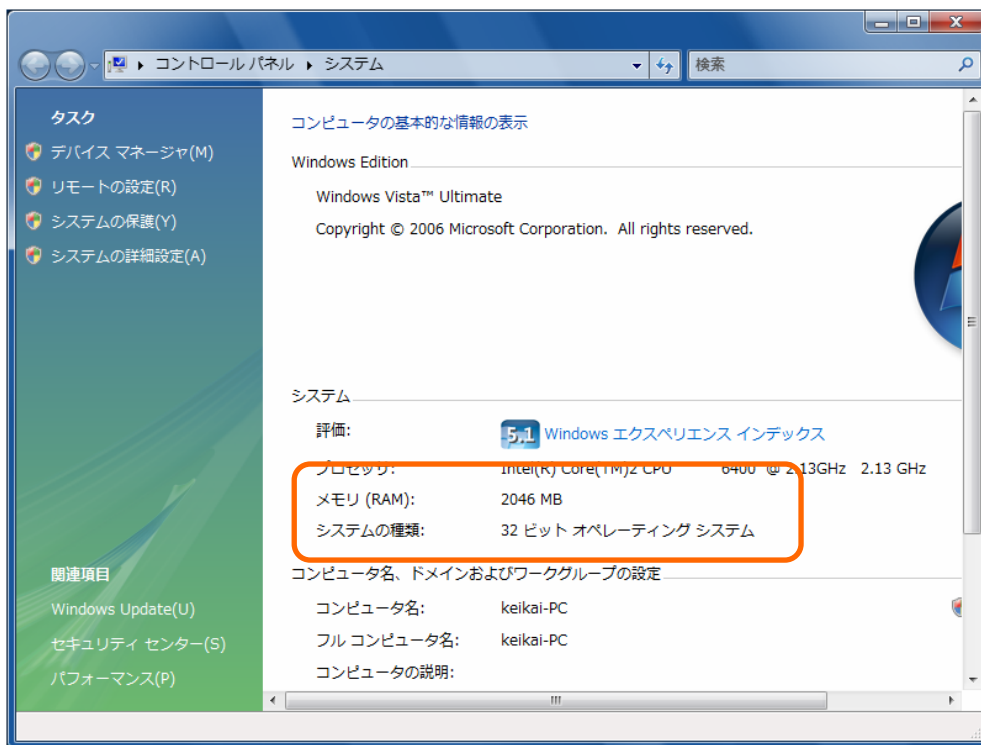
Windows Vista 32 ビット版と64 ビット版ではUSB ドライバが違います。

Windows Vista のビット数の確認は、以下の方法で行ってください。

① スタートメニューから「コンピュータ」上で右クリックし、「プロパティ」を選択してください。



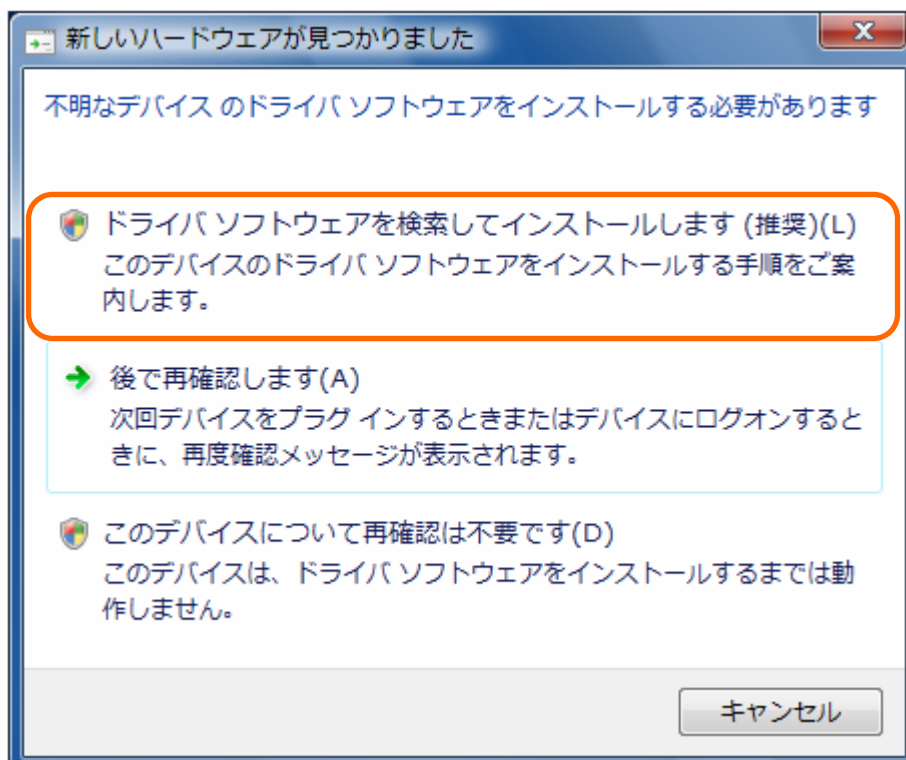
- ② システム欄のシステムの種類が「64ビットオペレーティングシステム」の場合は64ビット版になります。



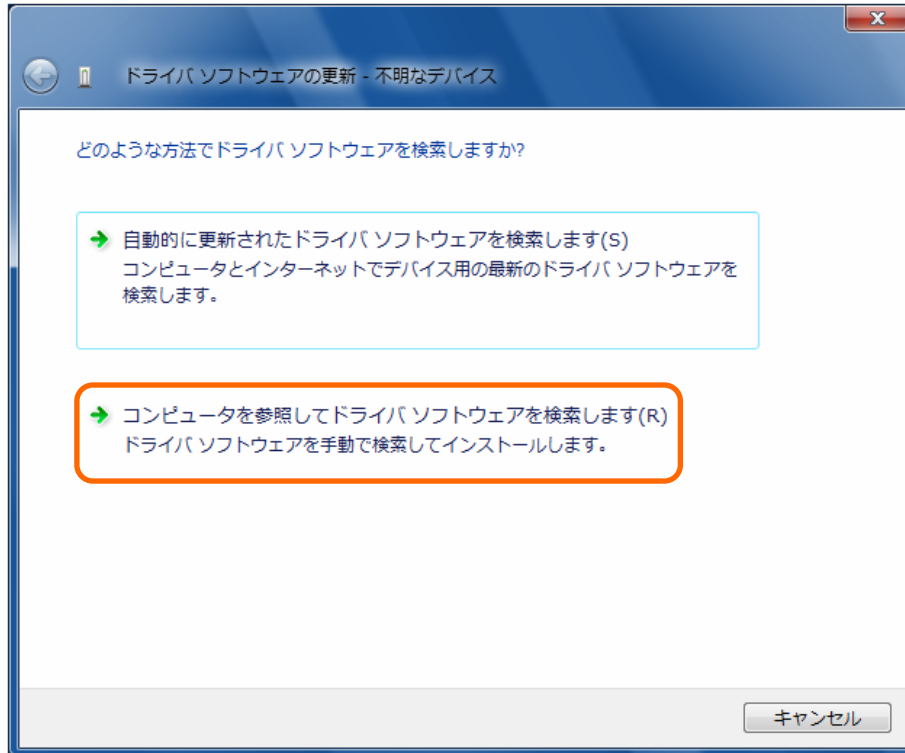
3-2-2. Windows Vista: 始めてドライバソフトをインストールする場合

USB ケーブルでパソコンと本体を接続すると、新しいハードウェアが見つかりましたと画面が表示されます。

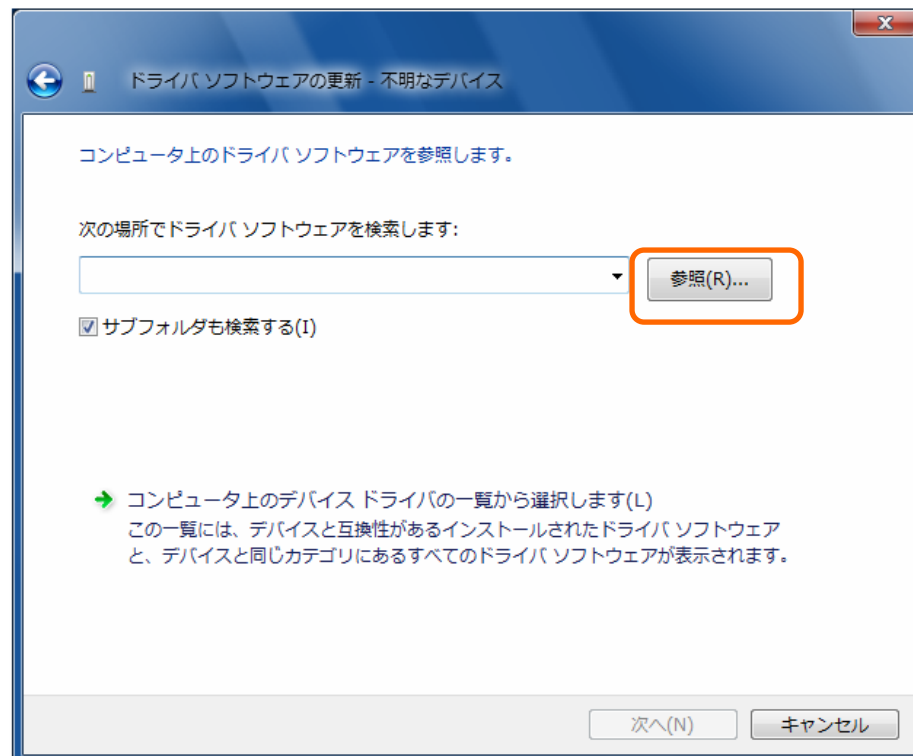
- ① 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)」を選択してください。



② 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(R)」を選択してください。



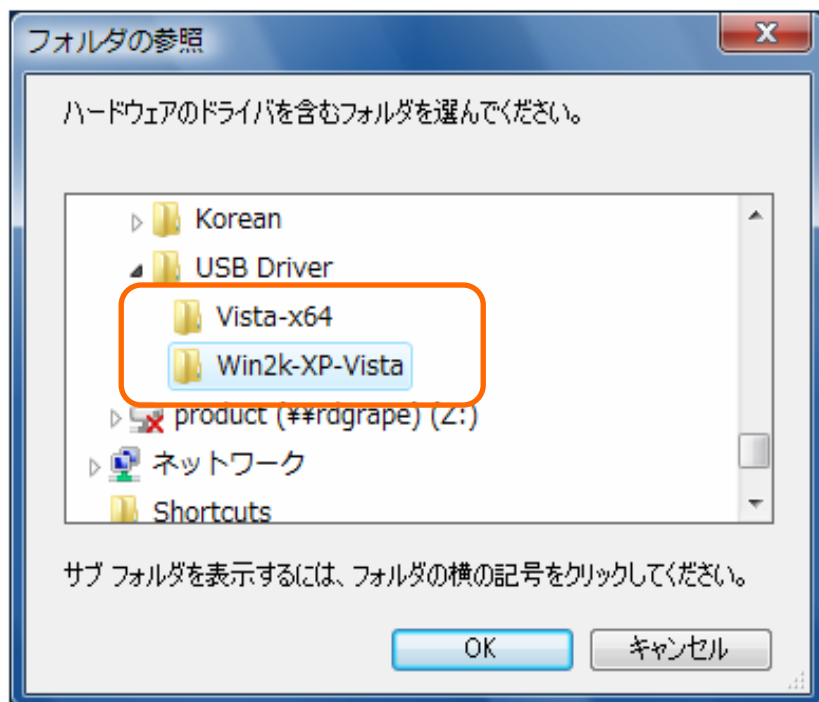
③ 「参照」を選択してください。



④ 「フォルダの参照」でCD-ROMを挿入したドライブから下記を選択してください。

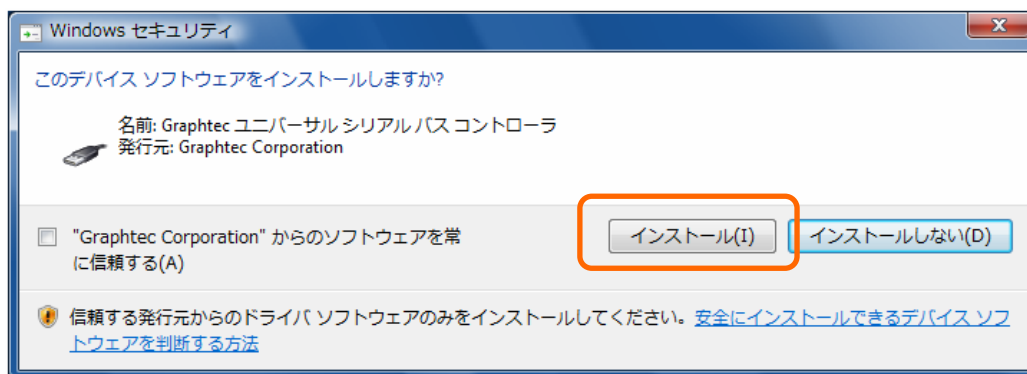
32ビットオペレーションシステム : USB Driver → Win2K-XP-Vista

64ビットオペレーションシステム : USB Driver → Vista-x64

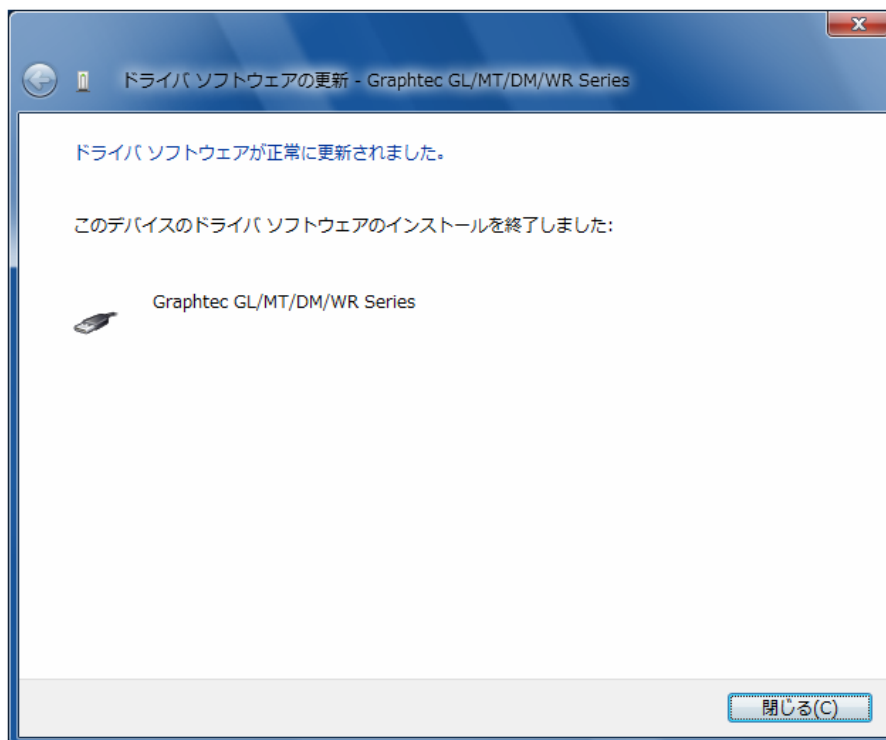


※ Windows Vistaのビット数の確認は、7頁をご参照下さい。

⑤ 下記画面が表示されたら「インストール」を選択してください。



⑥ しばらくするとインストールが終了しますので、「閉じる」を押して終了してください。

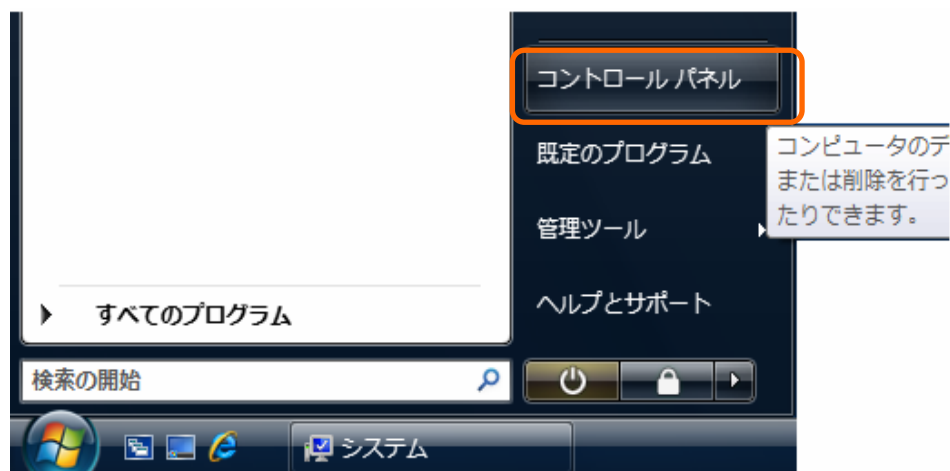


以上でUSBドライバのインストールは終了です。

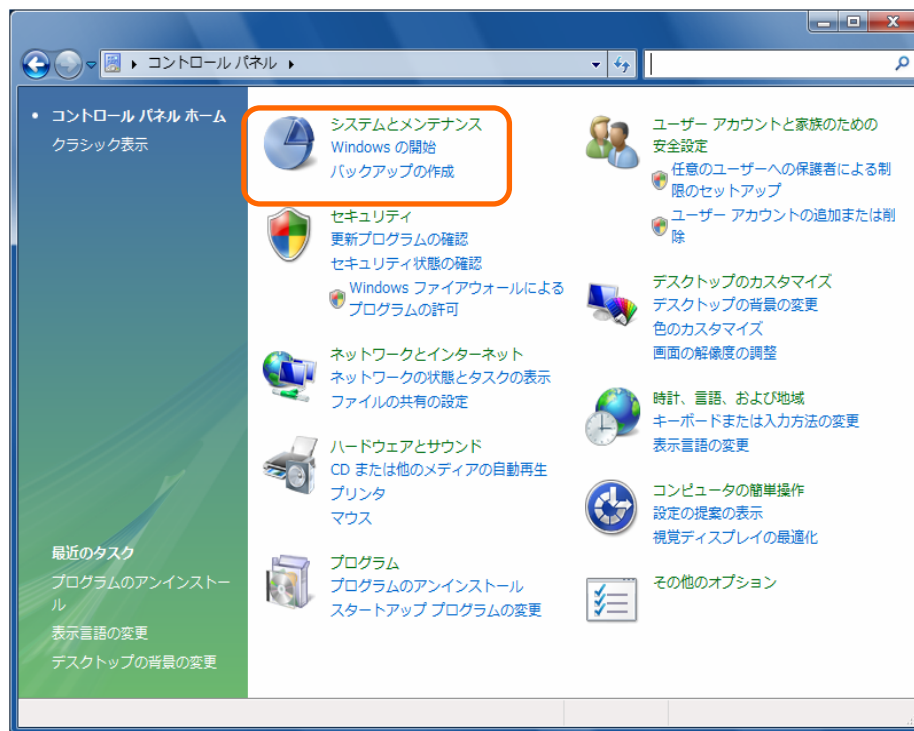
3-2-3. Windows Vista: すでにドライバソフトがインストールされている場合

USB ドライバを更新します。

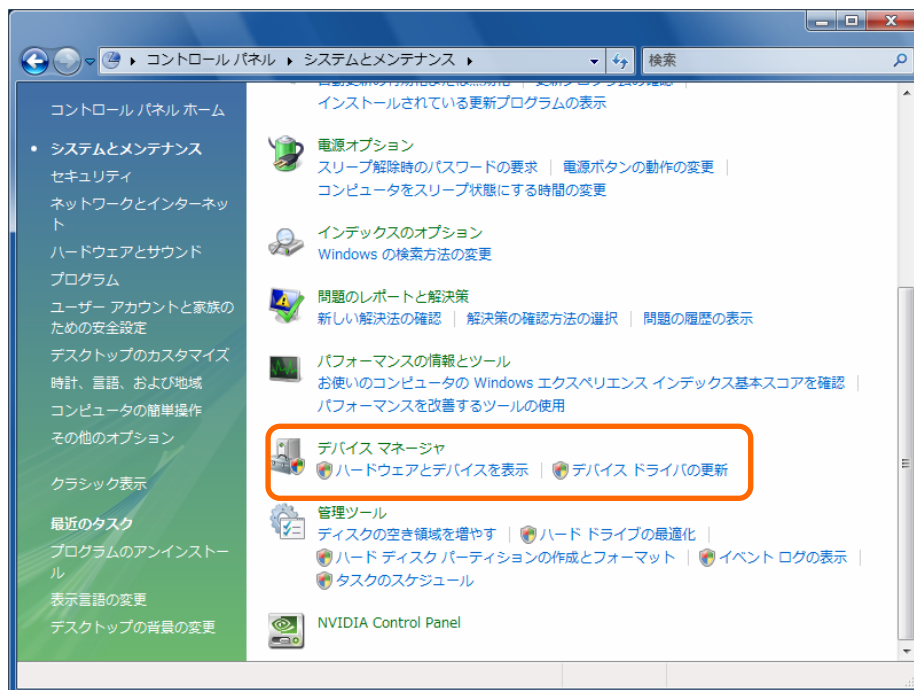
① 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択してください。



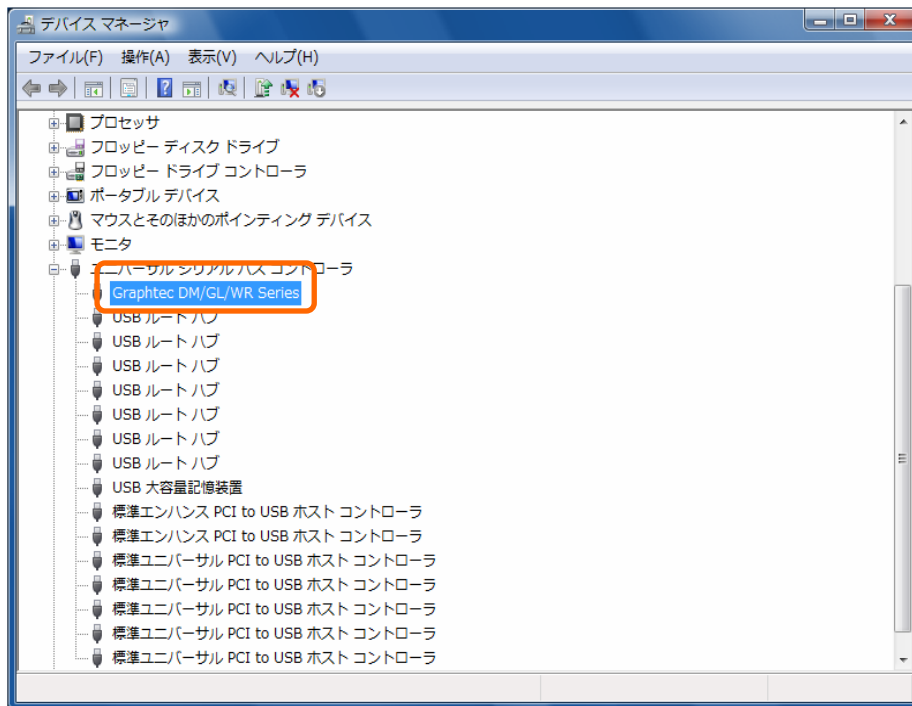
② 「システムとメンテナンス」を選択してください。



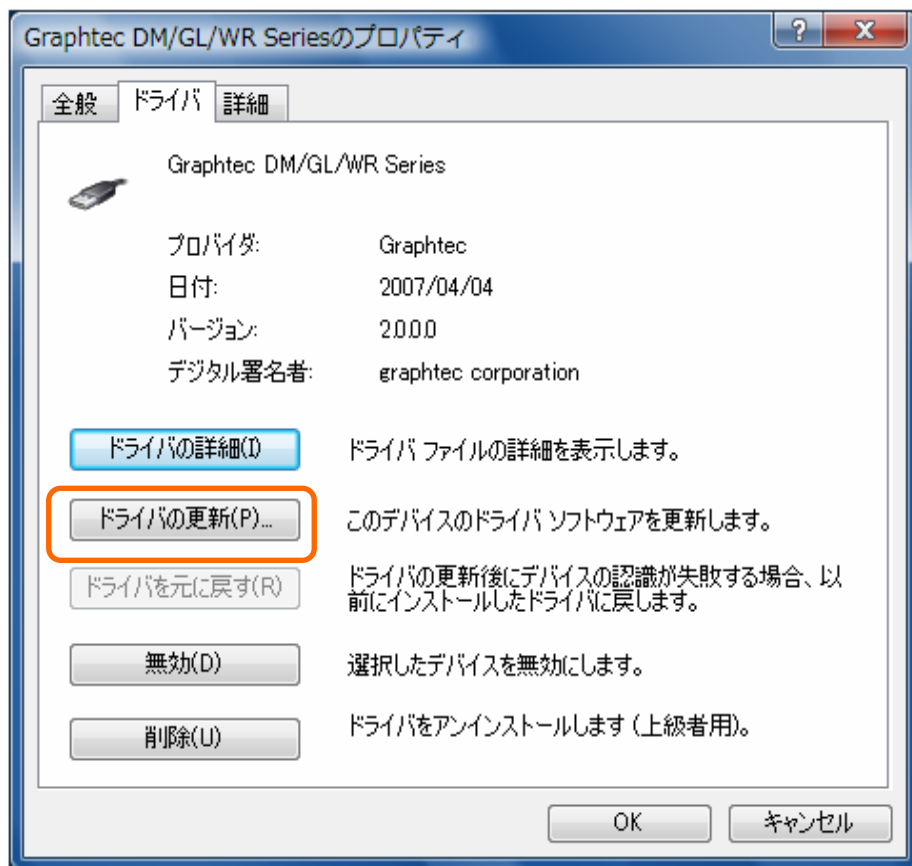
③ 「デバイスマネージャ」の「ハードウェアとデバイスを表示」を選択してください。



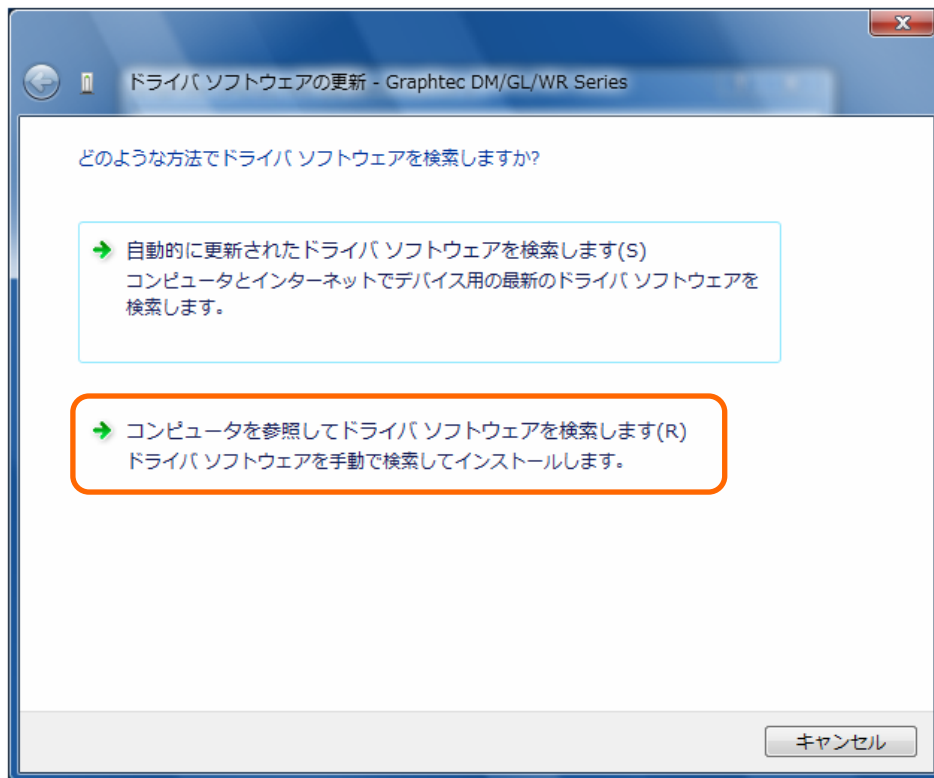
④ 「Graphtec DM/GL/WR Series」をダブルクリックしてください。



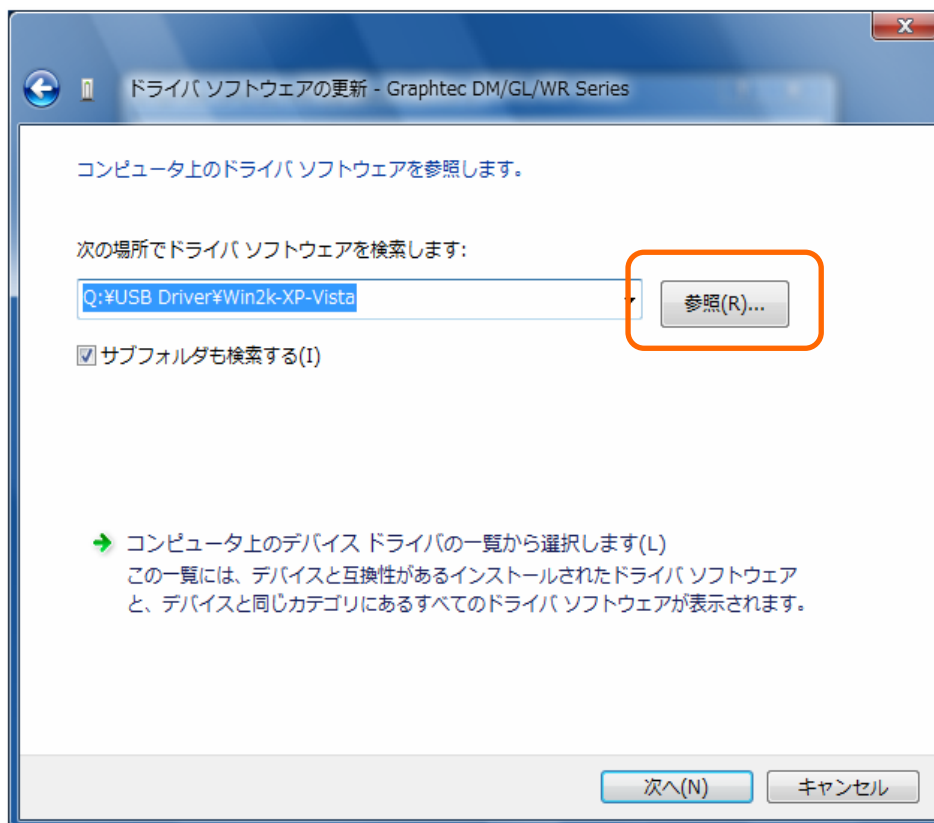
⑤ 「ドライバ」メニューの「ドライバの更新」を選択してください。



⑥ 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」を選択してください。



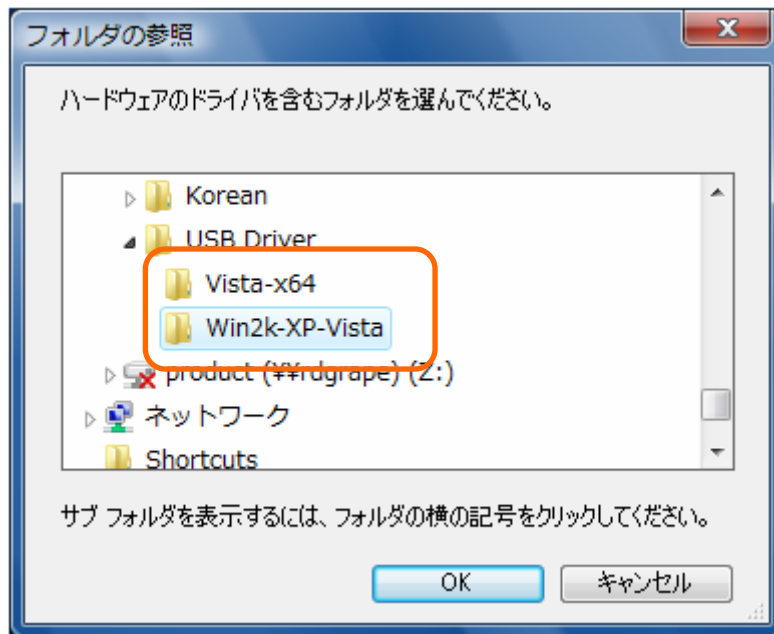
⑦ 「参照」を選択してください。



⑧ 「フォルダの参照」でCD-ROM を挿入したドライブから下記を選択してください。

32ビットオペレーションシステム : USB Driver → Win2K-XP-Vista

64ビットオペレーションシステム : USB Driver → Vista-x64

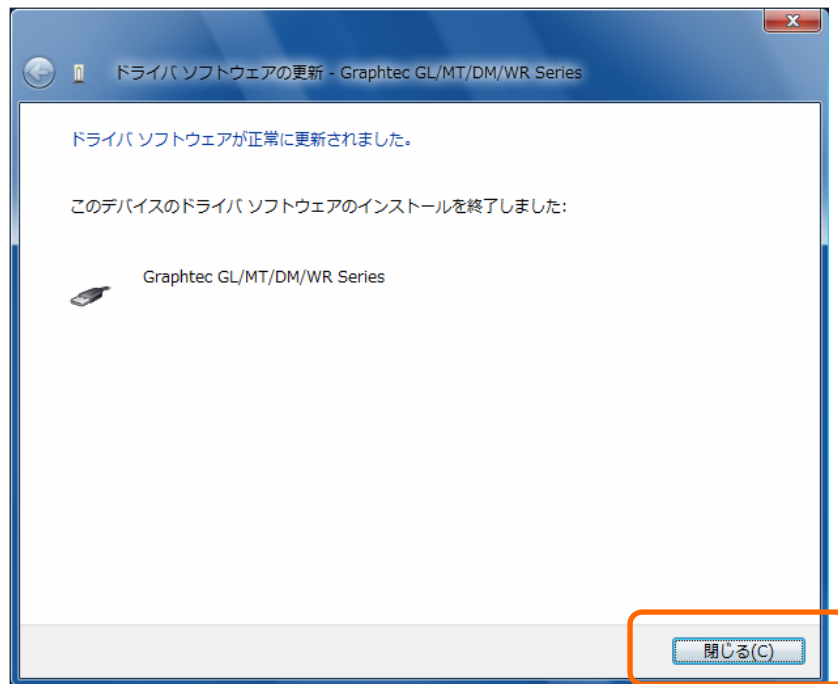


※ Windows Vista のビット数の確認は、7頁をご参照下さい。

⑨ 下記画面が表示されたら「インストール」を選択してください。



- ⑩ しばらくするとインストールが終了しますので、「閉じる」を押して終了してください。



以上でUSBドライバの更新は終了です。

●Windows XP:始めてドライバソフトをインストールする場合

USB ドライバをインストールします。

① ハードウェアの検出

USB ケーブルでパソコンと本体を接続すると、「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されます。

② ウィザード開始

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウで、「インストール方法」の「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

- ③「検索とインストールオプション」の「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

- ④「ドライバの選択」で、「ディスク使用」ボタンをクリックします。

- ⑤「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウで、「製造元のファイルのコピー元」で、CD-ROM 内の「USB DRIVER 」→「Win2k-XP-Vista」→「GTCUSBR.INF 」を参照し、「OK」ボタンをクリックします。

- ⑥「ドライバの選択」で、「モデル」枠内に「Graphtec GL/MT/DM/WR Series USB Driver 」が表示されますので、選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

⑦ ドライバのインストール

ドライバのインストールが開始されます。OSの設定によっては、「インストールしようとするソフトウェアはWindows XP と互換性を検証するWindows ロゴに合格していません。」と表示されますが、「続行」ボタンをクリックし、インストールを続行してください。

⑧ インストールの完了

「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」が表示されると、「完了」ボタンをクリックし、ウィザードを終了します。

●Windows XP:すでにドライバソフトがインストールされている場合

USB ドライバを更新します。

① デバイスマネージャを開く

「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。または、「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」→「ハードウェア」タブを選択し、「システムのプロパティ」ウィンドウを開き、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

②「デバイスマネージャ」ウィンドウで、「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」を展開したときに

「Graphtec DM/GL/WR Series USB Driver 」が表示されていることを確認し、右クリックで「プロパティ」を選択します。

③ ドライバの更新

「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

④ 更新ウィザードの開始

「ハードウェアの更新ウィザード」が表示されますので、「インストール方法」の「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

⑤「検索とインストールオプション」の「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、

「次へ」ボタンをクリックします。

⑥「ドライバの選択」で、「ディスク使用」ボタンをクリックします。

⑦「ファイルの場所」ウィンドウで、CD-ROM 内の「USB DRIVER 」→「Win2k-XP-Vista」→「GTCUSBR.INF 」

を参照し、「開く」ボタンをクリックします。

⑧「ドライバの選択」に戻り、「次へ」ボタンをクリックします。

⑨ ドライバのインストール

ドライバのインストールが開始されます。OSの設定によっては、「インストールしようとするソフトウェアはWindows XP と互換性を検証するWindows ログに合格していません。」と表示されますが、「続行」ボタンをクリックし、インストールを続行してください。

⑩ インストールの完了

「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」が表示されますので、「完了」ボタンをクリックし、ウィザードを終了してください。

●Windows 2000:始めてドライバソフトをインストールする場合

USB ドライバをインストールします。

① ウィザード開始

USB ケーブルでパソコンと本体を接続すると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

②「新しいハードウェアの検出ウィザード」ウィンドウで、「検索方法」の「デバイスの最適なドライバを検索する」を選択し、

「次へ」ボタンをクリックします。

③「ドライバファイルの特定」の「検索方法」→「CD-ROMドライブ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

④ CD-ROM 内の「USB DRIVER 」→「Win2k-XP-Vista」→「GTCUSBR.INF 」を参照し、「OK」ボタンをクリックします。

⑤「ドライバが検索されました」表示を確認し、「次へ」ボタンをクリックします。

⑥ インストールの完了

「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」が表示されると、「完了」ボタンをクリックし、ウィザードを終了します。

●Windows 2000:すでにドライバソフトがインストールされている場合

USB ドライバを更新します。

① デバイスマネージャを開く

「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

または、「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」→「ハードウェア」タブを選択し、「システムのプロパティ」ウィンドウを開き、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

②「デバイスマネージャ」ウィンドウで、「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」を展開したときに

「Graphtec DM/GL/WR Series USB Driver 」が表示されていることを確認し、右クリックで「プロパティ」を選択します。

③ ドライバの更新

「ドライバ」タブで、「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

④ 更新ウィザードの開始

「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が表示されますので、「次へ」ボタンをクリックします。

⑤「ハードウェアデバイスドライバのインストール」で、「検索方法」の「このデバイスの既知のドライバを表示し、

その一覧から選択する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

⑥「デバイスドライバの選択」で、「ディスク使用」ボタンをクリックします。

⑦「ファイルの場所」ウィンドウで、CD-ROM 内の「USB DRIVER 」→「Win2k-XP-Vista」→「GTCUSBR.INF 」を参照し、

「OK」ボタンをクリックします。

⑧「デバイスドライバの選択」に戻り、「次へ」ボタンをクリックします。

⑨「デバイスドライバのインストールの開始」で、「次へ」ボタンをクリックします。

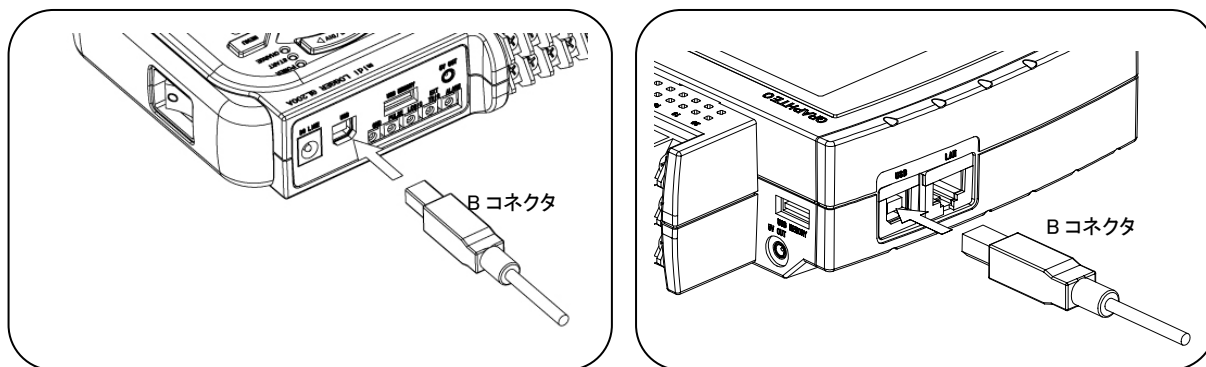
⑩ インストールの完了

「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」が表示されますので、「完了」ボタンをクリックし、ウィザードを終了してください。

4. パソコンとの接続方法

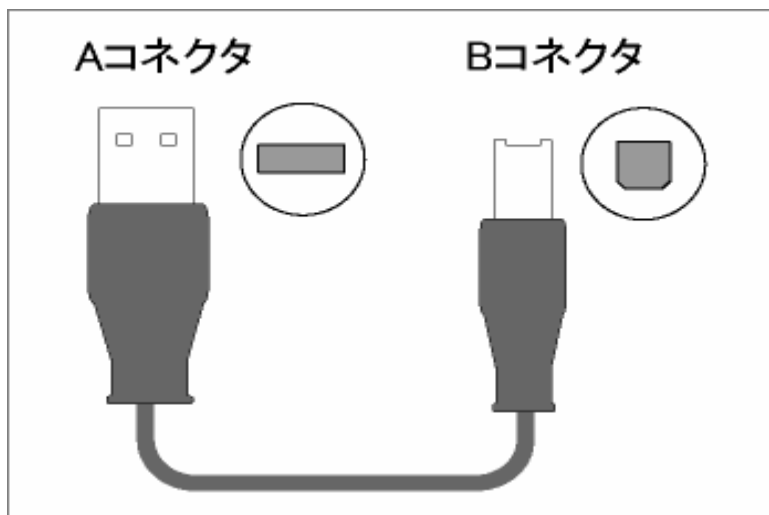
4-1. USBでの接続

USB ケーブルを使用した接続方法を説明します。



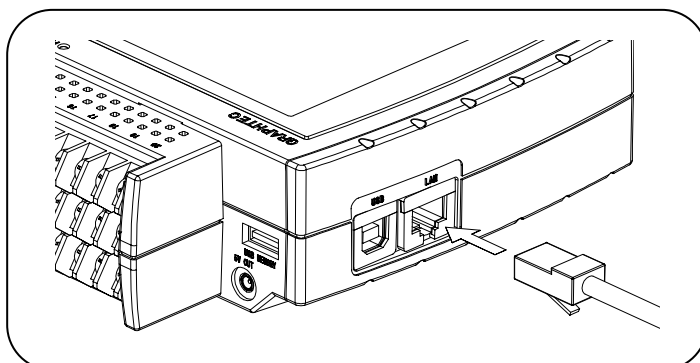
- ※ USB ケーブルで接続する場合には、パソコンに USB ドライバをインストールする必要があります。
- ※ インストール方法に関しては、「2. USB ドライバのインストール」を参照してください。
- ※ LAN コネクタが隣接していますので、間違って装着しないように注意願います。

- 本機とパソコンを接続するには、A-B タイプのケーブルを使用して接続してください。



4-2. LANでの接続

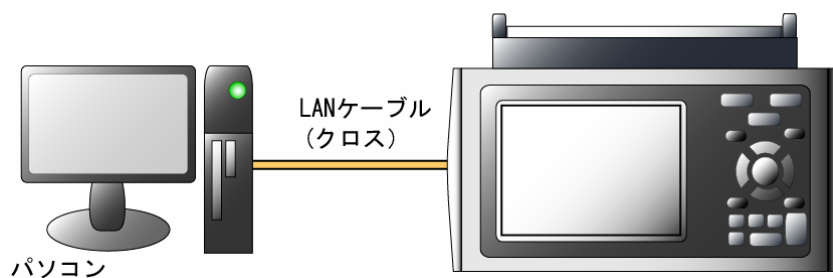
LANケーブルを使用した接続方法を説明します。



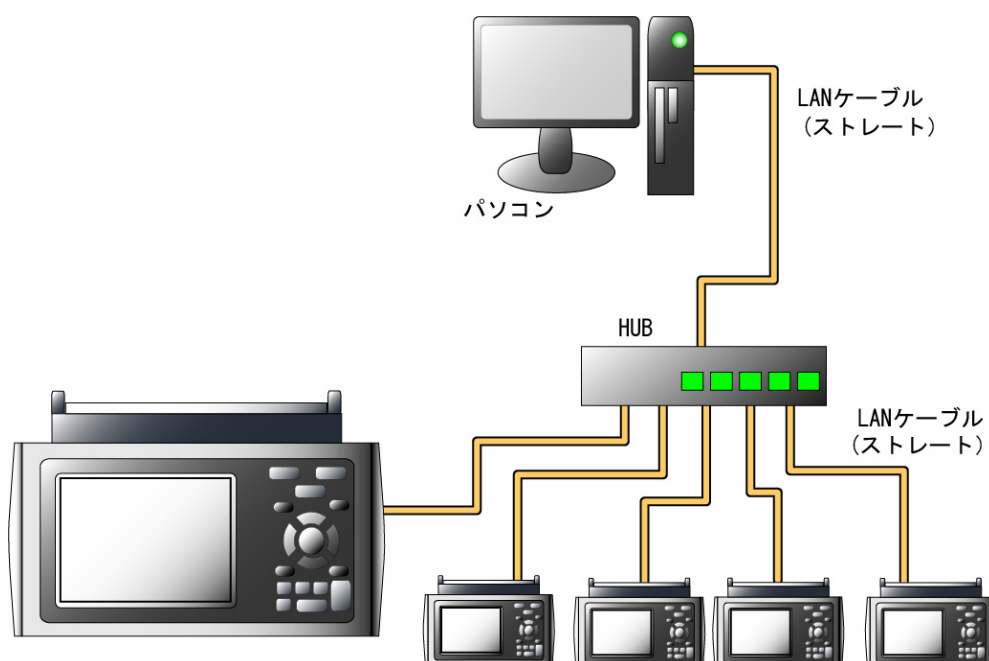
※ 使用用途に合わせて、下記の種類のLANケーブルを使用してください。

●LANケーブルの種類

・HUBを使用しないで、パソコンに直接接続する場合は、クロスケーブルを使用します。



・HUBを使用してパソコンと接続する場合は、ストレートケーブルを使用します。



4-3. IPアドレスまたは、USB IDの設定

パソコンと接続するために、本器のI/F設定を行います。

USB設定の場合

●GL200A の場合

[MENU]キーを5回押して、[OTHR 設定]を開きます。

[USB ID]の設定を行います。

本体の電源を落として、再起動すれば、設定が反映されます。

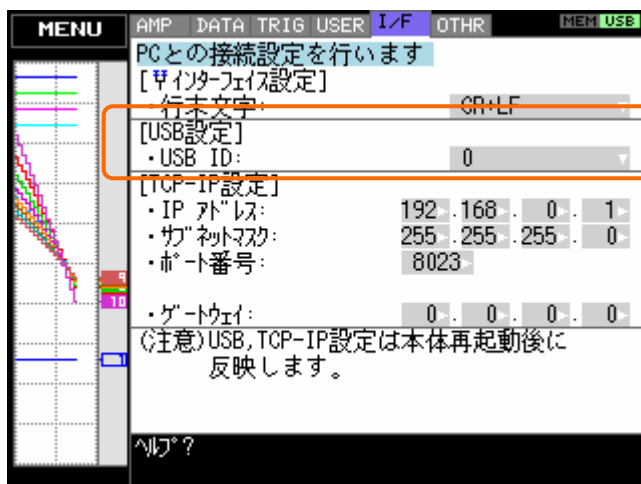


●GL800 の場合

[MENU]キーを5回押して、[I/F設定]を開きます。

[USB ID]の設定を行います。

本体の電源を落として、再起動すれば、設定が反映されます。

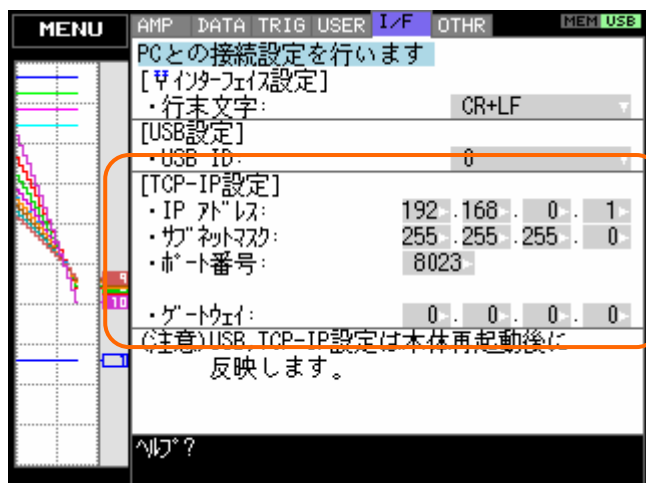


TCP-IP設定の場合

[MENU]キーを5回押して、[I/F設定]を開きます。

[TCP-IP 設定]の設定を行います。

[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ポート番号]、[ゲートウェイ]設定を行い、
本体の電源を落として、再起動すれば、設定が反映されます。



TCP-IP の設定例

<パソコンと GL800 を 1 対1で接続する場合>

社内 LAN などのネットワークに接続しない場合は、以下の設定を参考にしてください。

GL800 とパソコンをクロスオーバーケーブルで接続します。

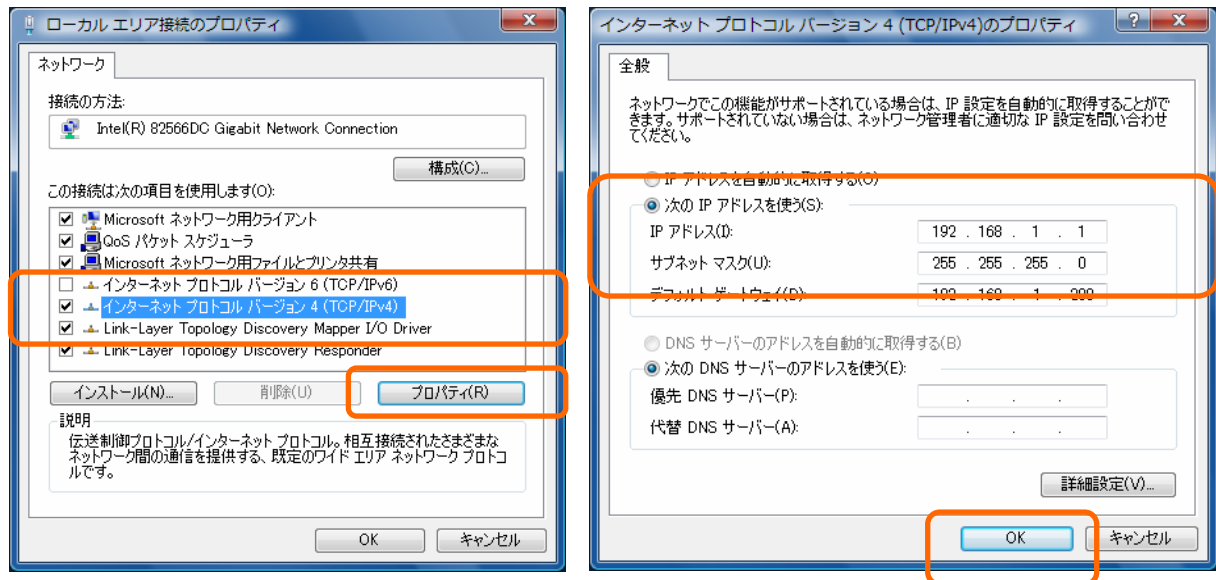
パソコンの IP アドレス	192. 168. 1. 1
GL800 の IP アドレス	192. 168. 1. 2
2 台目以降の GL800 の IP アドレス	192. 168. 1. 3 (3の部分に4, 5, 6...と増やしていく)

※ この場合の、サブネットマスクは、常に「255. 255. 255. 0」と設定します。

※ この場合の、ポート番号は、常に「8023」と設定します。

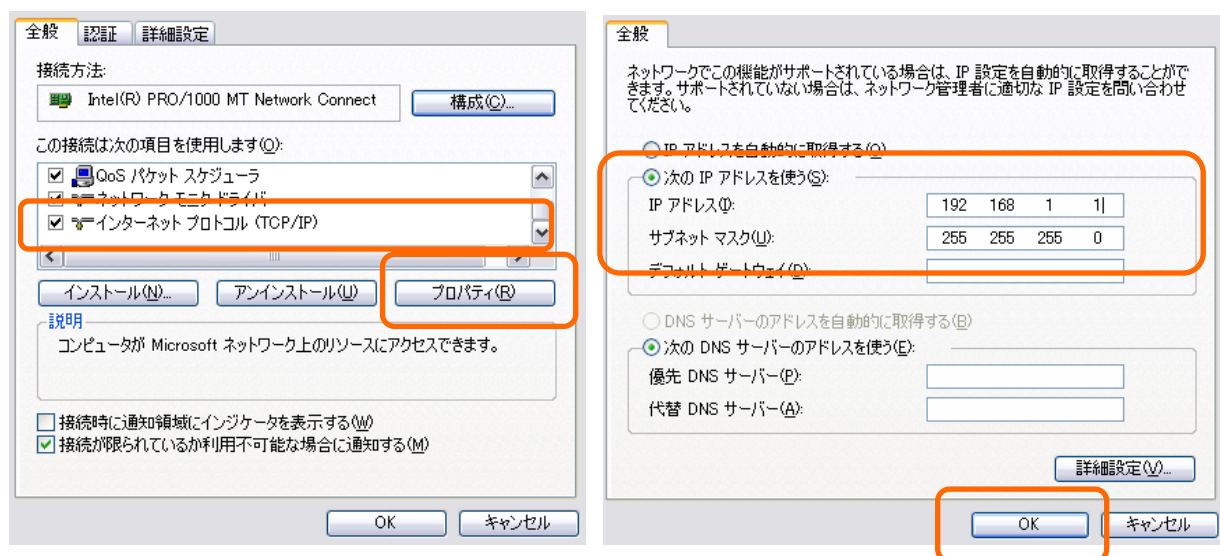
パソコンの IP アドレスの設定 (Windows Vista の場合)

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [ネットワークと共有センター] → [ローカルエリア接続 状態の表示]
→ [プロパティ] → [インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択] → [プロパティ] → 「次の IP アドレスを使う」
にチェック → [IP アドレス]、[サブネットマスク]を設定 → [OK]



パソコンの IP アドレスの設定 (Windows XP の場合)

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [ネットワーク接続] → [ローカルエリア接続] → [プロパティ] →
[インターネットプロトコル(TCP/IP)を選択] → [プロパティ] → 「次の IP アドレスを使う」にチェック →
[IP アドレス]、[サブネットマスク]を設定 → [OK]



5. インストール

ソフトウェアをインストールする方法について説明します。

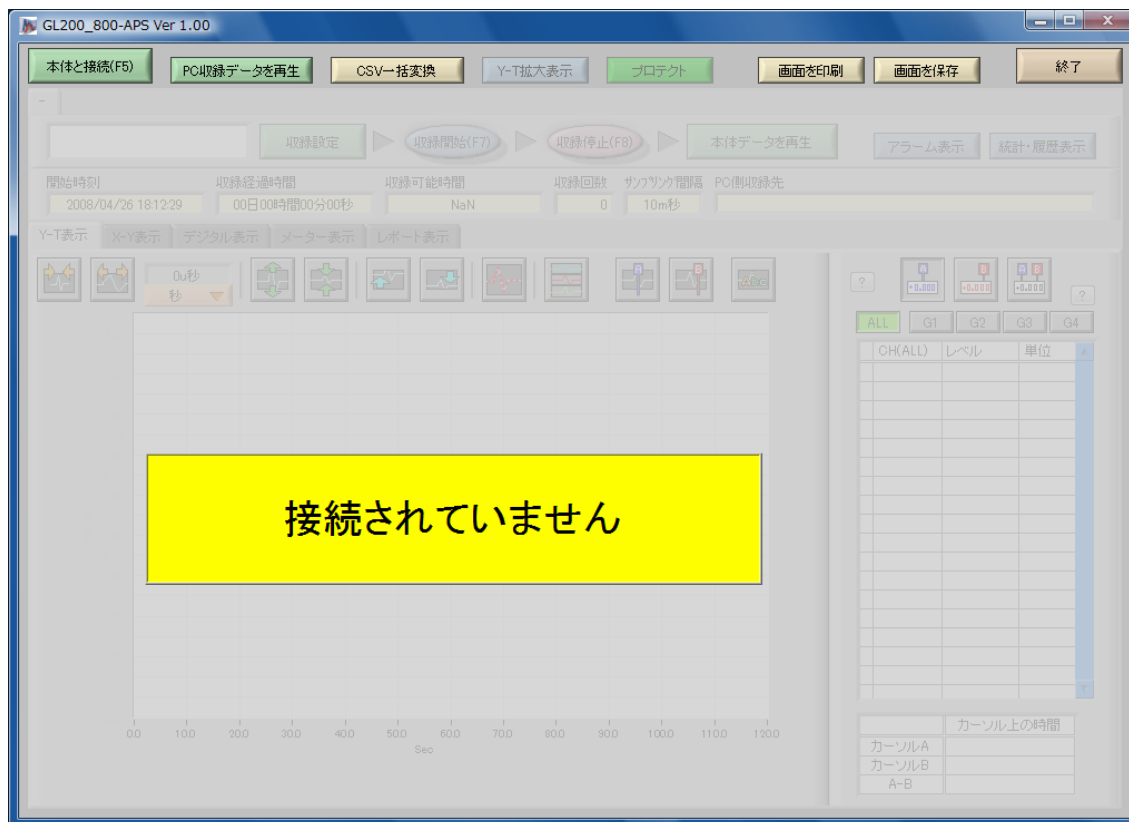
- ① 付属の CD-ROM をパソコンの CD ドライブに挿入します。
- ② 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開きます。
- ③ 「名前(O)」に「D:¥Japanese¥GL200_800-APS¥Setup.exe」を入力し、
「OK」ボタンを押してください。インストーラが起動します。（「D:」は、CD-ROM ドライブを表します。
お使いのパソコンの CD-ROM ドライブに置き換えてください。）
- ④ これ以降は、インストーラの指示に従って操作を続けてください。

※ 本機をパソコンと接続しているときは、以下の点に注意してください。

- ・ パソコンの他の USB 接続端子には、マウスとキーボード以外は接続しないでください。
- ・ パソコンの省電力機能は、Off に設定してください。
- ・ スクリーンセーバの設定は、Off に設定してください。
- ・ ウィルス/セキュリティソフトの自動更新機能や、Windows の自動アップデート機能の設定は、Off に設定してください。

6. ソフトウェアの起動

OS 画面タスクバーの「スタート」→「プログラム(すべてのプログラム)」→「GL200_800-APS」
→「GL200_800APS」を選択して、ソフトウェアを起動します。
起動が完了しますと、下画面が表示されます。



7. 接続

本機とパソコンを接続する通信設定を行います。

① メイン画面の「本体と接続(F5)」ボタンを押すと、接続画面が表示されます。

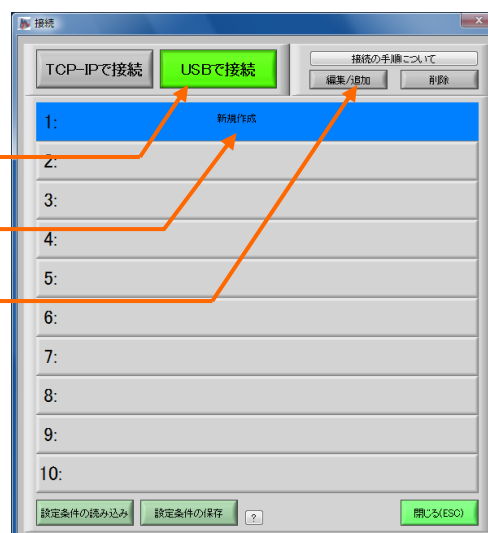
② 接続するインターフェースを選択します。

③ 「1:」の欄をクリックして青色に反転させて、「編集／追加」ボタンを押します。

インターフェース種類を選択

クリックして反転させる

「編集／追加」ボタンを押す



④ 「機種選択」・「装置名称」・「IPアドレス」・「ポート番号」・「USB ID」をそれぞれ入力し、最後に「OK」ボタンを押します。

各設定内容を入力

最後に「OK」ボタンを押す



⑤ 「接続」ボタンを押して、通信接続を行います。

⑥ 「閉じる(ESC)」を押して接続画面を閉じます。

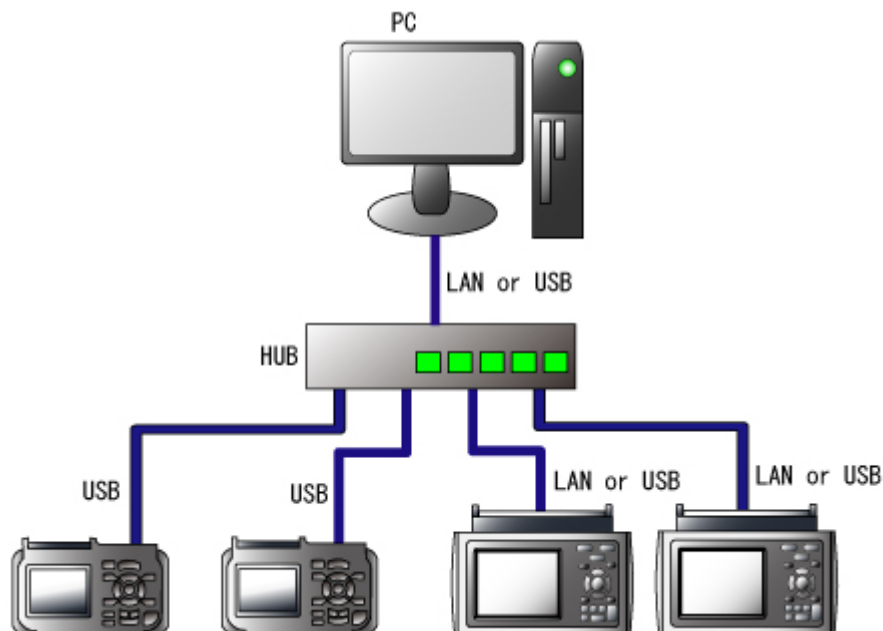
「接続」ボタンを押して、接続開始する

「閉じる(ESC)」ボタンを押して、
接続画面を閉じる

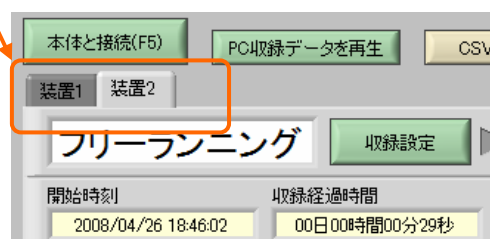


複数台接続の場合

GL200.800-APS は、GL200A 及び GL800 を最大 10 台(最大 500CH)接続することができます。
ここでは、複数台接続する方法を説明します。



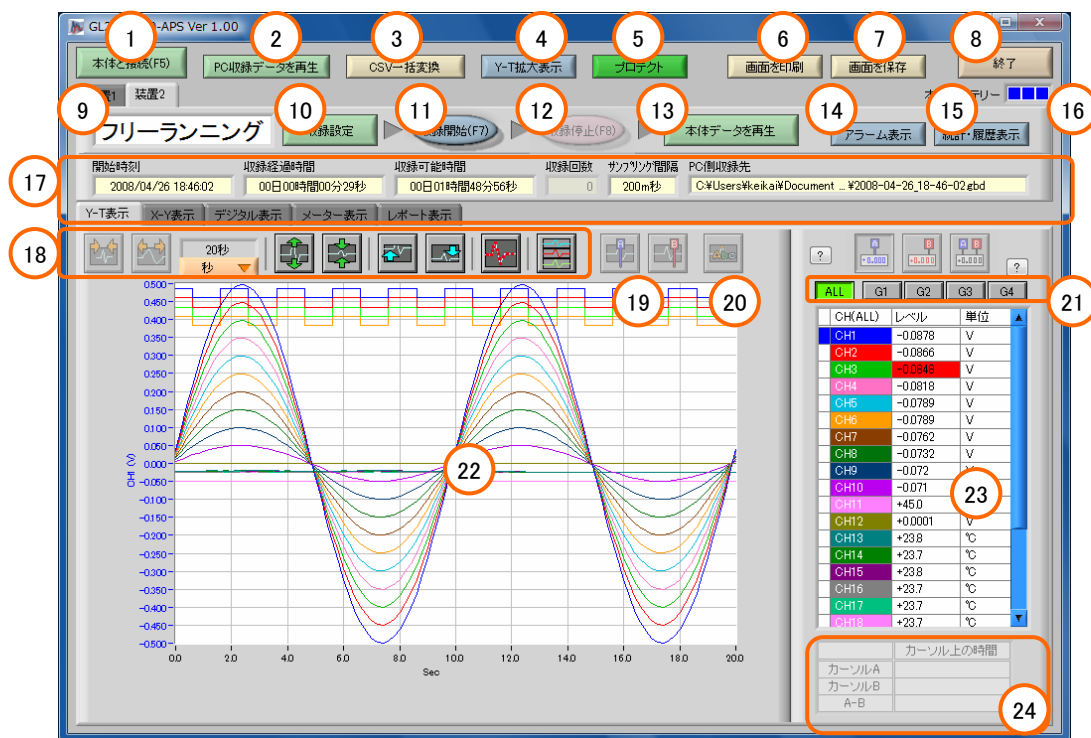
- ① 各本体毎に、「IPアドレス」又は「USB ID」を登録します。
※ 本体毎に重複しないように番号を登録します。
- ② 各本体毎に「接続」ボタンを押して、接続を行います。
- ③ 「閉じる(ESC)」ボタンを押して、接続画面を閉じます。
- ④ 接続したタブが表示されますので、装置を選択して装置毎に必要な設定をしてください。



8. 表示画面

本ソフトウェアにおける、各表示画面の説明をします。

8-1. Y-T表示(メイン画面)



番号	名称	説明	参照								
1	本体と接続 (F5)	接続画面を開きます	7								
2	PC 収録データを再生	PC (パソコン) に収録したデータを再生します。	11-1								
3	CSV 一括変換	PC (パソコン) に収録した複数の GBD (バイナリ) データを CSV 形式に変換します。	12-1								
4	Y-T 拡大表示	Y-T 表示画面で、波形エリアの拡大表示を行います。	8-2								
5	プロテクト	パスワードを設定して、ソフトのプロテクトを行います。	12-3								
6	画面を印刷	表示画面をプリンタに印刷します。 印刷されるプリンタは「通常使用するプリンタ」に設定されているプリンタに印刷されます。印刷するプリンタを変更する場合は、ソフトウェアを再起動してください。									
7	画面を保存	表示画面を BMP ファイル形式で保存します。									
8	終了	ソフトウェアを終了します。	12-4								
9	簡易メッセージ	動作状態を表示します。 <table><tr><td>フリーランニング</td><td>収録を行っていない停止状態</td></tr><tr><td>トリガ待ち</td><td>未収録状態でトリガ成立を待っています。</td></tr><tr><td>収録中</td><td>収録状態です</td></tr><tr><td>収録終了</td><td>収録済みの状態です。「収録停止」してください。</td></tr></table>	フリーランニング	収録を行っていない停止状態	トリガ待ち	未収録状態でトリガ成立を待っています。	収録中	収録状態です	収録終了	収録済みの状態です。「収録停止」してください。	
フリーランニング	収録を行っていない停止状態										
トリガ待ち	未収録状態でトリガ成立を待っています。										
収録中	収録状態です										
収録終了	収録済みの状態です。「収録停止」してください。										
10	収録設定	収録設定画面を開きます。	9								
11	収録開始 (F7)	データ収録を開始します。									
12	収録停止 (F8)	データ収録を停止します。									
13	本体データを再生	本体に収録したデータを再生します。	11-2								

番号	名称	説明	参照												
14	アラーム表示	アラーム出力ポートの状態を表示します。またアラーム設定が「アラーム保持」の場合は、「アラームクリア」ボタンを押すことによりアラームをクリアできます。	11-3-4												
15	統計・履歴表示	収録中に実行する統計演算の結果と、アラームの発生履歴を表示します。	12-2												
16	バッテリー情報	バッテリーの容量を表示します。 <table><tr><td>AC アダプタ動作時</td><td>■ ■ ■</td></tr><tr><td>バッテリー残量: 多</td><td>■ ■ ■</td></tr><tr><td>バッテリー残量: 中</td><td>□ ■ ■</td></tr><tr><td>バッテリー残量: 少</td><td>□ □ ■</td></tr><tr><td>バッテリー残量: 僅少</td><td>□ □ □</td></tr></table> 収録中の場合は収録を停止します。	AC アダプタ動作時	■ ■ ■	バッテリー残量: 多	■ ■ ■	バッテリー残量: 中	□ ■ ■	バッテリー残量: 少	□ □ ■	バッテリー残量: 僅少	□ □ □			
AC アダプタ動作時	■ ■ ■														
バッテリー残量: 多	■ ■ ■														
バッテリー残量: 中	□ ■ ■														
バッテリー残量: 少	□ □ ■														
バッテリー残量: 僅少	□ □ □														
17	収録情報	収録中の情報を表示します。 <table><tr><td>開始時刻</td><td>収録を開始した時刻です。</td></tr><tr><td>収録経過時間</td><td>収録を開始してから経過時間です。</td></tr><tr><td>収録可能時間</td><td>収録が可能な時間です。残り時間がなくなると本体側、パソコン側ともに収録が停止します。</td></tr><tr><td>収録回数</td><td>繰り返し収録をしている際の、繰り返し収録の回数です。</td></tr><tr><td>サンプリング間隔</td><td>サンプリング間隔です。</td></tr><tr><td>PC 側収録先</td><td>パソコン側のデータ収録先です。</td></tr></table>	開始時刻	収録を開始した時刻です。	収録経過時間	収録を開始してから経過時間です。	収録可能時間	収録が可能な時間です。残り時間がなくなると本体側、パソコン側ともに収録が停止します。	収録回数	繰り返し収録をしている際の、繰り返し収録の回数です。	サンプリング間隔	サンプリング間隔です。	PC 側収録先	パソコン側のデータ収録先です。	
開始時刻	収録を開始した時刻です。														
収録経過時間	収録を開始してから経過時間です。														
収録可能時間	収録が可能な時間です。残り時間がなくなると本体側、パソコン側ともに収録が停止します。														
収録回数	繰り返し収録をしている際の、繰り返し収録の回数です。														
サンプリング間隔	サンプリング間隔です。														
PC 側収録先	パソコン側のデータ収録先です。														
18	波形操作	波形表示の各設定を行います。	10												
19	カーソル表示	収録中状態で、スクロール停止時にカーソルを表示させます。	10												
20	コメント入力	収録中の波形グラフの任意の CH 波形上にコメントを入力します。	10												
21	表示グループ切り替え	波形・デジタル表示するグループを切り替えます。													
22	波形グラフ	波形を表示します。													
23	デジタル表示	デジタル値で表示します。各 CH 欄をクリックすると、波形の Off／On の切り替えができます。アラームが発生している CH は赤色で塗りつぶされます。													
24	カーソル上時間	収録状態で、スクロール停止時にカーソル上の時間を表示します。													

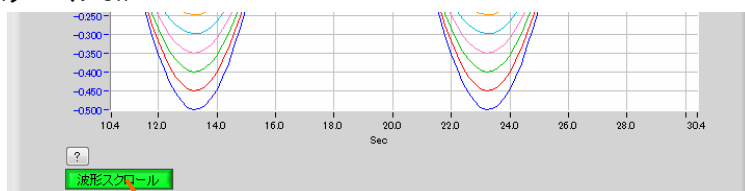
収録中の Y-T 表示は、「波形スクロール」ボタンを表示します。

「波形スクロール」ボタンは、On と Off で現在表示／過去表示の切り替えを行います。

スクロール On の時は、グラフの右端が最新になるようにスクロールします。

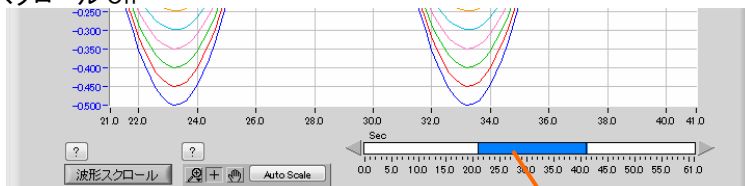
スクロール Off の時は、スクロールを停止し、スクロールバーで収録した過去のデータを見ることができます。

スクロール On



波形スクロール(スクロール切り替えボタン)

スクロール Off

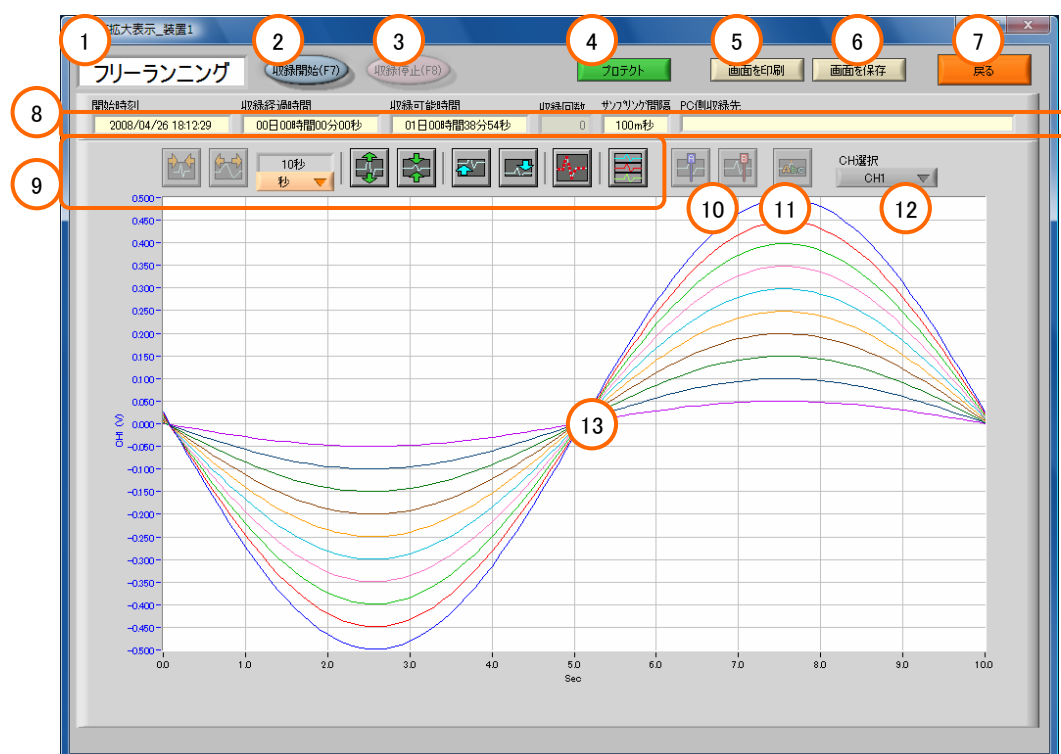


スクロールバー

8-2. Y-T拡大表示画面

Y-T拡大表示

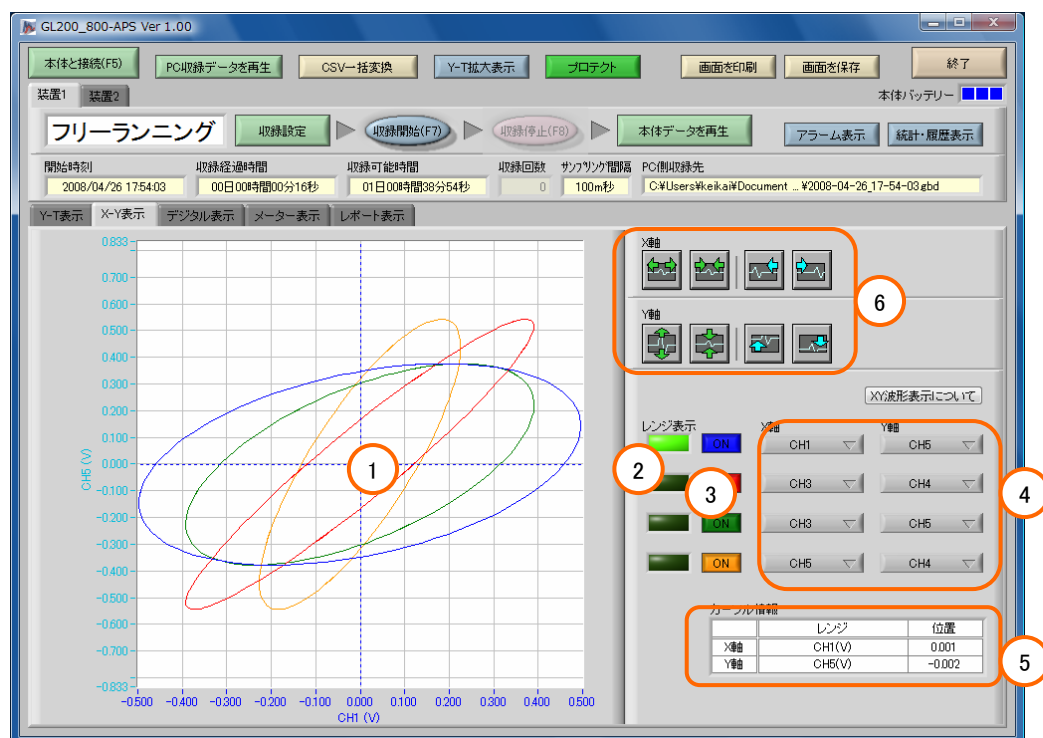
のボタンを押すと、Y-T波形表示エリアを拡大することができます。



番号	名称	説明	参照
1	簡易メッセージ	動作状態を表示します。	
2	記録開始 (F7)	データ収録を開始します。	
3	記録停止 (F8)	データ収録を停止します。	
4	プロテクト	パスワードを設定して、ソフトのプロテクトを行います。	12-3
5	画面を印刷	表示画面をプリンタに印刷します。 印刷されるプリンタは「通常使用するプリンタ」に設定されているプリンタに印刷されます。印刷するプリンタを変更する場合は、ソフトウェアを再起動してください。	
6	画面を保存	表示画面を BMP ファイル形式で保存します。	
7	戻る	通常の表示画面に戻ります。	
8	収録情報	収録中の情報を表示します。	
9	波形操作	波形表示の各設定を行います。	10
10	カーソル表示	収録中状態で、スクロール停止時にカーソルを表示させます。	10
11	コメント入力	収録中の波形グラフの任意の CH 波形上にコメントを入力します。	10
12	波形操作CH選択	波形操作を行うCHを選択します。	10
13	波形グラフ	波形を表示します。	

8-3. X-Y表示

最大4の組み合わせ処理が可能です。任意の CH が設定可能です。

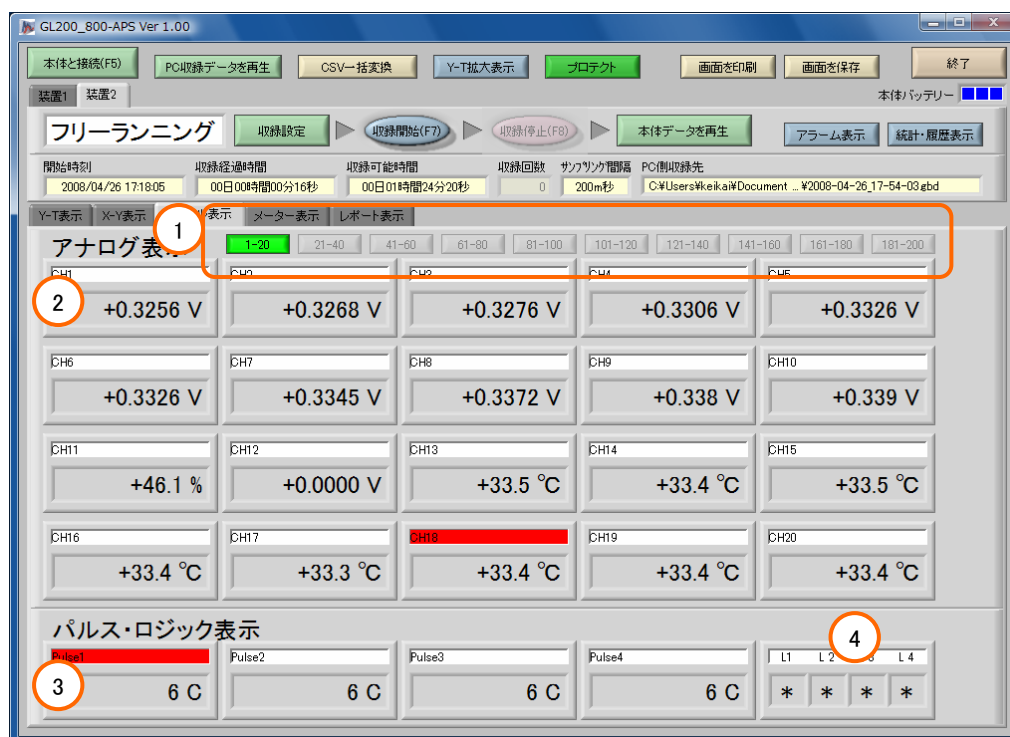


番号	名称	説明	参照
1	X-Y 波形グラフ	X-Y 波形を表示します。	
2	レンジ表示	X 軸、Y 軸に設定されている CH のスケール値を表示します。	
3	On/Off	表示の On/Off を設定します。	
4	X 軸・Y 軸 CH 設定	X 軸と Y 軸の CH を設定します。	
5	カーソル情報	レンジ表示されている CH のカーソル上のレベルを表示します。	
6	波形操作	X 軸・Y 軸の拡大・縮小・ポジション移動を行います。	

8-4. デジタル表示

デジタル値で表示します。大きな文字で瞬時値を確認することができます。

デジタル画面



番号	名称	説明	参照
1	表示CH設定	20CH毎に、デジタル表示するアナログCHを切り替えます。 ※GL200A の場合は、表示されません。	
2	アナログ表示	アナログCHのデジタル値を20CH分表示します。	
3	パルス表示	パルス信号のデジタル値を表示します。	
4	ロジック表示	ロジック信号のデジタル値を表示します。	

8-5. メーター表示

各 CH の入力をメーターで表示します。



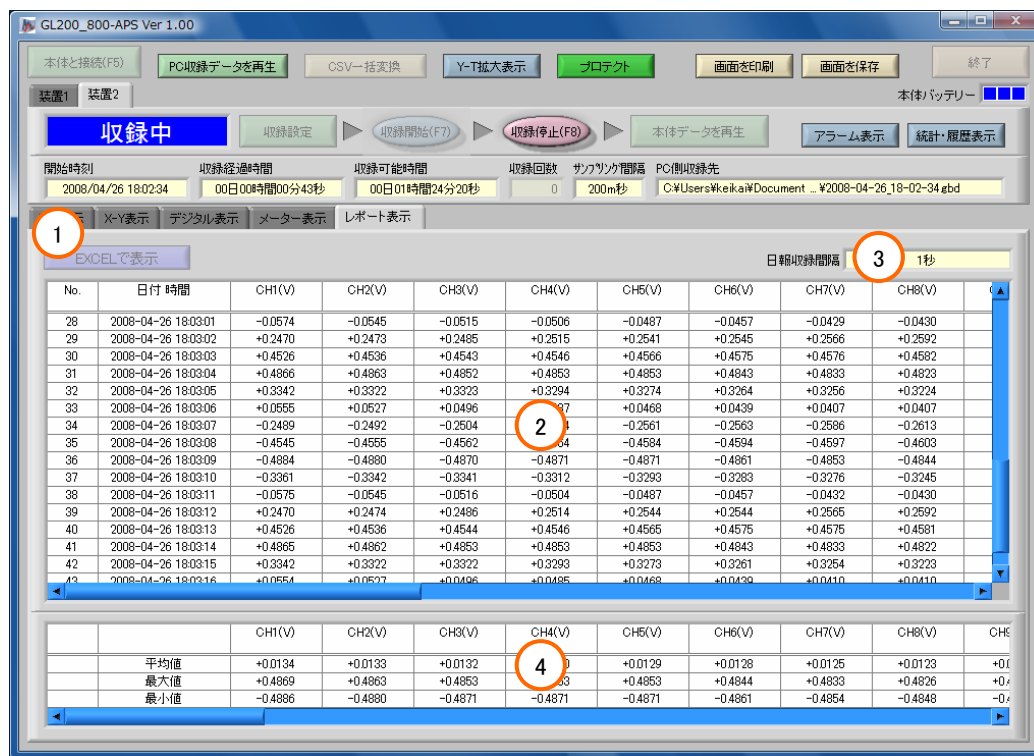
番号	名称	説明	参照
1	表示CH設定	20CH毎に、メーター表示するアナログCHを切り替えます。 ※GL200A の場合は、表示されません。	
2	アラーム範囲 ◀	アラームの範囲を左記のマークで表示します。	
3	瞬時値レベル	現在の入力位置です。ゼロから現在の入力値まで、赤く塗りつぶした表示となります。	

8-6. レポート表示

日報のデータを表示します。

表示データはフリーランニング中に EXCEL で表示することが可能です。

レポート設定が Off に設定されている場合は、レポートデータは表示されません。



番号	名称	説明	参照
1	EXCEL で表示	フリーランニング中にデータを EXCEL で表示します。 (※Microsoft 社の EXCEL が必要です)	
2	日報データ	日報のデータを表示します。100 行を超えた時点で古い行から消去していきます(実際のデータには影響ありません)。	
3	日報収録間隔	日報の収録間隔を表示します。	
4	演算結果	平均値、最大値、最小値の演算結果を表示します。	

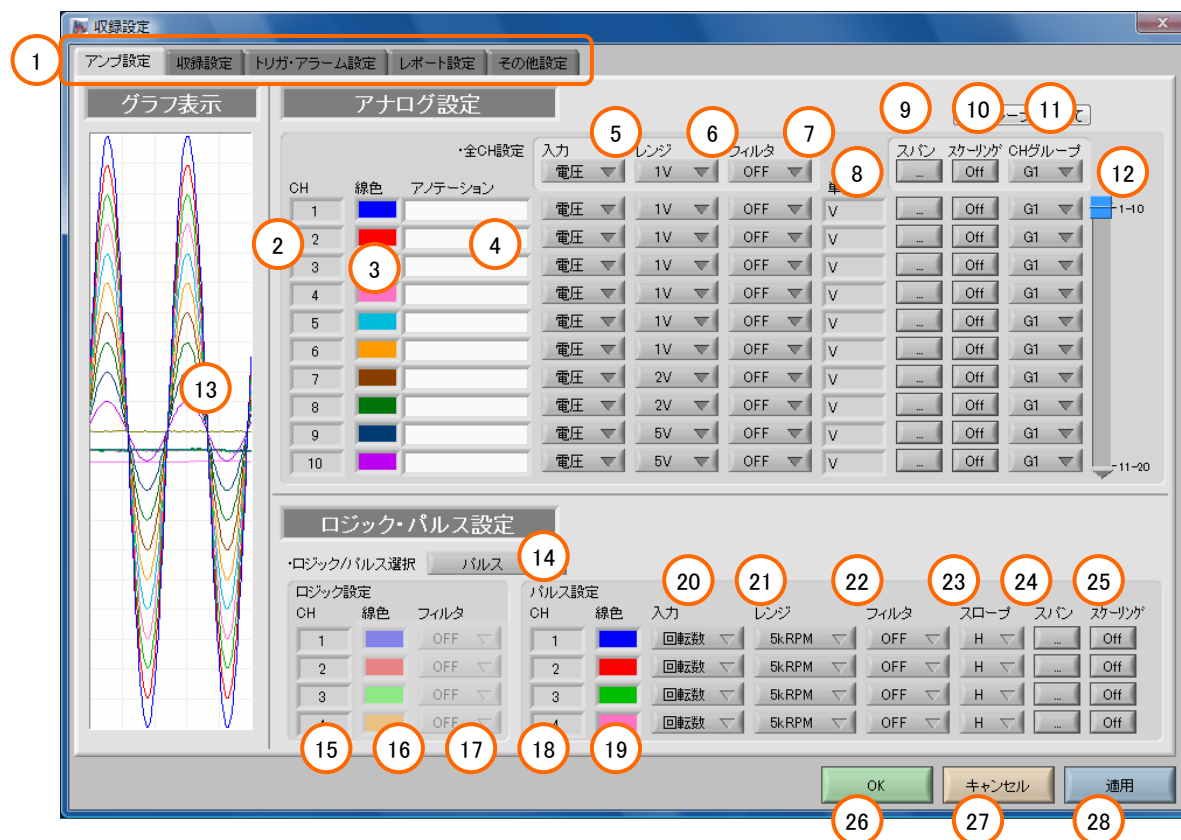
9. 収録設定画面

収録に関する設定を行う画面の説明です。

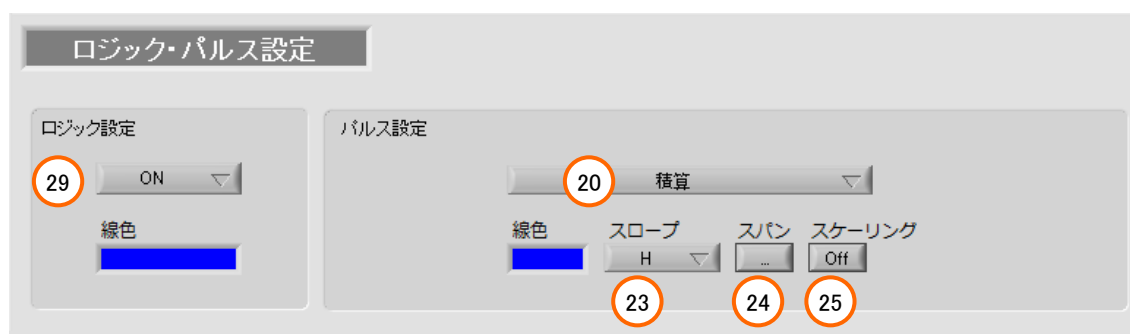
9-1. アンプ設定

アナログ入力、ロジック入力、パルス入力の設定を行います。

●GL800設定画面



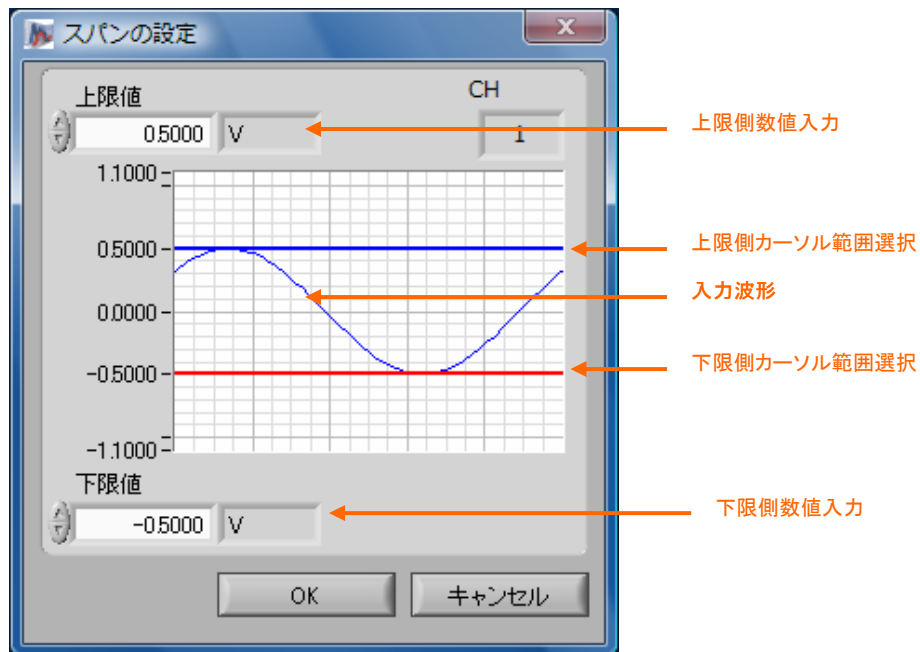
●GL200Aロジック・パルス設定画面



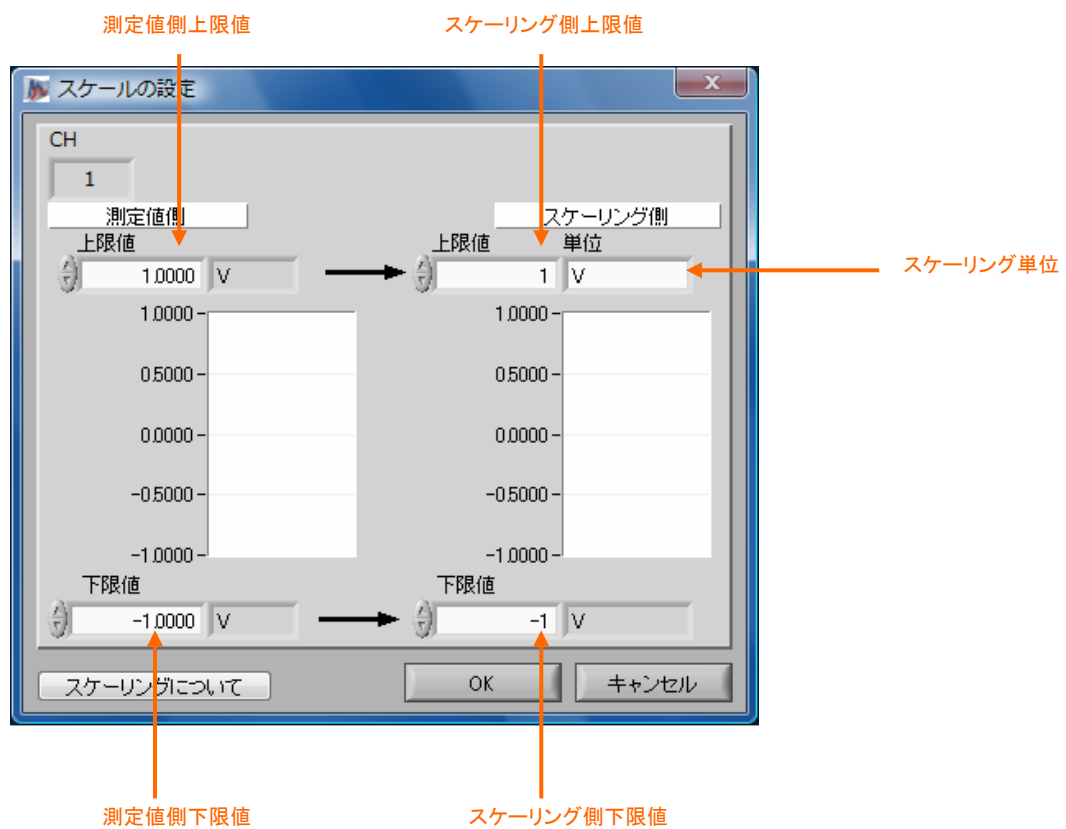
番号	名称	説明	参照										
1	設定タブ	各設定画面を切り替えます。 <table><tr><td>アンプ設定</td><td>入力に関する設定を行います。</td></tr><tr><td>収録設定</td><td>収録に関する設定を行います。</td></tr><tr><td>トリガ・アラーム設定</td><td>トリガとアラームに関する設定を行います。</td></tr><tr><td>レポート設定</td><td>日報・月報、ダイレクト EXCEL に関する設定を行います。</td></tr><tr><td>その他</td><td>その他の設定、インフォメーションなどを表示します。</td></tr></table>	アンプ設定	入力に関する設定を行います。	収録設定	収録に関する設定を行います。	トリガ・アラーム設定	トリガとアラームに関する設定を行います。	レポート設定	日報・月報、ダイレクト EXCEL に関する設定を行います。	その他	その他の設定、インフォメーションなどを表示します。	
アンプ設定	入力に関する設定を行います。												
収録設定	収録に関する設定を行います。												
トリガ・アラーム設定	トリガとアラームに関する設定を行います。												
レポート設定	日報・月報、ダイレクト EXCEL に関する設定を行います。												
その他	その他の設定、インフォメーションなどを表示します。												
2	CH	アナログ入力の CH の番号です。											
3	線色	各 CH の波形の色を設定できます。											
4	アノテーション	各 CH に任意でアノテーションを入力できます(信号名などを記入してください)。											
5	入力	入力を選択します。 <table><tr><td>Off</td><td>入力を Off にします。</td></tr><tr><td>電圧</td><td>電圧測定時に設定します。</td></tr><tr><td>温度</td><td>温度測定時に設定します。</td></tr><tr><td>湿度</td><td>湿度測定時に設定します。</td></tr></table>	Off	入力を Off にします。	電圧	電圧測定時に設定します。	温度	温度測定時に設定します。	湿度	湿度測定時に設定します。			
Off	入力を Off にします。												
電圧	電圧測定時に設定します。												
温度	温度測定時に設定します。												
湿度	湿度測定時に設定します。												
6	レンジ	入力レンジを設定します。 <table><tr><td>電圧時</td><td>20,50,100,200,500(mV),1,2,5,10,20,50(V),1-5V</td></tr><tr><td>温度時</td><td>TC-K,TC-J,TC-T,TC-R,TC-E,TC-B,TC-S,TC-N,TC-W,Pt100,JPt100,Pt1000 ※Ptxxxは、GL800 のみ</td></tr><tr><td>湿度時</td><td>電圧 1V 固定で、内部単位を変換します。 0V→0%~1V→100%</td></tr></table>	電圧時	20,50,100,200,500(mV),1,2,5,10,20,50(V),1-5V	温度時	TC-K,TC-J,TC-T,TC-R,TC-E,TC-B,TC-S,TC-N,TC-W,Pt100,JPt100,Pt1000 ※Ptxxxは、GL800 のみ	湿度時	電圧 1V 固定で、内部単位を変換します。 0V→0%~1V→100%					
電圧時	20,50,100,200,500(mV),1,2,5,10,20,50(V),1-5V												
温度時	TC-K,TC-J,TC-T,TC-R,TC-E,TC-B,TC-S,TC-N,TC-W,Pt100,JPt100,Pt1000 ※Ptxxxは、GL800 のみ												
湿度時	電圧 1V 固定で、内部単位を変換します。 0V→0%~1V→100%												
7	フィルタ	各CH毎に、フィルタを設定します。 フィルタは、移動平均処理になります。 設定サンプリング速度で、設定回数のデータを取り込み平均処理します。 <table><tr><td>Off, 2, 5, 10, 20, 40 (回)</td></tr></table>	Off, 2, 5, 10, 20, 40 (回)										
Off, 2, 5, 10, 20, 40 (回)													
8	単位	単位を表示します。											
9	スパン	波形グラフに表示する波形の上限値と下限値を設定します。	9-1-1										
10	スケールリング	単位の変換を行います。	9-1-2										
11	CHグループ	CH毎に表示グループを設定します。 Y-T表示画面で、設定したグループのみ表示することが出来ます。											
12	CH切り替え	10CH毎に設定CHの切り替えを行います。 ※GL200A では、本設定はありません。											
13	グラフ表示	設定した波形を確認することができます。 設定を反映させるには、「適用」ボタンを押してください。											
14	ロジック・パルス切り替え	デジタル入力の切り替えを設定します。 ロジック・パルス・OFFが設定できます。 ※GL200A では、本設定はありません。											
15	ロジックCH番号	ロジック入力のCH番号です。											
16	ロジック線色	ロジック波形の色を設定します。											
17	ロジックフィルタ	ロジックのフィルタを設定します。 フィルタは、約30Hzで約-3dBとなります。 ※GL200A では、本設定はありません。 <table><tr><td>Off, On</td></tr></table>	Off, On										
Off, On													
18	パルスCH番号	パルス入力のCH番号です。											
19	パルス線色	パルスの線色を設定します。											
20	パルス入力	パルスの入力を設定します。 <table><tr><td>Off</td><td>パルス入力を Off にします。</td></tr><tr><td>回転数</td><td>1秒間のパルスの発生をカウントし、60倍して回転数(RPM)として表示します。</td></tr><tr><td>積算</td><td>1 サンプル内のパルスの発生を積算カウントしていきます。</td></tr><tr><td>瞬時</td><td>1 サンプル内のパルス発生をカウントします。</td></tr></table>	Off	パルス入力を Off にします。	回転数	1秒間のパルスの発生をカウントし、60倍して回転数(RPM)として表示します。	積算	1 サンプル内のパルスの発生を積算カウントしていきます。	瞬時	1 サンプル内のパルス発生をカウントします。			
Off	パルス入力を Off にします。												
回転数	1秒間のパルスの発生をカウントし、60倍して回転数(RPM)として表示します。												
積算	1 サンプル内のパルスの発生を積算カウントしていきます。												
瞬時	1 サンプル内のパルス発生をカウントします。												

番号	名称	説明	参照						
21	パルスレンジ	パルスのレンジを設定します。 ※GL200A では、本設定はありません。 <table><tr><td>回転数</td><td>50・500・5000・50k・500k・5M・50M・500M RPM/F.S.</td></tr><tr><td>積算</td><td>50・500・5000・50k・500k・5M・50M・500M C/F.S.</td></tr><tr><td>瞬時</td><td>50・500・5000・50k・500k・5M・50M・500M C/F.S.</td></tr></table>	回転数	50・500・5000・50k・500k・5M・50M・500M RPM/F.S.	積算	50・500・5000・50k・500k・5M・50M・500M C/F.S.	瞬時	50・500・5000・50k・500k・5M・50M・500M C/F.S.	
回転数	50・500・5000・50k・500k・5M・50M・500M RPM/F.S.								
積算	50・500・5000・50k・500k・5M・50M・500M C/F.S.								
瞬時	50・500・5000・50k・500k・5M・50M・500M C/F.S.								
22	パルスフィルタ	パルスのフィルタを設定します。 フィルタは、約30Hzで約－3dBとなります。 ※GL200A では、本設定はありません。 <table><tr><td>Off, On</td></tr></table>	Off, On						
Off, On									
23	パルススロープ	パルス検知のスロープを設定します。 <table><tr><td>H</td><td>信号の立ち上がりをカウントします。</td></tr><tr><td>L</td><td>信号の立ち下がりをカウントします。</td></tr></table>	H	信号の立ち上がりをカウントします。	L	信号の立ち下がりをカウントします。			
H	信号の立ち上がりをカウントします。								
L	信号の立ち下がりをカウントします。								
24	パルススパン	波形グラフに表示する波形の上限値と下限値を設定します。	9-1-1						
25	パルススケールリング	単位の変換を行います。	9-1-2						
26	OK	設定を反映して画面を閉じます。							
27	キャンセル	設定を反映せずに画面を閉じます。							
28	適用	設定を反映します。							
29	ロジック設定	GL200A接続時、ロジック収録のON/OFFを設定します。 <table><tr><td>ON</td><td>ロジック信号を表示・収録します。</td></tr><tr><td>OFF</td><td>ロジック信号を表示・収録しません。</td></tr></table>	ON	ロジック信号を表示・収録します。	OFF	ロジック信号を表示・収録しません。			
ON	ロジック信号を表示・収録します。								
OFF	ロジック信号を表示・収録しません。								

9-1-1. スパン設定

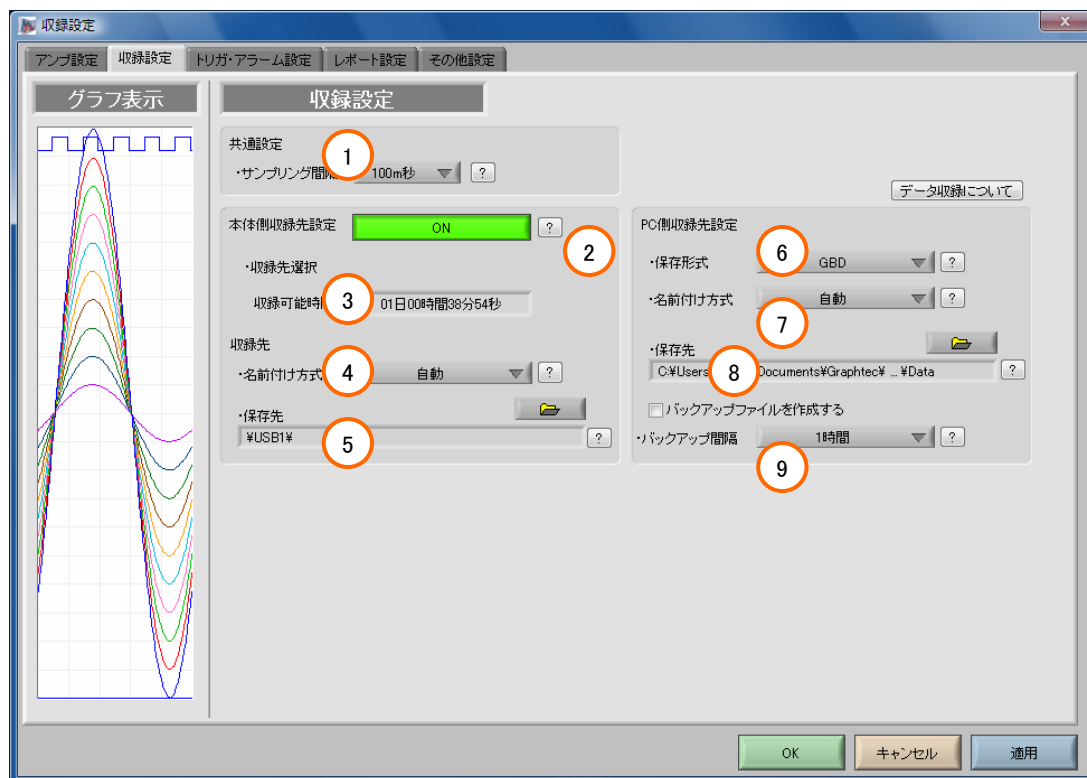


9-1-2. スケーリング設定



9-2. 収録設定

サンプリング間隔、本体側収録設定、PC 側収録設定などを行います。

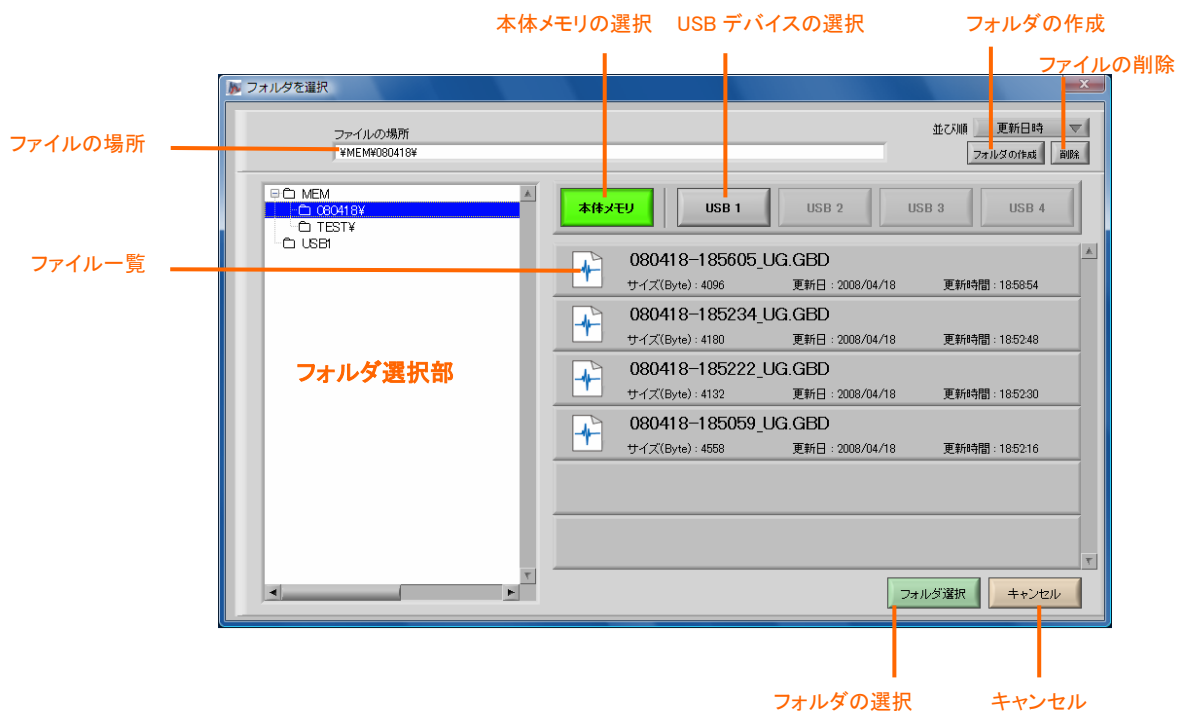


番号	名称	説明	参照
1	サンプリング間隔	データを収録する間隔を設定します。 設定可能なサンプリング間隔は、測定CH数※¹に依存します。 <GL200A> 10, 20, 50, 100, 200, 500(ms), 1, 2, 5, 10, 20, 30(s), 1, 2, 5, 10, 20, 30(min), 1(h) 10ms : 1ch(電圧・湿度のみ) 20ms : 2ch 以下(電圧・湿度のみ) 50ms : 5ch 以下(電圧・湿度のみ) 100ms : 10Ch 以下(制限なし) ※本ソフトウェアで 125、250ms は設定できません。 ※本体ファームウェア V2.00 以降が必要です。 <GL800> 100, 200, 500(ms), 1, 2, 5, 10, 20, 30(s), 1, 2, 5, 10, 20, 30(min), 1(h) 100ms : 10ch 以下 200ms : 20ch 以下 500ms : 50ch 以下 1s : 100ch 以下 2s : 200ch 以下 ※¹ 測定 CH 数とは、入力設定が OFF 以外に設定されている CH 数となります。	

番号	名称	説明		参照				
2	本体側収録先設定ボタン	GL200A・GL800 本体側の、データ収録ON/OFFを設定します。 <table><tr><td>ON</td><td>GL200A・GL800 本体側でも、データ収録を行います。 本体側の収録先に、空きが無い場合は、データ収録を開始できません。 データは、本体とPCの両方に収録されます。</td></tr><tr><td>OFF</td><td>GL200A・GL800 本体側では、データ収録を行いません。 本体側の収録先に、空きが無くても、データ収録を開始できます。 データは、PC側のみ収録されます。 <i>(注意)</i> <i>OFFで使用する場合、本体のファームウェアV2.00 以降が必要となります。</i></td></tr></table>		ON	GL200A・GL800 本体側でも、データ収録を行います。 本体側の収録先に、空きが無い場合は、データ収録を開始できません。 データは、本体とPCの両方に収録されます。	OFF	GL200A・GL800 本体側では、データ収録を行いません。 本体側の収録先に、空きが無くても、データ収録を開始できます。 データは、PC側のみ収録されます。 <i>(注意)</i> <i>OFFで使用する場合、本体のファームウェアV2.00 以降が必要となります。</i>	
ON	GL200A・GL800 本体側でも、データ収録を行います。 本体側の収録先に、空きが無い場合は、データ収録を開始できません。 データは、本体とPCの両方に収録されます。							
OFF	GL200A・GL800 本体側では、データ収録を行いません。 本体側の収録先に、空きが無くても、データ収録を開始できます。 データは、PC側のみ収録されます。 <i>(注意)</i> <i>OFFで使用する場合、本体のファームウェアV2.00 以降が必要となります。</i>							
3	本体側収録設定収録可能時間	本体側のメディア(本体メモリ、USB デバイス)に保存可能な時間を表示します。						
4	本体側収録設定名付け方式	ファイル名の名付け方式を設定します。 <table><tr><td>自動</td><td>指定したフォルダに日付のフォルダを作成し、その中に日時ファイルを作成します。</td></tr><tr><td>任意</td><td>自らファイル名を付けます。</td></tr></table>		自動	指定したフォルダに日付のフォルダを作成し、その中に日時ファイルを作成します。	任意	自らファイル名を付けます。	
自動	指定したフォルダに日付のフォルダを作成し、その中に日時ファイルを作成します。							
任意	自らファイル名を付けます。							
5	本体側収録設定保存先	本体側にデータ収録する保存先を設定します。		9-2-1				
6	PC側収録設定保存形式	PC(パソコン)側に保存するデータの形式を設定します。 <table><tr><td>GBD</td><td>バイナリデータです。CSV と比べてファイルサイズが小さくなります。</td></tr><tr><td>CSV</td><td>EXCEL で表示できるテキスト形式ファイルです。EXCEL では 65535 サンプル以上のデータが表示できないのでご注意ください。</td></tr></table>		GBD	バイナリデータです。CSV と比べてファイルサイズが小さくなります。	CSV	EXCEL で表示できるテキスト形式ファイルです。EXCEL では 65535 サンプル以上のデータが表示できないのでご注意ください。	
GBD	バイナリデータです。CSV と比べてファイルサイズが小さくなります。							
CSV	EXCEL で表示できるテキスト形式ファイルです。EXCEL では 65535 サンプル以上のデータが表示できないのでご注意ください。							
7	PC側収録設定名付け方式	ファイル名の名付け方式を設定します。 <table><tr><td>自動</td><td>指定したフォルダに日付のフォルダを作成し、その中に日時ファイルを作成します。</td></tr><tr><td>任意</td><td>自らファイル名を付けます。</td></tr></table>		自動	指定したフォルダに日付のフォルダを作成し、その中に日時ファイルを作成します。	任意	自らファイル名を付けます。	
自動	指定したフォルダに日付のフォルダを作成し、その中に日時ファイルを作成します。							
任意	自らファイル名を付けます。							
8	PC側収録設定保存先	PC(パソコン)にデータ収録する保存先を設定します。		9-2-2				
9	PC側収録設定バックアップファイルの作成	バックアップの作成を行います。バックアップファイルは「7.保存先」と同じ位置に保存されます。ファイル名に「_bk」と付きます。						
10	PC側収録設定バックアップ間隔	バックアップ間隔を設定します。収録中に指定したバックアップ間隔になったときに、間隔内のデータファイルを作成します。バックアップファイルを連結することで、本データと同じデータになります。 <table><tr><td>1, 2, 6, 12, 24(h)</td></tr></table>		1, 2, 6, 12, 24(h)				
1, 2, 6, 12, 24(h)								

9-2-1. 本体側保存先設定

本体側の保存先画面の説明をします。



注意！

本体側収録先設定ボタンが ON の場合、収録先に空きがないと、収録を開始できません。

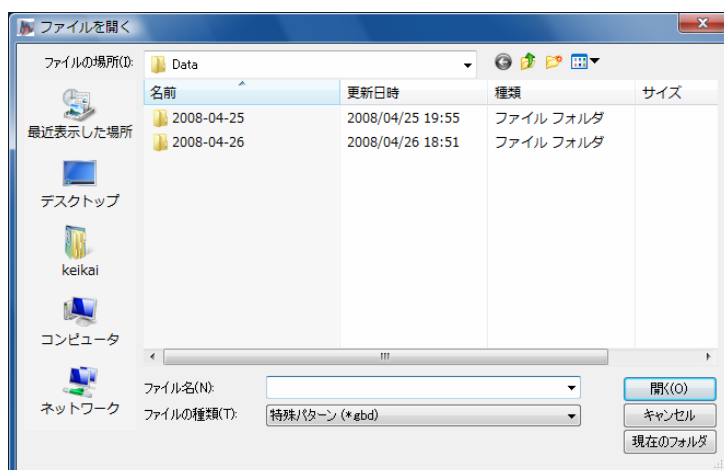
収録中に本体側のデバイスが一杯になると、本体側の収録は停止しますが、PC側は収録を継続します。

トリガで「繰り返し: ON」と設定している場合、本体側デバイスが一杯になった後、次の繰り返しスタートで PC 側も収録を停止します。

長時間測定する場合は、本体側に USB メモリ装着して、USB メモリを収録先に設定してください。

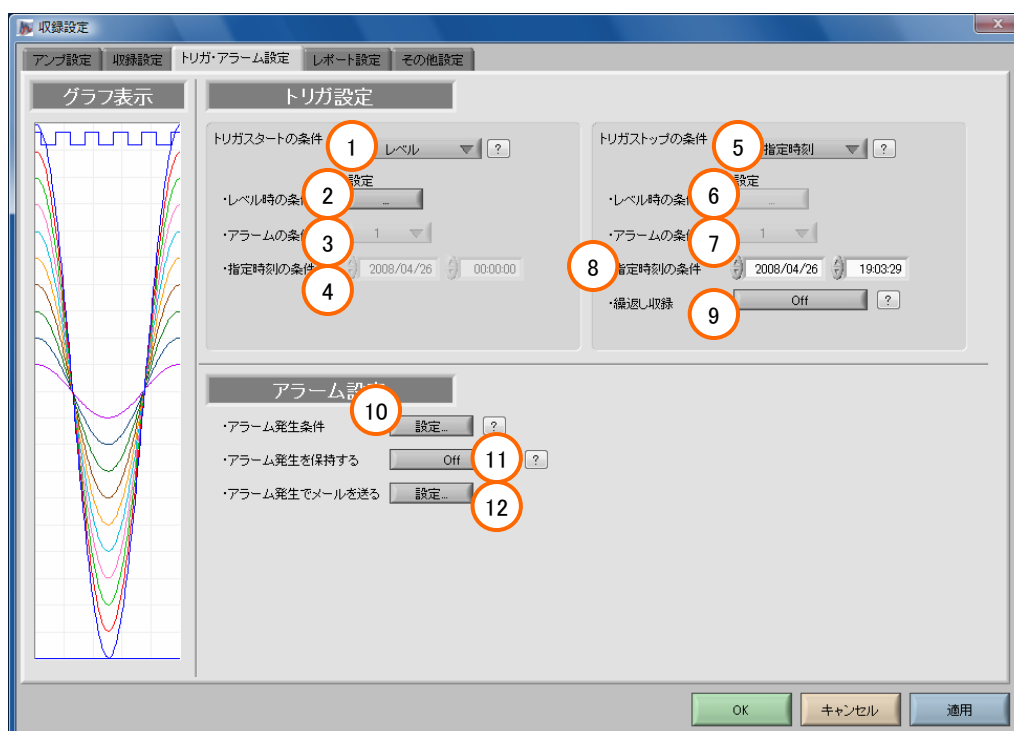
9-2-2. PC 側保存先設定

PC 側の保存先設定は、Windows の画面を使用します。



9-3. トリガ・アラーム設定

トリガのスタート条件、ストップ条件、アラームの設定、Eメール送信機能などの設定を行います。



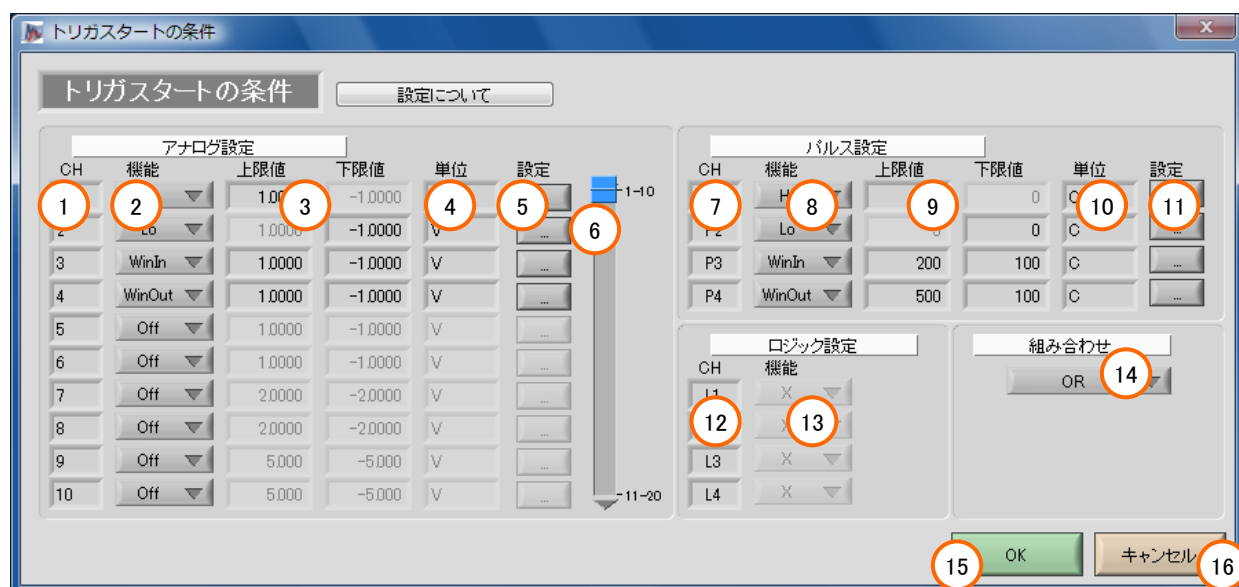
番号	名称	説明	参照														
1	トリガスタートの条件	収録を開始する条件を設定します。 <table><tr><td>Off</td><td>無条件に収録を開始します。</td></tr><tr><td>レベル</td><td>指定したレベルが成立したとき収録を開始します。</td></tr><tr><td>アラーム</td><td>指定したアラームが発生したときに、収録を開始します。</td></tr><tr><td>指定時刻</td><td>指定した日時になったときに収録を開始します。</td></tr><tr><td>指定時間</td><td>指定した時間になったときに収録を開始します。</td></tr><tr><td>外部</td><td>外部端子信号で収録を開始します。 外部トリガ信号が、約 2.5V 以下の立下りを検出したときに収録を開始します。</td></tr></table>	Off	無条件に収録を開始します。	レベル	指定したレベルが成立したとき収録を開始します。	アラーム	指定したアラームが発生したときに、収録を開始します。	指定時刻	指定した日時になったときに収録を開始します。	指定時間	指定した時間になったときに収録を開始します。	外部	外部端子信号で収録を開始します。 外部トリガ信号が、約 2.5V 以下の立下りを検出したときに収録を開始します。			
Off	無条件に収録を開始します。																
レベル	指定したレベルが成立したとき収録を開始します。																
アラーム	指定したアラームが発生したときに、収録を開始します。																
指定時刻	指定した日時になったときに収録を開始します。																
指定時間	指定した時間になったときに収録を開始します。																
外部	外部端子信号で収録を開始します。 外部トリガ信号が、約 2.5V 以下の立下りを検出したときに収録を開始します。																
2	スタート側 レベル時の条件	トリガスタートの条件を「レベル」にしたときの、レベル設定を行います。	9-3-1														
3	スタート側 アラーム条件	トリガスタートの条件を「アラーム」にしたときの、アラーム番号を設定します。 アラーム番号1～4を選択します。 ※GL200A では、本設定はありません。															
4	スタート側 指定時刻の条件	トリガスタートの条件を「指定時刻」・「指定時間」にしたときに設定を行います。 指定時刻の場合：収録を開始する年月日時間を設定します。 指定時間の場合：収録を開始する時間のみ設定します。															
5	トリガストップの条件	収録を停止する条件を設定します。 <table><tr><td>Off</td><td>停止条件はありません。</td></tr><tr><td>レベル</td><td>指定したレベルが成立したとき収録を停止します。</td></tr><tr><td>アラーム</td><td>指定したアラームが発生したときに、収録を停止します。</td></tr><tr><td>指定時刻</td><td>指定した日時になったときに収録を停止します。</td></tr><tr><td>指定時間</td><td>指定した時間になったときに収録を停止します。</td></tr><tr><td>外部</td><td>外部端子信号で収録を停止します。 外部トリガ信号が、約 2.5V 以下の立下りを検出したときに収録を停止します。</td></tr><tr><td>収録時間</td><td>指定した時間を収録すると停止します。</td></tr></table>	Off	停止条件はありません。	レベル	指定したレベルが成立したとき収録を停止します。	アラーム	指定したアラームが発生したときに、収録を停止します。	指定時刻	指定した日時になったときに収録を停止します。	指定時間	指定した時間になったときに収録を停止します。	外部	外部端子信号で収録を停止します。 外部トリガ信号が、約 2.5V 以下の立下りを検出したときに収録を停止します。	収録時間	指定した時間を収録すると停止します。	
Off	停止条件はありません。																
レベル	指定したレベルが成立したとき収録を停止します。																
アラーム	指定したアラームが発生したときに、収録を停止します。																
指定時刻	指定した日時になったときに収録を停止します。																
指定時間	指定した時間になったときに収録を停止します。																
外部	外部端子信号で収録を停止します。 外部トリガ信号が、約 2.5V 以下の立下りを検出したときに収録を停止します。																
収録時間	指定した時間を収録すると停止します。																

番号	名称	説明	参照						
6	ストップ側 レベル時の条件	トリガストップの条件を「レベル」にしたときのレベル設定を行います。	9-3-1						
7	ストップ側 アラーム条件	トリガストップの条件を「アラーム」にしたときの、アラーム番号を設定します。 アラーム番号1～4を選択します。 ※GL200A では、本設定はありません。							
8	ストップ側 指定時刻の条件	トリガストップの条件を「指定時刻」・「指定時間」・「収録時間」にしたときに設定を行います。 指定時刻の場合：停止する年月日時間を設定します。 指定時間の場合：停止する時間のみ設定します。 収録時間の場合：収録開始から停止するまでの時間のみ設定します。							
9	繰り返し収録	トリガストップが発生した後に、繰り返しして収録を開始します。							
10	アラーム発生条件	各入力に対してアラームレベルの設定を行います。	9-3-2						
11	アラーム発生を保持する	<table><tr><td colspan="2">アラームが発生した状態を保持するかクリアするか設定します。</td></tr><tr><td>On</td><td>アラームの発生を保持します。 各 CH のアラームと出力の状態を保持します。 クリアするには、「メイン画面」の「アラーム表示」にある「アラームクリア」を押してください。</td></tr><tr><td>Off</td><td>アラームの発生を保持しません。 アラーム状態が解除されたら、各 CH のアラーム状態とアラーム出力を解除します。</td></tr></table>	アラームが発生した状態を保持するかクリアするか設定します。		On	アラームの発生を保持します。 各 CH のアラームと出力の状態を保持します。 クリアするには、「メイン画面」の「アラーム表示」にある「アラームクリア」を押してください。	Off	アラームの発生を保持しません。 アラーム状態が解除されたら、各 CH のアラーム状態とアラーム出力を解除します。	
アラームが発生した状態を保持するかクリアするか設定します。									
On	アラームの発生を保持します。 各 CH のアラームと出力の状態を保持します。 クリアするには、「メイン画面」の「アラーム表示」にある「アラームクリア」を押してください。								
Off	アラームの発生を保持しません。 アラーム状態が解除されたら、各 CH のアラーム状態とアラーム出力を解除します。								
12	アラーム発生でメールを送る	メール送信する条件を設定します。 アラームが発生した際に、メール送信することができます。 (※メールを送信可能な環境が必要です)	9-3-3						

9-3-1. レベル時の条件

トリガ設定が「レベル」のときに「レベル時の条件」の設定を行います。

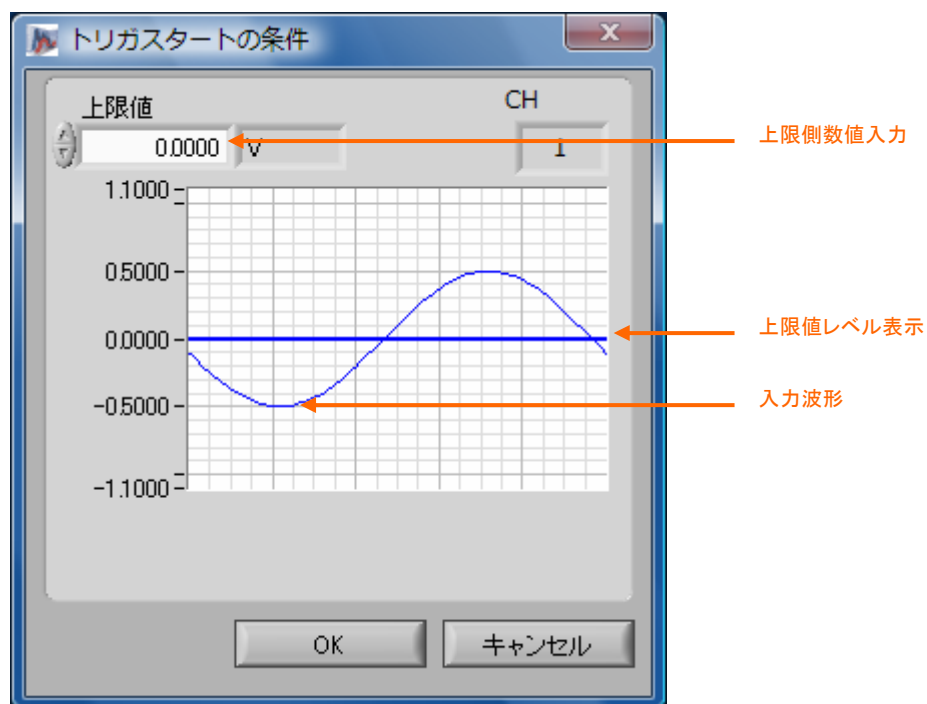
● GL800 設定画面



● GL200A設定画面

番号	名称	説明	参照										
1	CH	CH 番号を表示します											
2	機能	トリガのレベル検出モードを設定します。 <table><tr><td>Off</td><td>無効です。</td></tr><tr><td>Hi</td><td>立ち上がりで検出します。</td></tr><tr><td>Lo</td><td>立ち下がりで検出します。</td></tr><tr><td>Win In</td><td>範囲内を検出します。</td></tr><tr><td>Win Out</td><td>範囲外を検出します。</td></tr></table>	Off	無効です。	Hi	立ち上がりで検出します。	Lo	立ち下がりで検出します。	Win In	範囲内を検出します。	Win Out	範囲外を検出します。	
Off	無効です。												
Hi	立ち上がりで検出します。												
Lo	立ち下がりで検出します。												
Win In	範囲内を検出します。												
Win Out	範囲外を検出します。												
3	レベル表示	設定されているレベルを表示します。											
4	単位	単位を表示します。											
5	レベル設定	レベルの設定を行います。	次頁										
6	CH切り替え	10CH毎に設定CHの切り替えを行います。 ※GL200Aでは、本切り替えはありません。											
7	パルス CH	パルスのCH番号を表示します。 ※GL200Aでは、本表示はありません。											
8	パルス 機能	パルスのトリガ検出モードを設定します。 <table><tr><td>Off</td><td>無効です。</td></tr><tr><td>Hi</td><td>立ち上がりで検出します。</td></tr><tr><td>Lo</td><td>立ち下がりで検出します。</td></tr><tr><td>Win In</td><td>範囲内を検出します。</td></tr><tr><td>Win Out</td><td>範囲外を検出します。</td></tr></table>	Off	無効です。	Hi	立ち上がりで検出します。	Lo	立ち下がりで検出します。	Win In	範囲内を検出します。	Win Out	範囲外を検出します。	
Off	無効です。												
Hi	立ち上がりで検出します。												
Lo	立ち下がりで検出します。												
Win In	範囲内を検出します。												
Win Out	範囲外を検出します。												
9	パルス レベル表示	パルスの設定されているトリガレベルを表示します。											
10	パルス 単位	パルスの単位を表示します。											
11	パルス レベル設定	パルスのトリガレベル設定を行います。											
12	ロジック CH	ロジックのCHを表示します。 ※GL200Aでは、本表示はありません。											
13	ロジック 機能	ロジックトリガの設定を行います。 <table><tr><td>X</td><td>無効です。</td></tr><tr><td>H</td><td>立ち上がりで検出します。</td></tr><tr><td>L</td><td>立ち下がりで検出します。</td></tr></table>	X	無効です。	H	立ち上がりで検出します。	L	立ち下がりで検出します。					
X	無効です。												
H	立ち上がりで検出します。												
L	立ち下がりで検出します。												
14	組み合わせ	設定したトリガの組み合わせを設定します。 OR : 設定したトリガ条件が一つでも成立すると、収録を開始(停止)します。 AND : 設定したトリガ条件が全て成立すると、収録を開始(停止)します。											
15	OK	設定を確定して画面を閉じます。											
16	キャンセル	設定を確定せずに画面を閉じます。											

レベル設定画面例



9-3-2. アラーム発生条件

各入力に対してアラームレベルの設定を行います。
設定は「9-3-1. レベル時の条件」と同様になります。

●GL800 の設定画面

アラーム設定

設定について

アナログ設定

CH	機能	上限値	下限値	単位	設定	出力
1	Hi	1.0000	-1.0000	V	...	1
2	Lo	1.0000	-1.0000	V	...	1
3	WinIn	0.0000	-1.0000	V	...	1
4	WinOut	1.0000	-1.0000	V	...	1
5	Off	1.0000	-1.0000	V	...	1
6	Off	1.0000	-1.0000	V	...	1
7	Off	2.0000	-2.0000	V	...	1
8	Off	2.0000	-2.0000	V	...	1
9	Off	5.000	-5.000	V	...	1
10	Off	5.000	-5.000	V	...	1

パルス設定

CH	機能	上限値	下限値	単位	設定	出力
P1	Hi	1000	0	C	...	1
P2	Lo	5000	200	C	...	1
P3	WinIn	300	100	C	...	1
P4	WinOut	5000	500	C	...	1

ロジック設定

CH	機能	出力
L1	Off	1
L2	Off	1
L3	Off	1
L4	Off	1

OK キャンセル

●GL200A の設定画面

アラーム設定

設定について

アナログ設定

CH	機能	上限値	下限値	単位	設定
1	Hi	1.0000	-1.0000	V	...
2	Lo	1.0000	-1.0000	V	...
3	WinIn	1.0000	-1.0000	V	...
4	WinOut	1.0000	-1.0000	V	...
5	Off	1.0000	-1.0000	V	...
6	Off	1.0000	-1.0000	V	...
7	Off	2.0000	-2.0000	V	...
8	Off	2.0000	-2.0000	V	...
9	Off	5.000	-5.000	V	...
10	Off	5.000	-5.000	V	...

パルス設定

機能	上限値	下限値	単位	設定
Off	50	0	C	...

ロジック設定

機能
Hi

OK キャンセル

番号	名称	説明	参照
1	出力	アラームが発生したときに、出力する番号を設定します。 設定は、1～4から選択します。 出力は、本体のアラーム出力端子になります。 ※GL200Aでは、出力設定はありません。 ※GL800でアラーム出力信号を使用する場合、別売のB-513が必要です。 ※アラーム出力仕様は、CD付属のユーザーズマニュアルを参照願います。	

9-3-3. アラーム発生でメールを送る

アラームが発生した際に、メール送信することができます。
(メールを送信可能な環境が必要です)

The screenshot shows the 'メール設定' (Mail Settings) dialog box. It has a title bar with a close button. The main area is titled 'メール設定'. Below the title, there is a checkbox labeled 'アラームが発生したらメールを送る'. To the right of this checkbox, an orange arrow points to it with the text '「アラームが発生したらメールを送る」にチェックを入れます'. Below the checkbox, there are five rows, each with a label 'アドレス 1' through 'アドレス 5' and a corresponding 'コメント' field. An orange arrow points to the 'アドレス 1' field with the text '送信先のメールアドレスを設定します'. Another orange arrow points to the 'コメント' field for 'アドレス 1' with the text 'コメントを入力します'. Below these rows, there are two more fields: '送信メールサーバ' and '送信者アドレス'. An orange arrow points to the '送信メールサーバ' field with the text 'メール送信 (SMTP) サーバの設定を行います'. Another orange arrow points to the '送信者アドレス' field with the text '送信者のメールアドレスを設定します'. At the bottom right, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル'.

メール設定

☐ アラームが発生したらメールを送る

「アラームが発生したらメールを送る」にチェックを入れます

アドレス 1 コメント

アドレス 2 コメント

アドレス 3 コメント

アドレス 4 コメント

アドレス 5 コメント

送信先のメールアドレスを設定します

コメントを入力します

メール送信 (SMTP) サーバの設定を行います

送信メールサーバ

送信者アドレス

送信者のメールアドレスを設定します

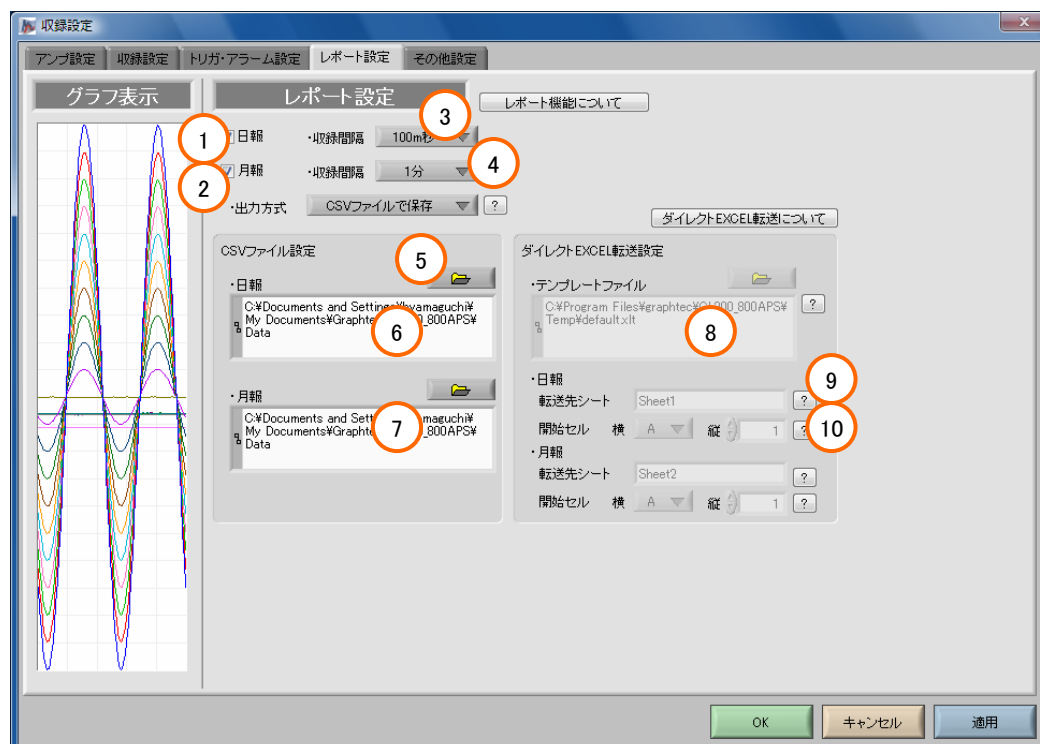
OK キャンセル

9-4. レポート設定

日報、月報収録の設定、ダイレクト EXCEL 転送の設定などを行います。

日報、月報は、収録データとは別の収録間隔で別の CSV ファイルを作成します。

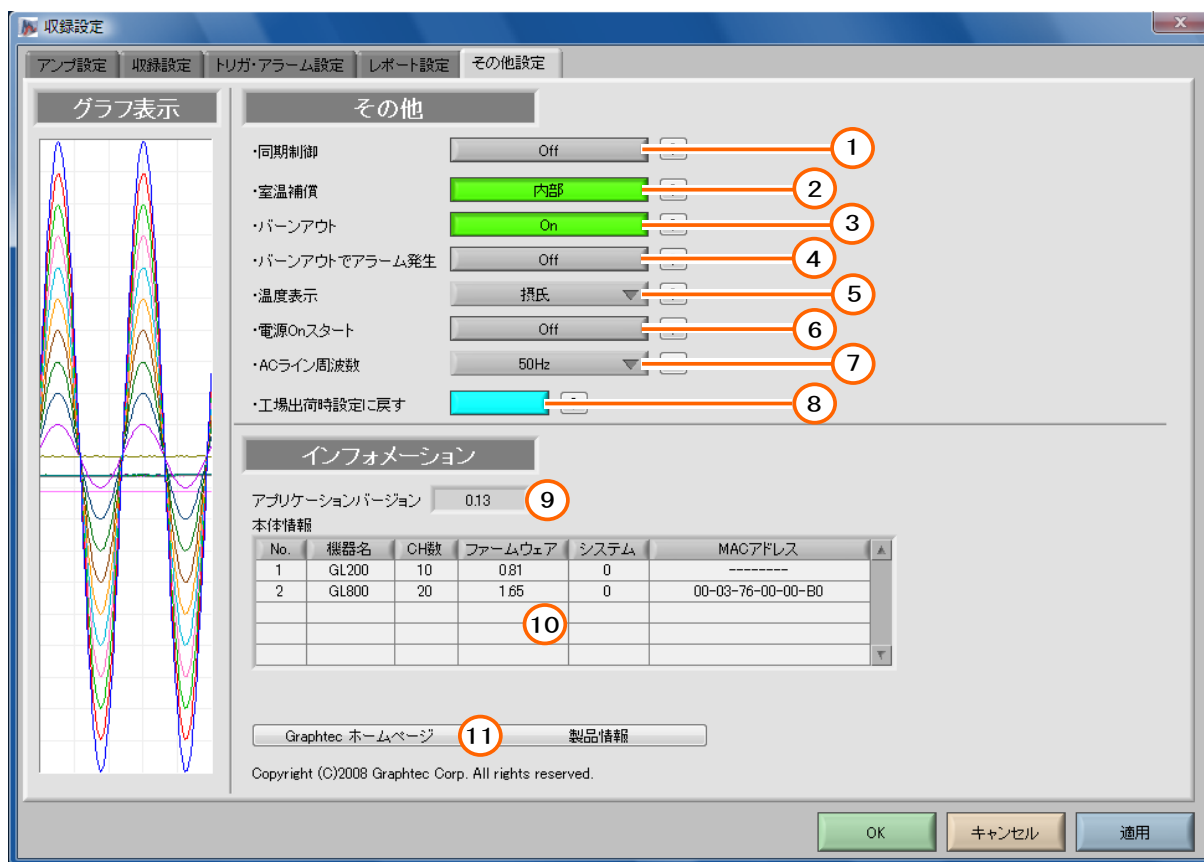
ダイレクト EXCEL は、収録時にリアルタイムで EXCEL にデータを転送します。(※Microsoft 社の EXCEL が必要です)
EXCEL 側でテンプレートを用意すれば、リアルタイムに EXCEL 上で波形を描画することも可能です。



番号	名称	説明	参照				
1	日報	日報機能を有効にします。					
2	月報	月報機能を有効にします。					
3	日報 収録間隔	日報の収録間隔を設定します。 100,200,500m 秒 1,5,10,30 秒,1,5,10,30 分が設定できます。 サンプリング間隔より速い設定を行なうと、サンプリング間隔で収録を行います。					
4	月報 収録間隔	月報の収録間隔を設定します。 1、5、10、30 分、1、2、6、12、24 時間が設定できます。 サンプリング間隔より速い設定を行なうと、サンプリング間隔で収録を行います。					
5	出力方式	レポートの出力方式を設定します。 <table><tr><td>CSV ファイルで保存</td><td>CSV ファイルに保存します。</td></tr><tr><td>ダイレクト EXCEL 転送</td><td>直接 EXCEL にデータを転送します。 EXCEL 側でテンプレートを用いればオリジナルのレポートがリアルタイムに作成できます。標準付属でのテンプレートも用意しています。 (※Microsoft 社の EXCEL が必要です)</td></tr></table>	CSV ファイルで保存	CSV ファイルに保存します。	ダイレクト EXCEL 転送	直接 EXCEL にデータを転送します。 EXCEL 側でテンプレートを用いればオリジナルのレポートがリアルタイムに作成できます。標準付属でのテンプレートも用意しています。 (※Microsoft 社の EXCEL が必要です)	
CSV ファイルで保存	CSV ファイルに保存します。						
ダイレクト EXCEL 転送	直接 EXCEL にデータを転送します。 EXCEL 側でテンプレートを用いればオリジナルのレポートがリアルタイムに作成できます。標準付属でのテンプレートも用意しています。 (※Microsoft 社の EXCEL が必要です)						
6	CSV ファイル設定: 日報	日報ファイルの保存先を設定します。					
7	CSV ファイル設定: 月報	月報ファイルの保存先を設定します。					
8	テンプレートファイルの設定	ダイレクト EXCEL 転送先のテンプレートの設定を行います。 使用できるファイルは、「.xlt」「.xls」ファイルです。 本ソフトウェアをインストールしたフォルダの「Temp」フォルダに標準付属のテンプレートが用意してあります。					
9	転送先シート	指定したテンプレートのシート名を設定します。					
10	開始セル	データを転送させる開始セルを設定します。					

9-5. その他設定

その他の設定やインフォメーションを表示します。



番号	名称	説明	参照
1	同期制御	GL200A/GL800 を複数台接続している場合、1 つの GL200A/GL800 に対して測定を開始すると、同期制御 ON の GL200A/GL800 全て測定を開始します。 測定終了も同様です。 トリガ設定・収録設定等は、個々の設定値で動作します。 (※トリガやサンプリングなどの同期は出来ません。)	
2	室温補償	熱電対を用いて温度測定を行う際の室温補償を設定します。 本器で室温補償を行う場合は、内部に設定します。 (※通常は内部に設定してください)	
3	バーンアウト	On に設定した場合は、定期的に熱電対の断線チェックを実施します。 熱電対を他の測定器とパラ接続している場合、他の機器に影響を及ぼしますので、OFF でご使用ください。 断線を検知すると、BURN OUT と表示します。	
4	バーンアウトでアラーム発生	ONに設定すると、バーンアウトが発生したときにアラームを発生させます。	
5	温度表示	温度表示を摂氏(°C)と華氏(°F)で切り替えます。	
6	電源 On スタート	本体の電源が投入されたときに収録を開始します。 この設定は本体のみで動作します。 Onにした場合は、本ソフトを終了する時に、「設定を本体に記憶させる」で終了させてください。	12-4

番号	名称	説明	参照
7	AC ライン周波数	本体を使用する地域の電源周波数に合わせて下さい。 (東日本＝50Hz、 西日本＝60Hz) ノイズ除去に影響しますので、間違いように設定して下さい。 電源のノイズが除去できるサンプリング速度は下記になります。 10ch以下 : 500ms以上 20ch以下 : 1s以上 50ch以下 : 2s以上 100ch以下 : 5s以上 200ch以下 : 10s以上	
8	工場出荷時設定に戻す	設定を初期化します。	
9	アプリケーションバージョン	本ソフトウェアのバージョンを表示します。	
10	本体情報	接続されている本体の情報を表示します。	
11	ホームページアクセス	ボタンを押すとそれぞれのホームページにアクセスできます。	

10. アイコンの説明

アイコンについて説明します。



(表内: フ=フリーランニング中で操作可能、収=収録中で操作可能、再=再生中で操作可能)

番号	説明	操作可能動作	参照
1	時間軸を縮小します。	収・再	
2	時間軸を拡大します。	収・再	
3	選択したCHのY軸を拡大します。	フ・収・再	10-1
4	選択したCHのY軸を縮小します。	フ・収・再	10-1
5	選択したCHのポジションを上に移動します。	フ・収・再	10-1
6	選択したCHのポジションを下に移動します。	フ・収・再	10-1
7	波形のサンプル点にプロットマークを表示します。	フ・収・再	10-2
8	サブ画面が開き、下記の設定が出来ます。 ・スクロール方向切り替え ・スケール軸設定 ・Y軸操作のリセット ・演算	フ・収・再	10-3
9	波形表示内にカーソルAを表示します。	収・再	10-4
10	波形表示内にカーソルBを表示します。	収・再	10-4
11	コメントを入力します。 コメントは 20 箇所まで入力できます。	収・再	10-5
12	デジタル部分に、カーソル A 上のレベル値を表示します。	収・再	
13	デジタル部分に、カーソル B 上のレベル値を表示します。	収・再	
14	デジタル部分に、カーソル A-B のレベル値を表示します。	収・再	

10-1. Y軸拡大・縮小・ポジション移動



CH を選択して、本アイコンを押すと、Y 軸の拡大・縮小・ポジション移動ができます。

CH 選択方法

Y-T 通常画面

操作する CH に
選択マークを付けます。
全 CH 同時に操作する
場合は、「CH(ALL)」に
選択マークを付けます。

Y-T 拡大画面

操作する CH を選択します。

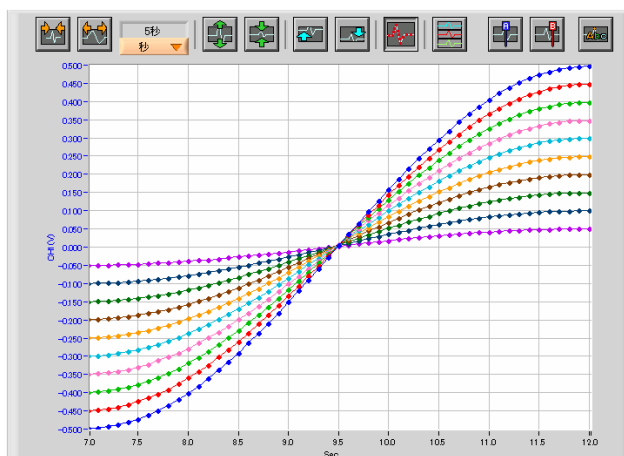
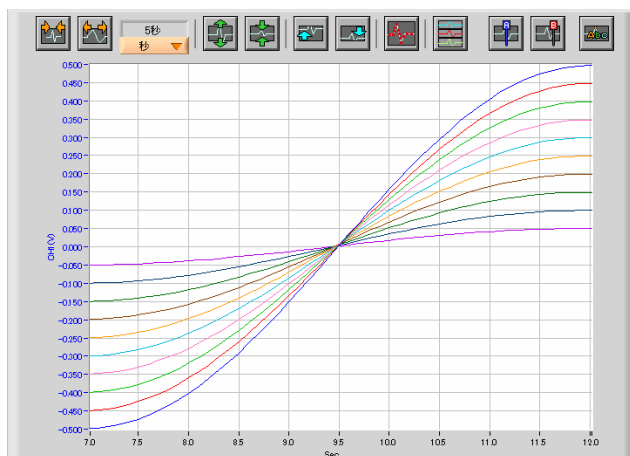
注意！

操作を繰り返し、元の状態に戻す場合、
若干のずれが発生する場合があります。
この場合は、10-3-3.「Y 軸操作の
リセット」を実施してください。

10-2. プロットマーク



波形表示は、サンプル点を補間してプロットしています。
本アイコンを押すことで、実際のサンプル点をマーク表示します。

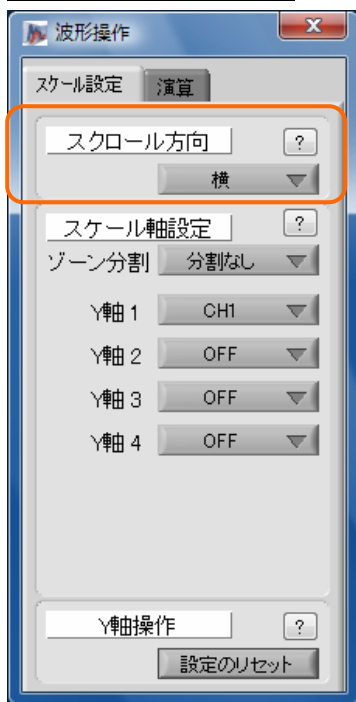


10-3. Y軸操作

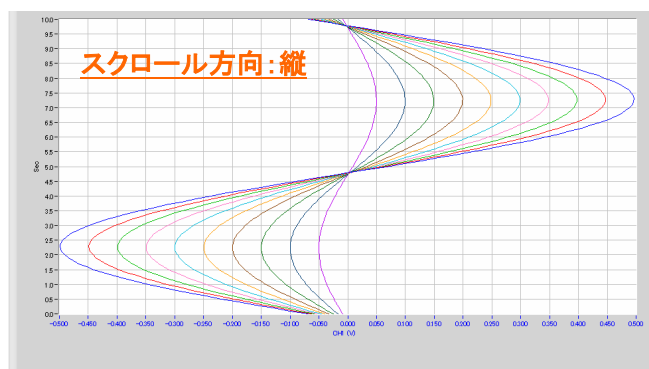
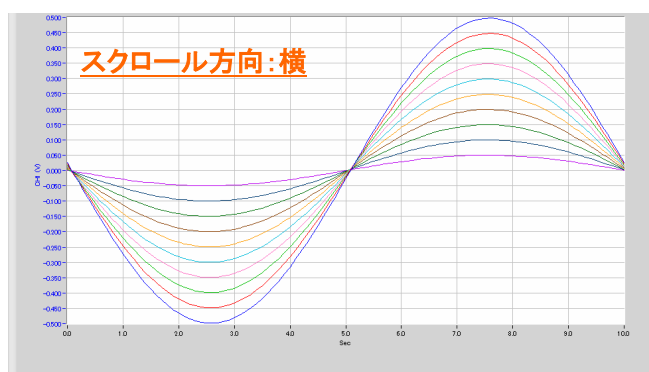


本アイコンを押すと、サブ画面が開き、Y 軸操作などが可能です。

10-3-1. スクロール方向

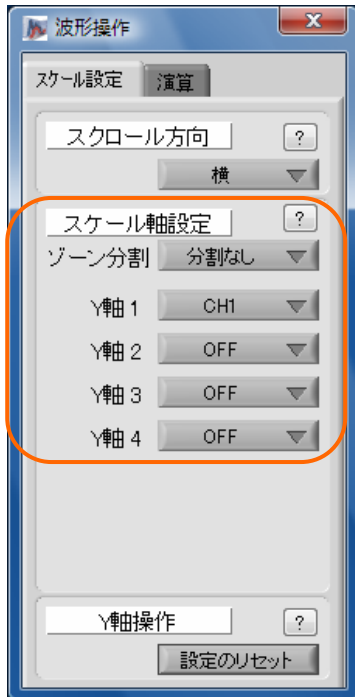


項目	説明	操作可能動作
スクロール方向	Y-T 表示画面で、スクロール方向を切り替えできます。横と縦が選択できます。	フ・収・再



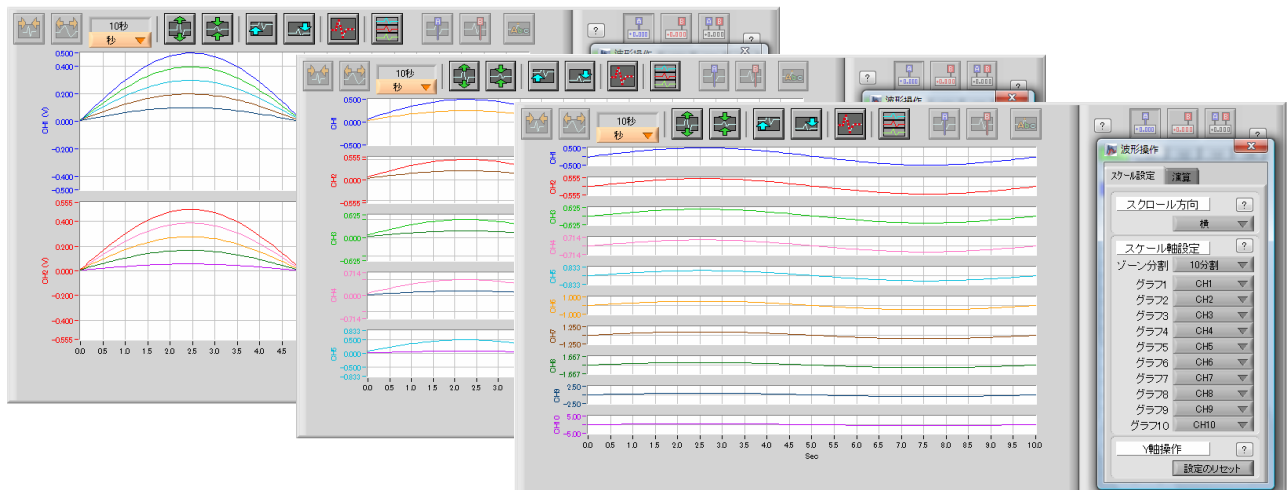
※複数台接続時は、1台の設定を行うと、全ての装置が同じスクロール方向となります。

10-3-2. スケール軸設定

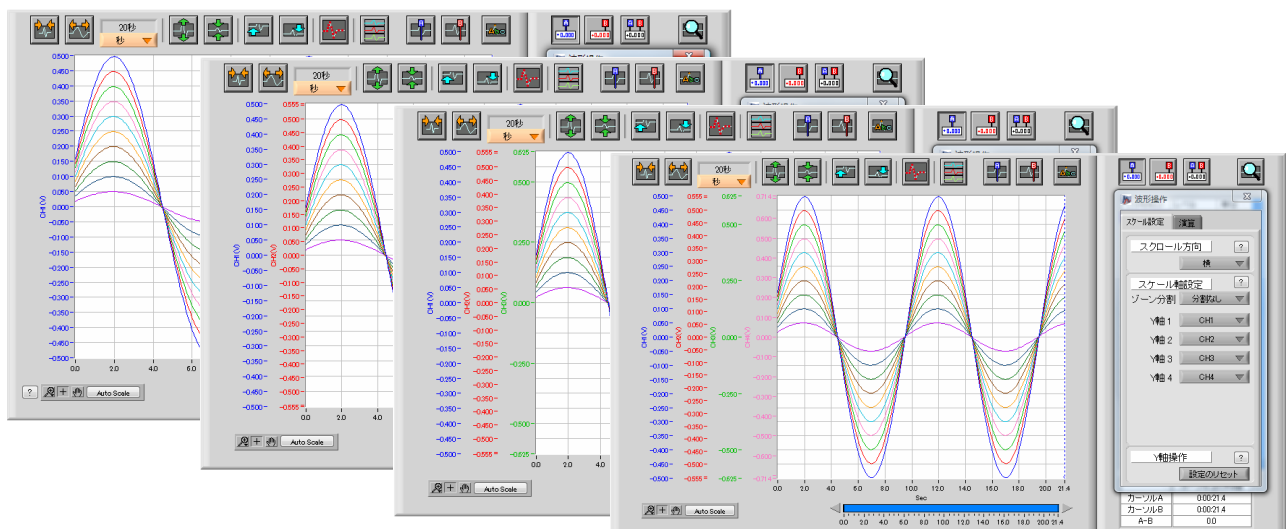


項目	説明	操作可能動作
ゾーン分割	波形グラフのゾーンを分割します。 分割なし、2 分割、5 分割、10 分割が 選択できます。 ※縦スクロールの場合、ゾーン分割できません。	フ・収・再
Y 軸 1~4 (分割なし時)	Y 軸レンジ 1~4 の CH を設定します。	フ・収・再

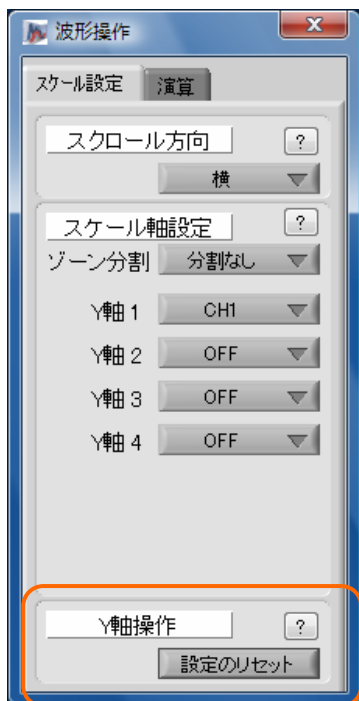
<ゾーン分割画面>



<Y 軸レンジ表示例>

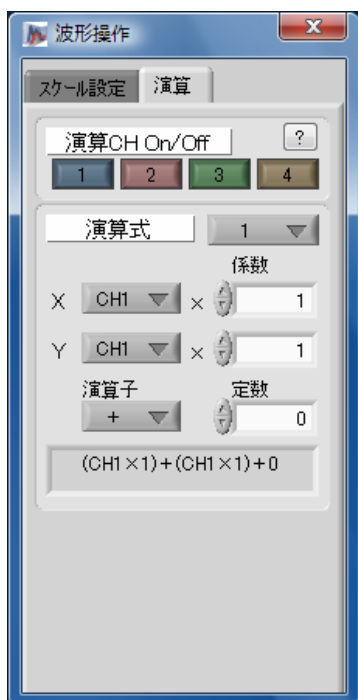


10-3-3. Y 軸操作のリセット



項目	説明	操作可能動作
設定のリセット	 このアイコンで、Y 軸の拡大・縮小・ポジション移動を実施後、「設定のリセット」を押すと、操作前の状態に戻すことができます。 戻したい CH を選択して、本キーを押してください。	フ・収・再

10-3-4. 演算



項目	説明	操作可能動作
演算 CH ON/OFF	演算 1～4 の On/Off を設定します。 On : 演算結果は波形とデジタル値で表示されます。 OFF : 演算しません。 演算は、Y-T 表示画面のみで、収録データには反映しません。	フ・再
演算式	CH 間の1次式の変数を設定します。 $A \cdot CH X * B \cdot CH Y + C$ 設定した演算式は画面下部に表示されます。	フ・再

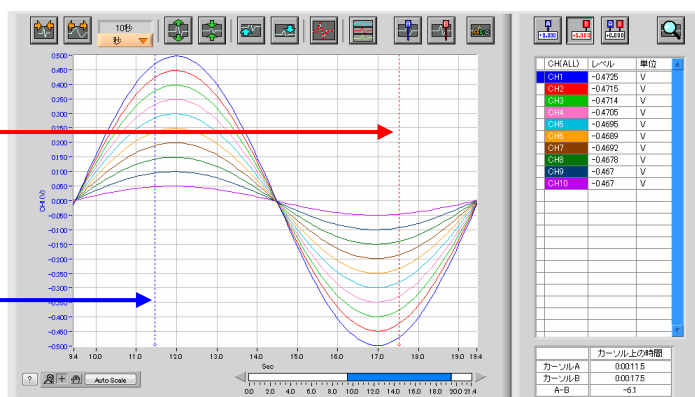
10-4. カーソル表示



波形表示内に、カーソルを表示します。

B カーソル

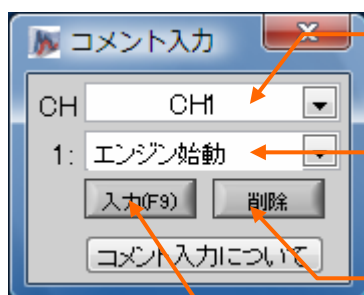
A カーソル



10-5. コメント入力



収録(再生)中に、任意 CH の波形上にコメントを入力します。



入力する CH を設定します

入力するコメントを入力します。
コメントは1~20個まで入力が可能です。
コメントが既に入力している箇所を変更すると、入力されたコメントも変更されます。
入力されていない箇所の場合は、新規入力になります。

入力したコメントを削除します。

コメントを入力します。

注意！

コメントは、収録開始した時のスケールを基に、表示されます。

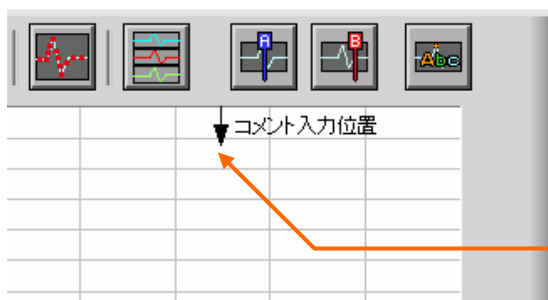
収録中に Y 軸スケールを変更し、コメント入力した場合、再生画面では、コメント位置がずれます。

波形上コメントを一致させるには、再生後 Y 軸スケールを変更してください。

スクロールが On の時 : 波形グラフ上部の「コメント入力位置」に入力されます。

スクロールが Off の時 : カーソル A 上の位置に入力されます。

再生表示の時 : カーソル A 上の位置に入力されます。



スクロール On の時の、コメント入力位置

11. データ再生

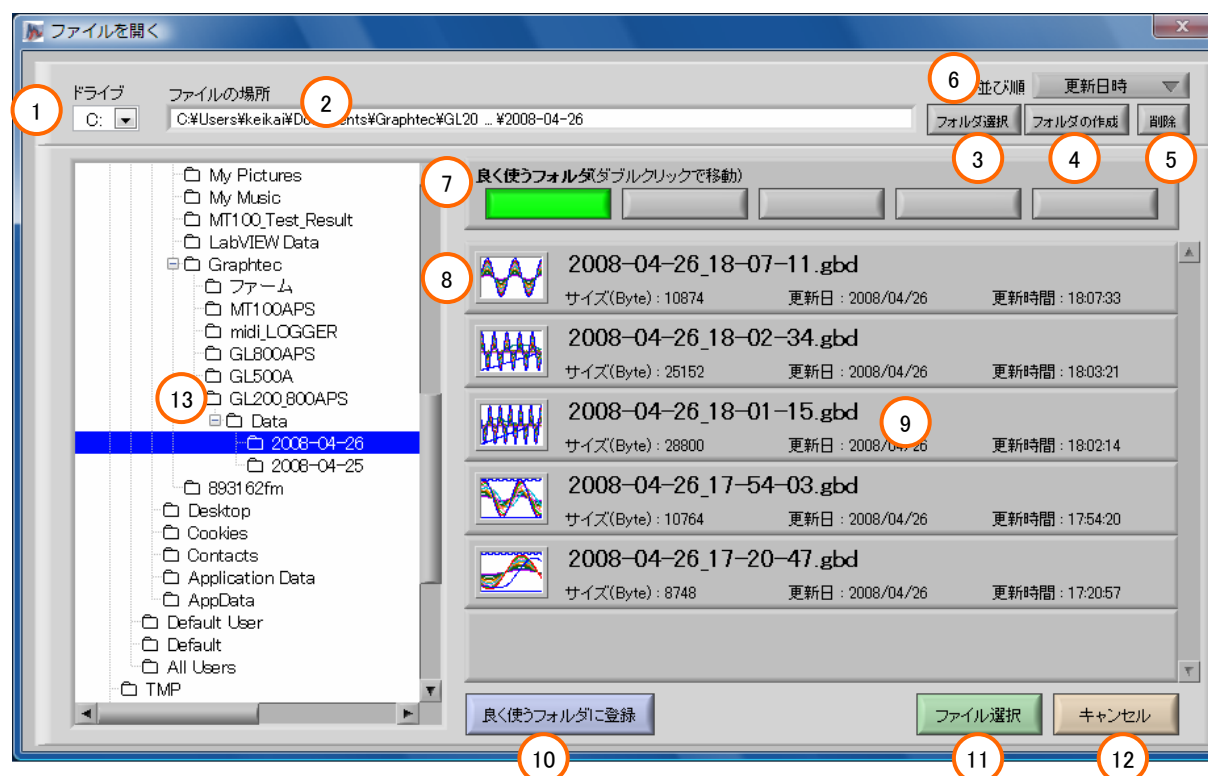
11-1. PC収録データを再生

PC(パソコン)に収録したデータを再生します。

PC収録データを再生

ボタンを押します。

PC 内に収録されたデータがサムネイル(小さいインデックス画像)と共に表示されます。



番号	名称	説明	参照
1	ドライブ	PC のドライブを選択します。	
2	ファイルの場所	ファイルの場所を表示します。	
3	フォルダ選択	データファイルが収録されているフォルダを選択します。	
4	フォルダの作成	フォルダを作成します	
5	削除	選択しているファイルを削除します。	
6	並び順	ファイルの並び順を設定します。 ファイル名 ファイル名順で並べます。 更新日時 ファイルの更新日時が新しい順に並べます。	
7	よく使うフォルダ	よく使うフォルダの選択、移動を行います。 シングルクリック: 選択 ダブルクリック: 移動	
8	波形サムネイル	収録データの縮小波形が表示されます。 サムネイルは本ソフトウェアで収録したデータのみ表示が可能です。また、本体側に収録されたデータに対してはサムネイル表示できません。	
9	ファイル一覧	収録された一覧です。	
10	よく使うフォルダに登録	現在表示されているフォルダをよく使うフォルダとして登録します。 登録すると、7の「よく使うフォルダ」に追加されます。	
11	ファイル選択	ファイルを選択します(ファイルを表示します)。	
12	キャンセル	ファイルの選択をキャンセルします。	
13	フォルダの階層表示	フォルダの階層表示を行ないます。 フォルダを選択すると、右画面にデータが一覧表示されます。	

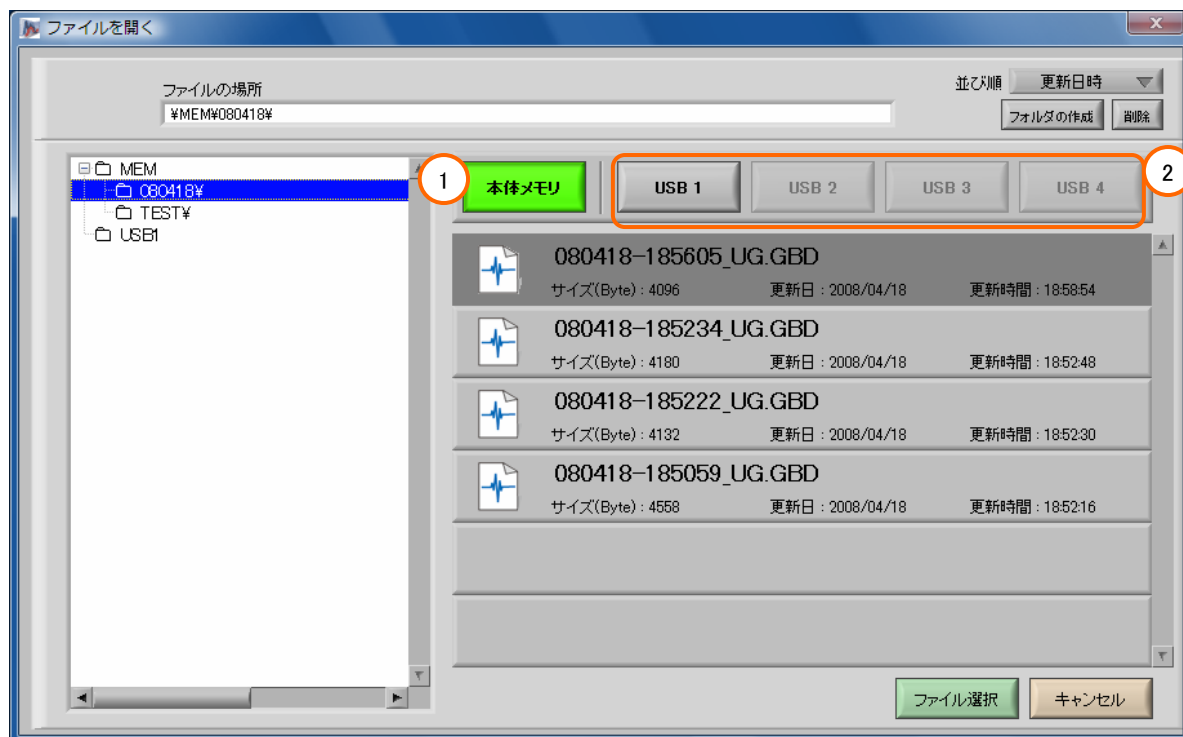
11-2. 本体データを再生

本体収録データを再生します。

本体データを再生

ボタンを押します。

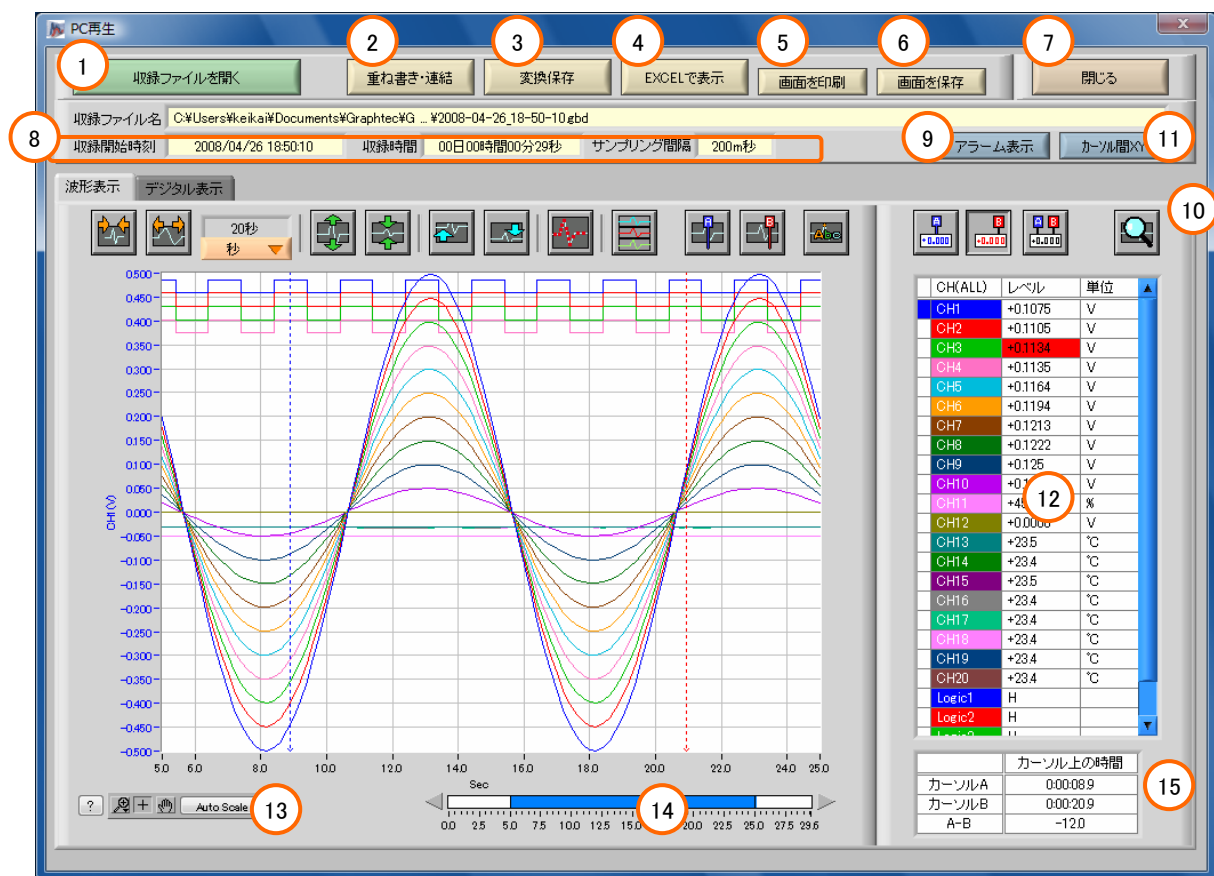
本体に収録されたデータが表示されます。



番号	名称	説明	参照
1	本体メモリ	本体メモリのファイル内を表示します。	
2	USB デバイス	USB デバイスのファイル内を表示します。	

11-3. 再生画面(波形表示)

再生画面(波形表示)について説明します。



番号	名称	説明	参照										
1	収録ファイルを開く	再生するデータを選択します。											
2	重ね書き・連結	PCに保存した複数のデータを重ねて表示したり、連結する場合に選択します。	11-3-1										
3	変換保存	再生データを別形式に変換(GBD、CSV)したり、カーソル間のデータのみを切り出し保存ができます。	11-3-2										
4	EXCEL で表示	再生データを EXCEL に出力します。 ※この機能を使用するには、Microsoft 社の EXCEL が必要です。	11-3-3										
5	画面を印刷	表示画面をデフォルトプリンタに印刷します。											
6	画面を保存	表示画面を BMP ファイル形式で保存します。											
7	閉じる	再生画面を閉じます。											
8	再生情報	<table><tr><td colspan="2">再生情報を表示します。</td></tr><tr><td>収録ファイル名</td><td>再生している収録データのファイル名です。</td></tr><tr><td>収録開始時間</td><td>収録を開始した時間です。</td></tr><tr><td>収録時間</td><td>収録した時間です。</td></tr><tr><td>サンプリング間隔</td><td>サンプリング間隔です。</td></tr></table>	再生情報を表示します。		収録ファイル名	再生している収録データのファイル名です。	収録開始時間	収録を開始した時間です。	収録時間	収録した時間です。	サンプリング間隔	サンプリング間隔です。	
再生情報を表示します。													
収録ファイル名	再生している収録データのファイル名です。												
収録開始時間	収録を開始した時間です。												
収録時間	収録した時間です。												
サンプリング間隔	サンプリング間隔です。												
9	アラーム表示	アラームポートの状態を表示します。	11-3-4										
10	検索	データの検索を行います。	11-3-5										
11	カーソル間 XY	カーソル A、B 間で囲まれたデータを X-Y 表示します。	11-3-6										
12	デジタル表示	デジタル値で表示します。各 CH 欄をクリックすると、波形の Off／On の切り替えができます。アラームが発生している CH は赤色で塗りつぶされます。											
13	スケール操作	X 軸のオートスケールや、選択領域の拡大等の操作が出来ます。	11-3-7										
14	スクロールバー	波形を移動させます。											
15	カーソル上の時間	カーソル上の時間を表示します。											

11-3-1. 重ね書き・連結

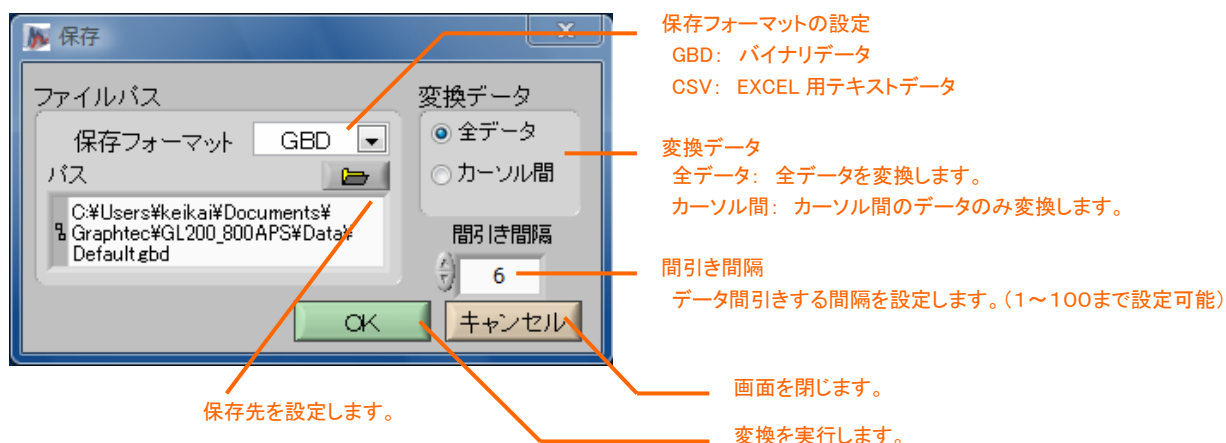
複数のファイルを重ねて表示したり、連結したりすることができます。
連結の場合は、同一の収録条件で収録したデータでなければいけません。



番号	名称	説明	参照
1	追加	重ね書き・連結を行うファイルを追加します。	
2	削除	追加したファイルを一覧から削除します。	
3	ファイルの一覧	重ね書き・連結を行う追加したファイル一覧です。	
4	重ね書き	重ね書きを実行します。	
5	連結	連結を実行します。 ※収録時間表示は、No1ファイルを基に計算されますので、 No2以降の日時表示は、実際の収録時間と違う場合があります。	
6	通常	重ね書き、連結を実行せず、初期ファイルを開きます。	
7	キャンセル	画面を閉じます。	

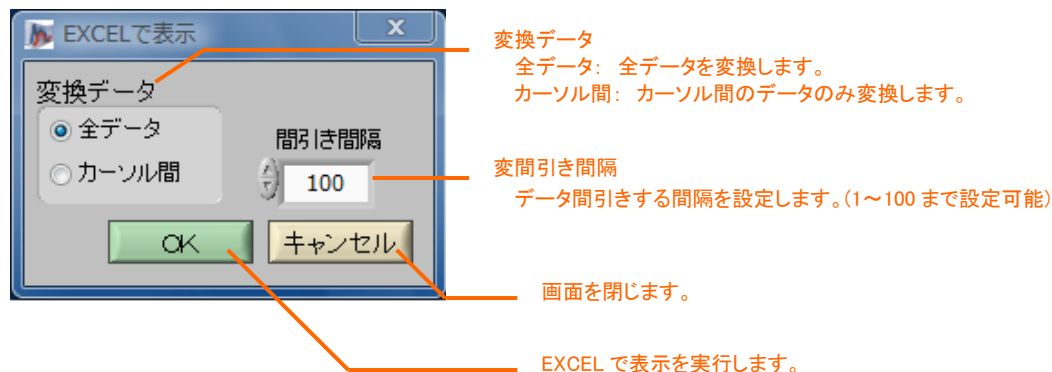
11-3-2. 変換保存

再生データを別形式に変換(GBD、CSV)したり、カーソル間のデータのみを切り出し保存ができます。



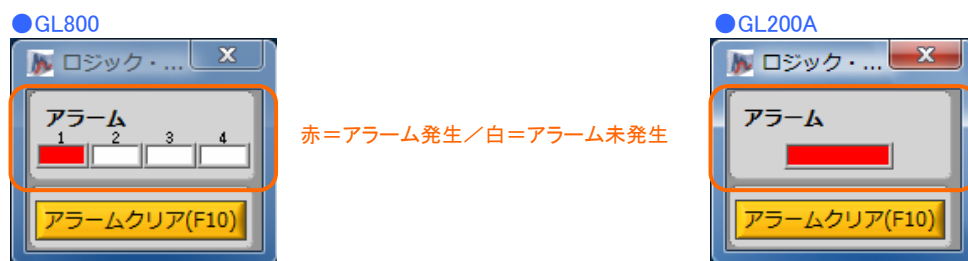
11-3-3. EXCEL で表示

EXCEL を起動して新しいシートにデータを表示させます。
(※この機能を利用するには、Microsoft 社の EXCEL が必要です)

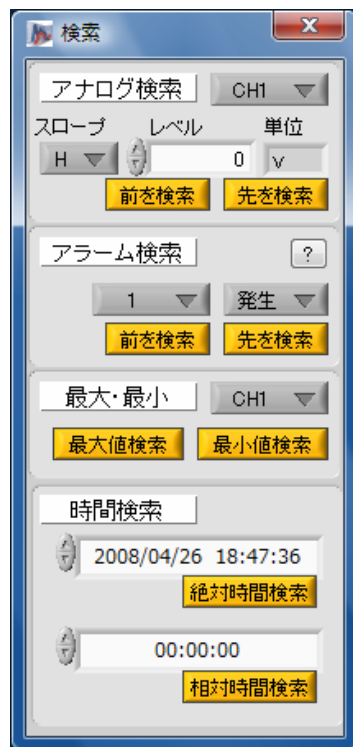


11-3-4. アラーム表示

アラーム出力ポートの状態表示を行います。
再生時は、デジタル表示で選択したカーソル地点の、アラーム出力ポート状態を表示します。
再生時は、アラームクリアボタンは、無効となります。



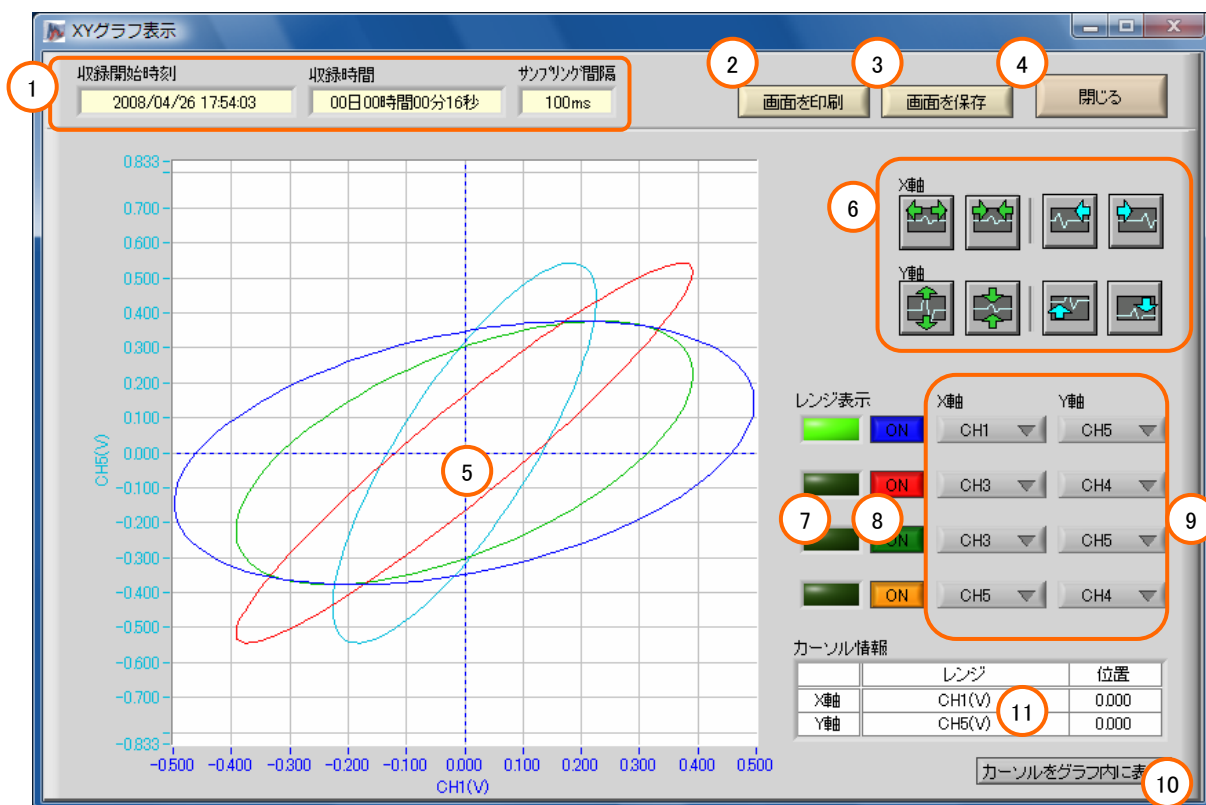
11-3-5. 検索



アナログ検索 (検索判定は「エッジ」で行います。)		
CH	検索を行う CH を設定します。	再
スロープ	検索を行うスロープを設定します。 H: 立ち上がりで検索 L: 立ち下がりで検索	再
レベル	検索するレベルを設定します。	再
前を検索	過去方向に検索します。	再
先を検索	未来方向に検索します。	再
アラーム検索 (検索判定は「エッジ」で行います。)		
アラーム	アラームポート番号を設定します。(1~4) ※GL200A では、本設定はありません。	再
発生・解除	検索を行うアラーム状態を設定します。 発生: アラーム発生で検索 解除: アラーム解除で検索	再
前を検索	過去方向に検索します。	再
先を検索	未来方向に検索します。	再
最大・最小		
CH	検索する CH を設定します。	再
最大値検索	最大値のデータを検索します。	再
最小値検索	最小値のデータを検索します。	再
時間検索		
絶対時間検索	設定した日付・時間で検索します。	再
相対時間検索	設定した時間で検索します。 時間は、収録開始からの相対時間となります。	再

11-3-6. カーソル間 XY

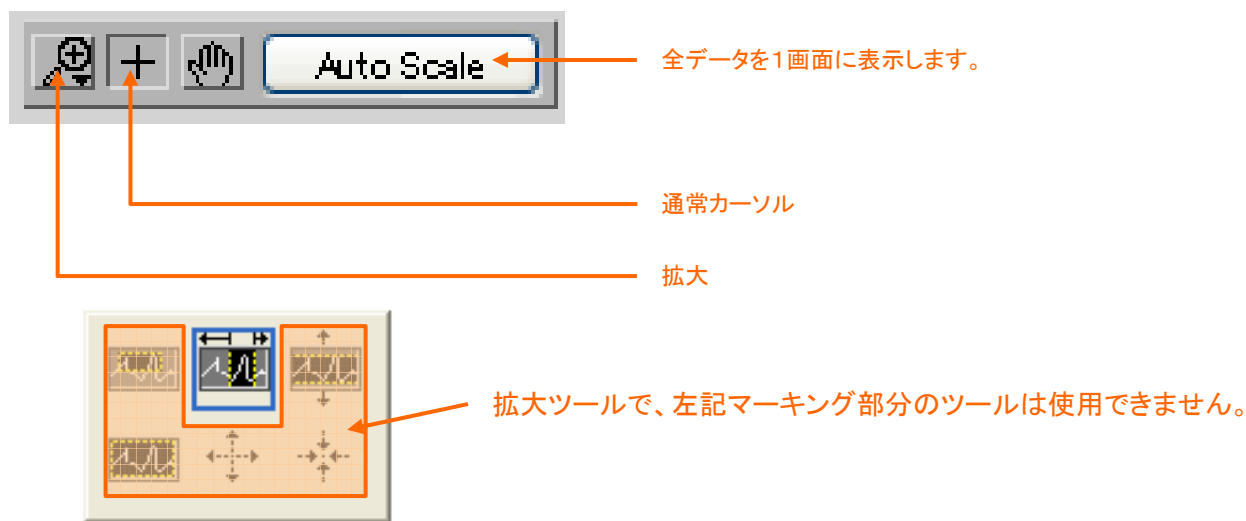
カーソル A,B 間に囲まれたデータを X-Y 表示します。



番号	名称	説明	参照
1	再生情報	再生情報を表示します。	
		サンプリング間隔	収録したサンプリング間隔を表示します。
		収録開始時刻	収録を開始した時刻です。
		収録時間	収録した時間です。
2	画面を印刷	画面をデフォルトプリンタに印刷します。	
3	画面を保存	画面を BMP 形式で保存します。	
4	閉じる	画面を閉じます。	
5	X-Y 波形グラフ	X-Y 波形を表示します。	
6	波形操作アイコン	X・Y 軸の拡大、縮小、ポジション移動が出来ます。	
7	レンジ表示	X 軸と、Y 軸に設定されている CH のスケール値を表示します。	
8	On/Off	表示の On/Off を設定します。	
9	X 軸・Y 軸 CH 設定	X 軸と Y 軸の CH を設定します。	
10	カーソルをグラフ内に表示	カーソルをグラフ中心に移動します。	
11	カーソル情報	レンジ表示を設定している CH のカーソル上のレベルを表示します。	

11-3-7. スケール操作

スケール操作や、選択部分の拡大ができます。



11-4. 再生画面(デジタル表示)

「デジタル表示」のタブを選択することで、デジタル表示に切り替えることができます。

デジタル表示では特に、カーソル A、B を利用した統計演算などに使用します。



番号	名称	説明	参照
1	表示切替タブ	波形表示とデジタル表示を切り替えるタブです。	
2	統計演算実行	カーソル A、B 間で囲まれたデータに対して統計演算を実行します。	
3	デジタル表示	カーソル A、B のレベル、演算結果などを表示します。	
4	カーソル上の時間	カーソル A、B 上の時間を表示します。	

12. その他機能

12-1. CSV一括変換

CSV一括変換

PC に保存した複数の GBD (バイナリ) データを一括で CSV 形式のファイルに変換します。



番号	名称	説明	参照
1	変換ファイル一覧	一括変換するファイルの一覧です。	
2	追加	一括変換するファイルを追加します。	
3	削除	一括変換するファイルを一覧から削除します。	
4	保存先フォルダ	一括変換の保存先を設定します。	
5	キャンセル	一括変換を実行せずに画面を閉じます。	
6	一括変換開始	一括変換を開始します。	

12-2. 統計・履歴表示

統計・履歴表示

収録中の統計演算とアラーム履歴の結果を表示します。

結果を CSV ファイルに保存します。

統計

CH	アクション	最小値	最小値時刻	最大値	最大値時刻	平均値	単位
CH1		-0.4986	08-04-26 19:51:19	+0.4967	08-04-26 19:51:24	+0.0194	V
CH2		-0.4986	08-04-26 19:51:19	+0.4967	08-04-26 19:51:34	+0.0193	V
CH3		-0.4986	08-04-26 19:51:19	+0.4967	08-04-26 19:51:24	+0.0192	V
CH4		-0.4986	08-04-26 19:51:19	+0.4967	08-04-26 19:51:34	+0.0191	V
CH5		-0.4986	08-04-26 19:51:19	+0.4967	08-04-26 19:51:24	+0.0190	V
CH6		-0.4985	08-04-26 19:51:29	+0.4966	08-04-26 19:51:24	+0.0189	V
CH7		-0.4997	08-04-26 19:51:19	+0.4975	08-04-26 19:51:24	+0.0187	V
CH8		-0.4993	08-04-26 19:51:19	+0.4973	08-04-26 19:51:24	+0.0186	V
CH9		-0.499	08-04-26 19:51:19	+0.497	08-04-26 19:51:24	+0.018	V
CH10		-0.499	08-04-26 19:51:19	+0.497	08-04-26 19:51:24	+0.018	V
CH11		+44.0	08-04-26 19:51:16	+44.1	08-04-26 19:51:34	+44.0	%
CH12		-0.0001	08-04-26 19:51:15	+0.0001	08-04-26 19:51:16	+0.0000	V
CH13		+23.4	08-04-26 19:51:15	+23.6	08-04-26 19:51:23	+23.5	℃
CH14		+23.4	08-04-26 19:51:15	+23.6	08-04-26 19:51:32	+23.5	℃
CH15		+23.4	08-04-26 19:51:15	+23.6	08-04-26 19:51:23	+23.5	℃
CH16		+23.3	08-04-26 19:51:15	+23.5	08-04-26 19:51:23	+23.4	℃
CH17		+23.3	08-04-26 19:51:15	+23.5	08-04-26 19:51:32	+23.4	℃
CH18		+23.3	08-04-26 19:51:15	+23.5	08-04-26 19:51:22	+23.4	℃
CH19		+23.3	08-04-26 19:51:15	+23.5	08-04-26 19:51:23	+23.4	℃

アラーム履歴

CH	発生時刻
CH1	08-04-26 19:51:14
CH2	08-04-26 19:51:14
CH3	08-04-26 19:51:14
CH4	08-04-26 19:51:14
CH1	08-04-26 19:51:19
CH2	08-04-26 19:51:20
CH3	08-04-26 19:51:21
CH4	08-04-26 19:51:22
CH1	08-04-26 19:51:29
CH2	08-04-26 19:51:30
CH3	08-04-26 19:51:31
CH4	08-04-26 19:51:32

統計: 統計結果を表示します。

アラーム履歴: アラーム履歴を表示します。

注意！

アラームの履歴は、最新の 100 件のみ表示されます。

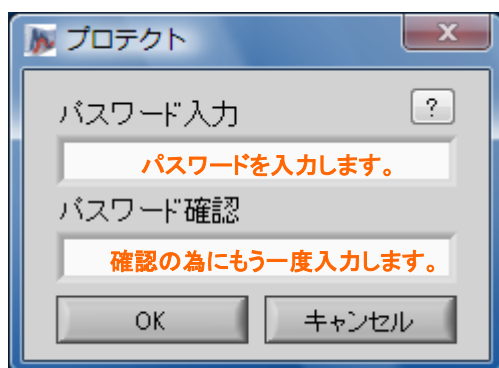
100 件を超えた場合、古い物から順番に消えていきます。

12-3. プロテクト

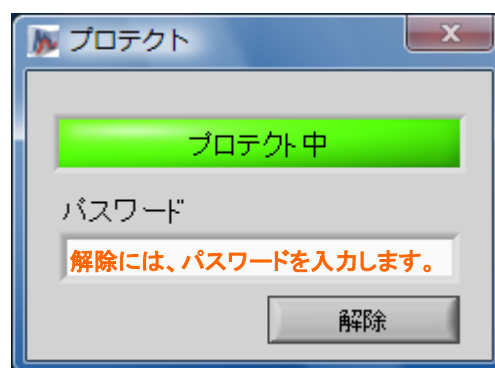
プロテクト

本ソフトウェアの全ての操作をプロテクトします。
解除するには、パスワードが一致する必要があります。

プロテクト設定画面



プロテクト中及び解除画面



注意！

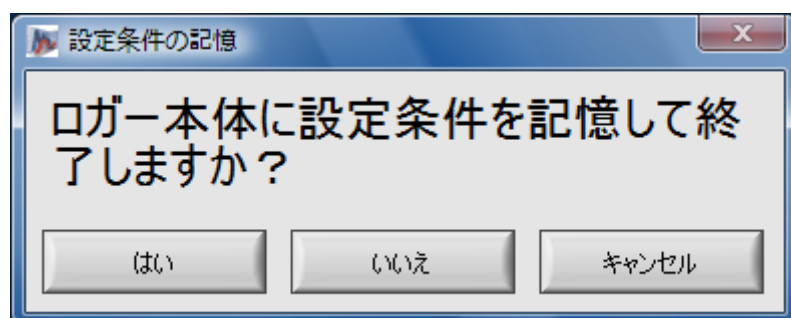
プロテクト動作は、本ソフトウェア上のみとなります。

Windows 操作で、本ソフトウェアを終了する事などは出来ますので、
ご注意ください。

12-4. ソフトウェアの終了

終了

本ソフトウェアを終了させるボタンです。
本ボタンを押すと、下記の画面が表示されます。



はい : 本ソフトウェアでの設定条件を、GL200A/GL800 本体に記憶して終了します。
全ての設定内容は記憶できません。
記憶出来ない設定内容もあります。

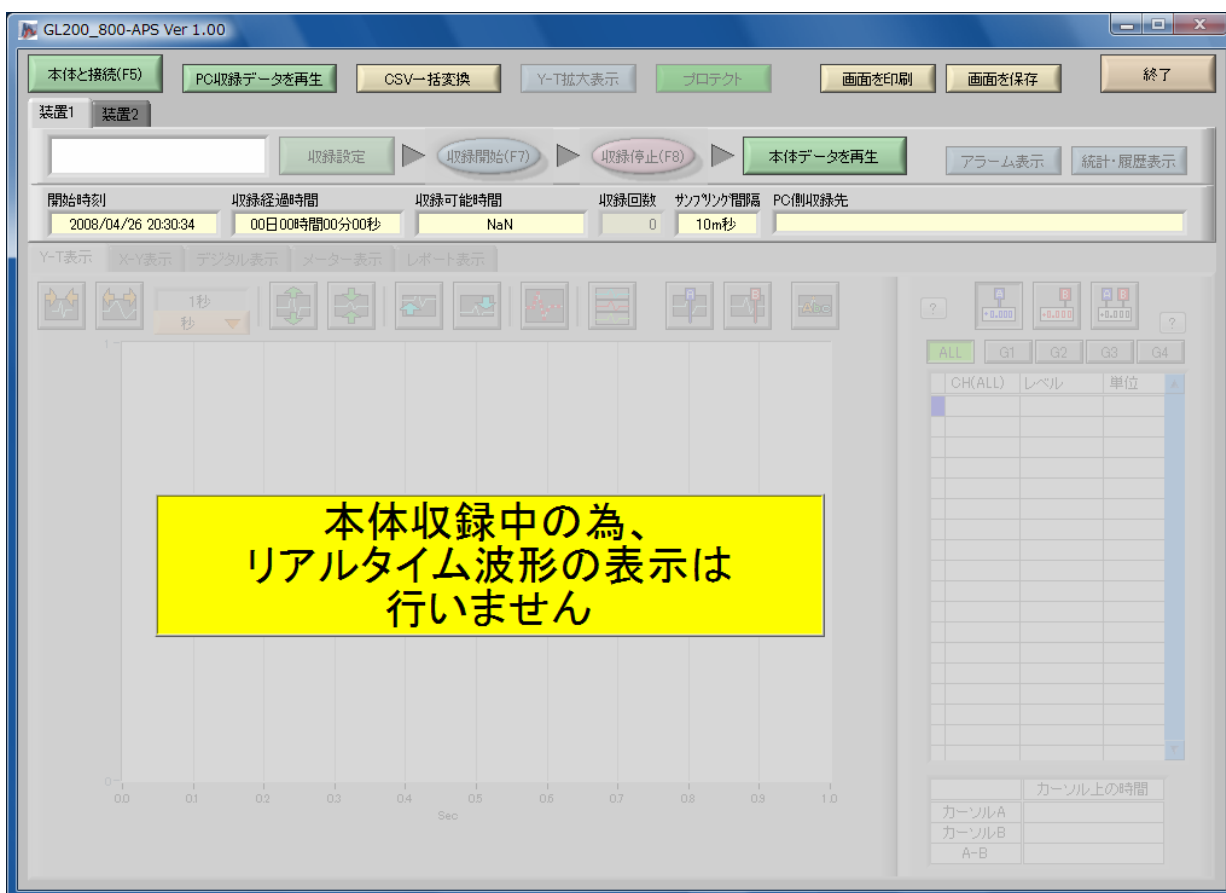
いいえ : 本ソフトウェアでの設定条件を、GL200A/GL800 本体に記憶しないで終了します。
GL200A/GL800 本体の設定条件は、ソフトウェア制御前の状態となります。
この場合、一度電源を切り、再投入してください。

キャンセル : 本ソフトウェアの終了を中止します。

12-5. 便利な機能

GL200A/GL800 本体単体で収録を行いつている時に、本体の収録を停止することなく、収録済みのデータを確認する事が出来ます。

収録中に接続を行うと、下記の画面表示となります。



「本体データ再生」を行うと、GL200A/GL800 本体にある収録済みデータを再生する事が出来ます。
再生後、変換保存でPCへ保存が可能です。
再び接続を解除することで、PCと切り離しが出来ます。

13. 操作手順

基本的な操作手順を説明します。

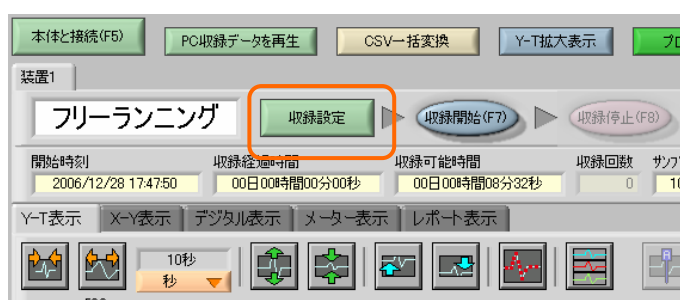
操作手順はソフトウェアと本体が接続した状態から始めます。接続に関しましては、「4. 接続」を参照ください。

設定で触れない項目に関しましては、工場出荷時の状態とします。

手順	操作内容	操作説明
1	収録の設定	収録のための設定を行います。
2	収録開始	収録を開始します。
3	収録中の過去表示	収録中に「スクロール」を Off にすることで過去データを表示します。
4	収録停止	収録を停止させます。
5	データの再生	PC(パソコン)側に収録したデータを再生します。

13-1. 収録の設定

収録のために必要な設定を行います。
「収録設定」ボタンを押して下さい。



13-1-1. アンプ設定

ここでは入力の設定を以下にします。

入力	電圧
レンジ	20mV

下図のように設定してください。



13-1-2. 収録設定

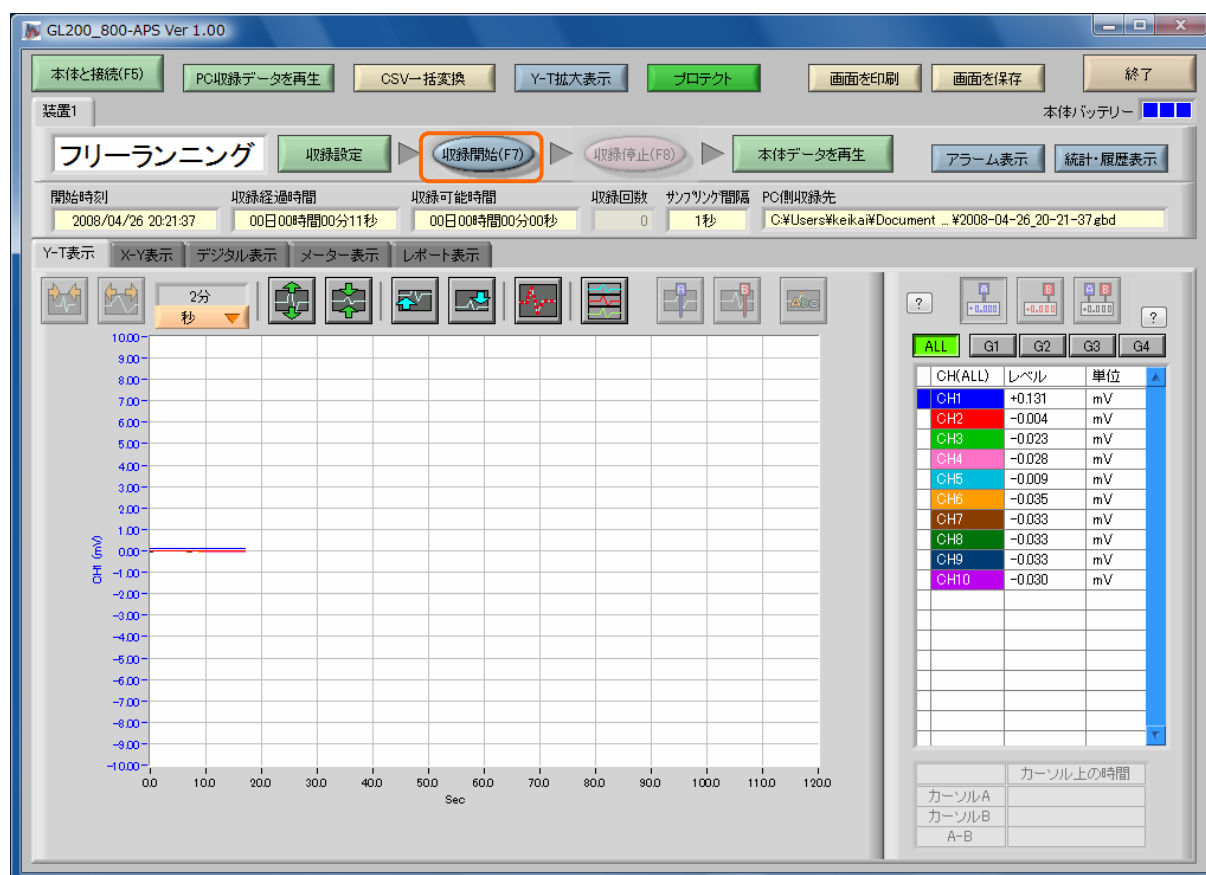
「収録設定」のタブを選択してください。
ここでは、収録データに関する設定を行います。

サンプリングを 1 秒にしてください。
そのほかはそのままとします。(本体側収録: 本体メモリ、PC 側収録先: 本ソフトウェアをインストールしたフォルダ)



13-2. 収録開始

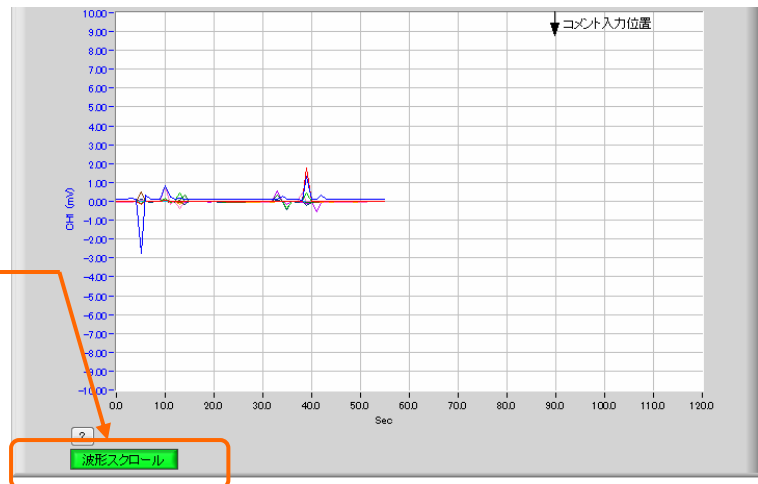
実際にデータを収録します。
「収録開始」ボタンを押して下さい。



13-3. 収録中の過去表示

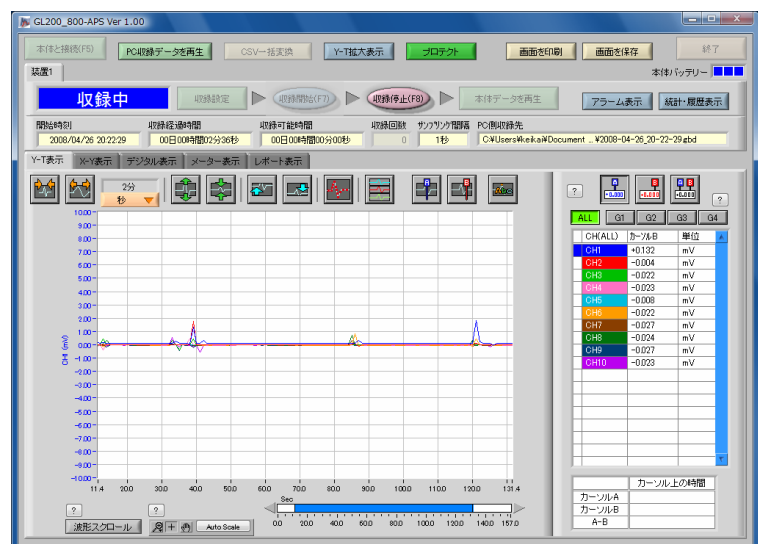
収録中の状態で「波形スクロール」ボタンを Off にする事で過去のデータを見る事ができます。

「波形スクロール」ボタンを押して下さい



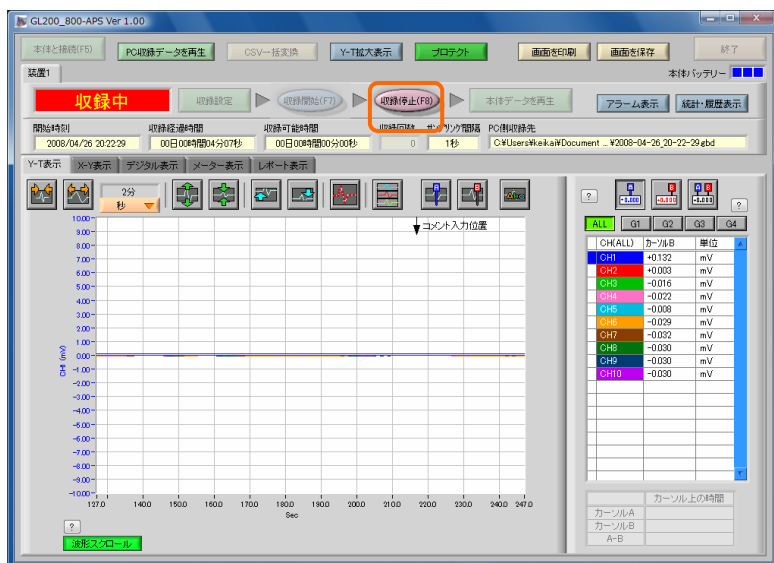
スクロールが停止し、スクロールバーで過去のデータを表示できるようになります。また、カーソルを移動させれば、カーソル上のレベル値を見る事ができます。

再度スクロールに戻す時は同様に「波形スクロール」ボタンを押して下さい。



13-4. 収録停止

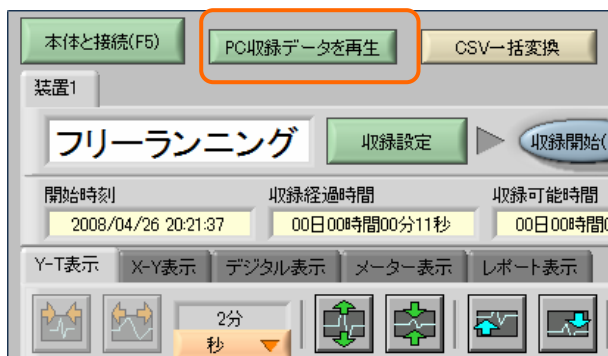
「収録停止」を押して下さい。収録が停止されフリーランニング状態に戻ります。



13-5. データの再生

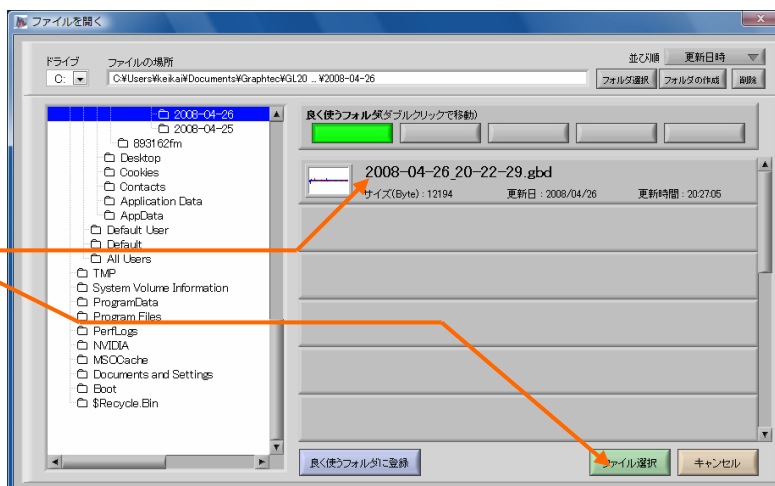
PC(パソコン)側に収録したデータを再生します。
再生では収録データをみたり、カーソルを合わせてレベル値を参照したりできます。

「PC 収録データ再生」ボタンを押して下さい。



ファイル選択画面が開きますので、
先ほど収録したデータを開きます。
ファイル名の左側に収録したデータの
サムネイル波形が表示されますので、
収録したデータを開かなくてもデータ
内容がわかるようになっています。

ファイルを選択して、「ファイル選択」
ボタンを押して下さい。

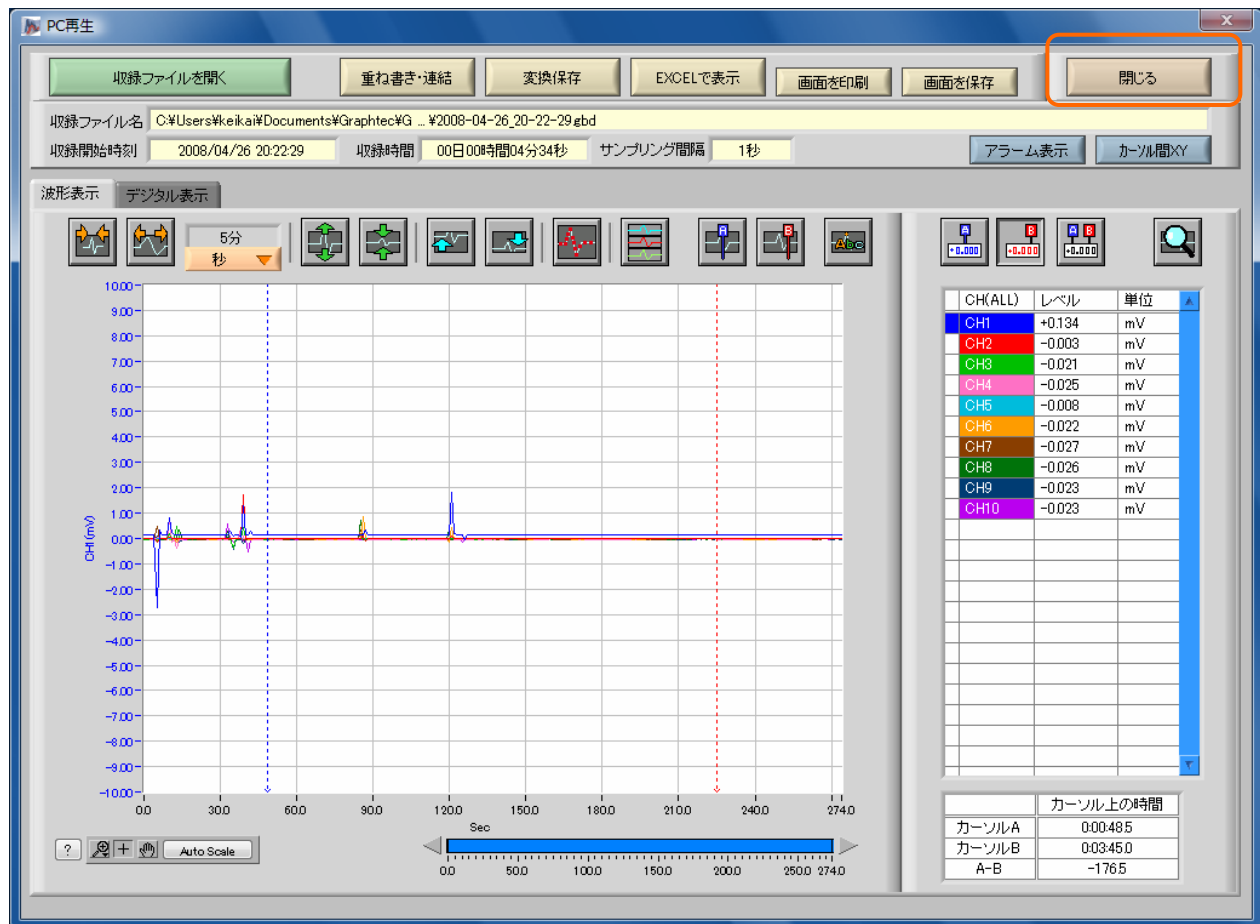


選択したファイルが再生されます。

再生時は、スクロールバーを移動して波形をみたり、カーソルを合わせてレベル値を参照したりできます。

その他にも様々な機能をご用意しています。詳しくは「11-3 再生画面(波形表示)」参照してください。

終了するには、「閉じる」ボタンを押して下さい。



GRAPHTEC

●本書の記載事項はおことわりなく変更することがありますのでご了承ください

GL200.800-APS 取扱説明書
(APS(GL200_800)-UM-101)

2008 年 6 月 1 日発行

発 行 横浜市戸塚区品濃町 503-10
グラフテック株式会社